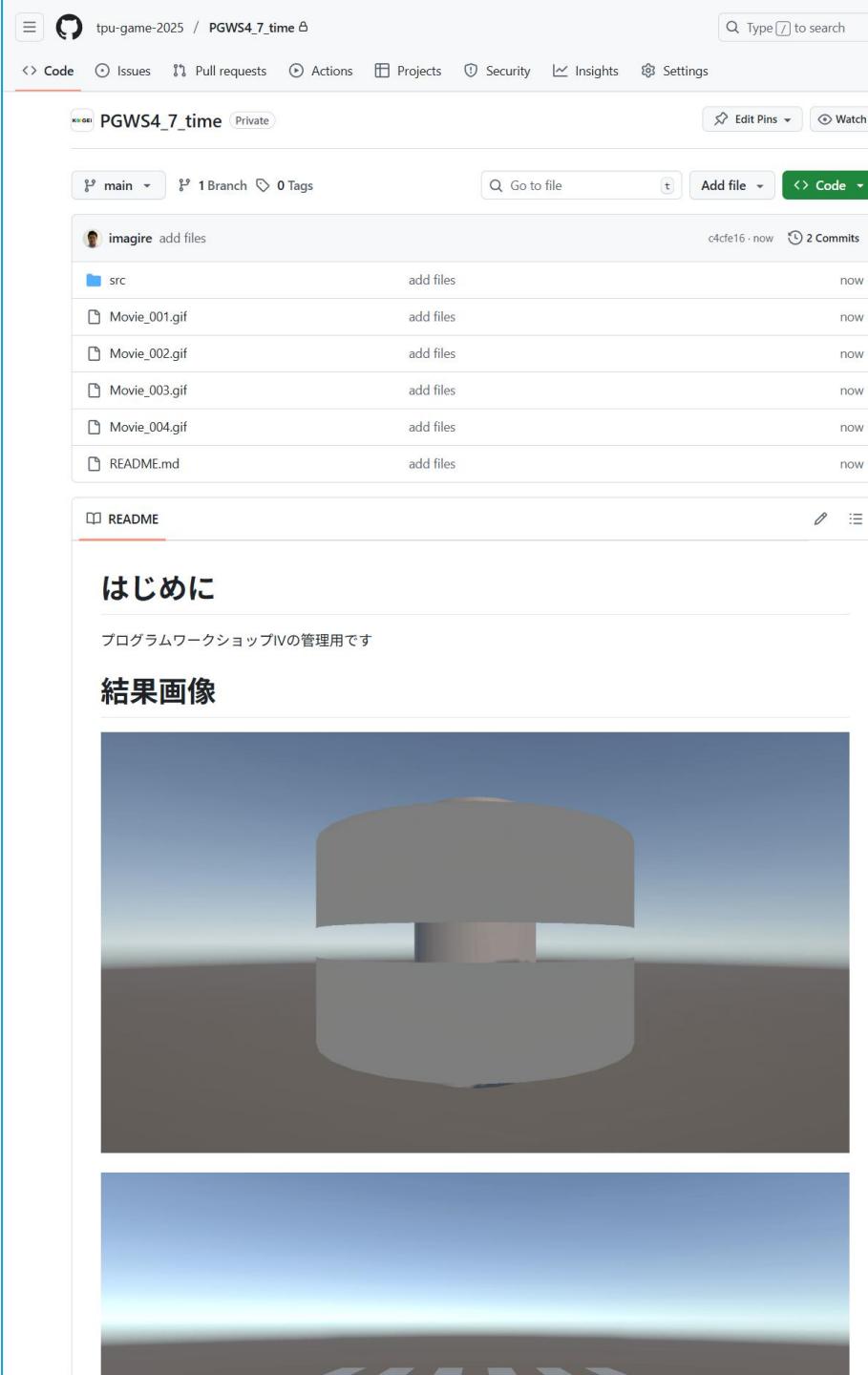


時間変化

2025年度 プログラム ワークショップIV (7)

本日の課題

- https://github.com/tpu-game-2025/PGWS4_7_time
をforkして、「結果画像」に結果を貼ってください
 - 今回の範囲で何か試してください
 - 「Scene_4_MyBest」に



tpu-game-2025 / PGWS4_7_time

Code Issues Pull requests Actions Projects Security Insights Settings

PGWS4_7_time Private

main 1 Branch 0 Tags Go to file Add file Code

imagine add files

src add files

Movie_001.gif add files

Movie_002.gif add files

Movie_003.gif add files

Movie_004.gif add files

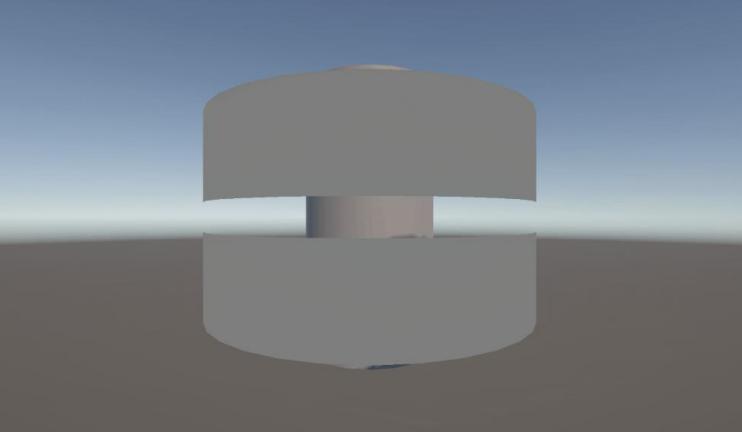
README.md add files

README

はじめに

プログラムワークショップIVの管理用です

結果画像



本日の内容

- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・光を走らせてみよう
 - ・思った場所に走らせよう

本日の内容

- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・光を走らせてみよう
 - ・思った場所に走らせよう

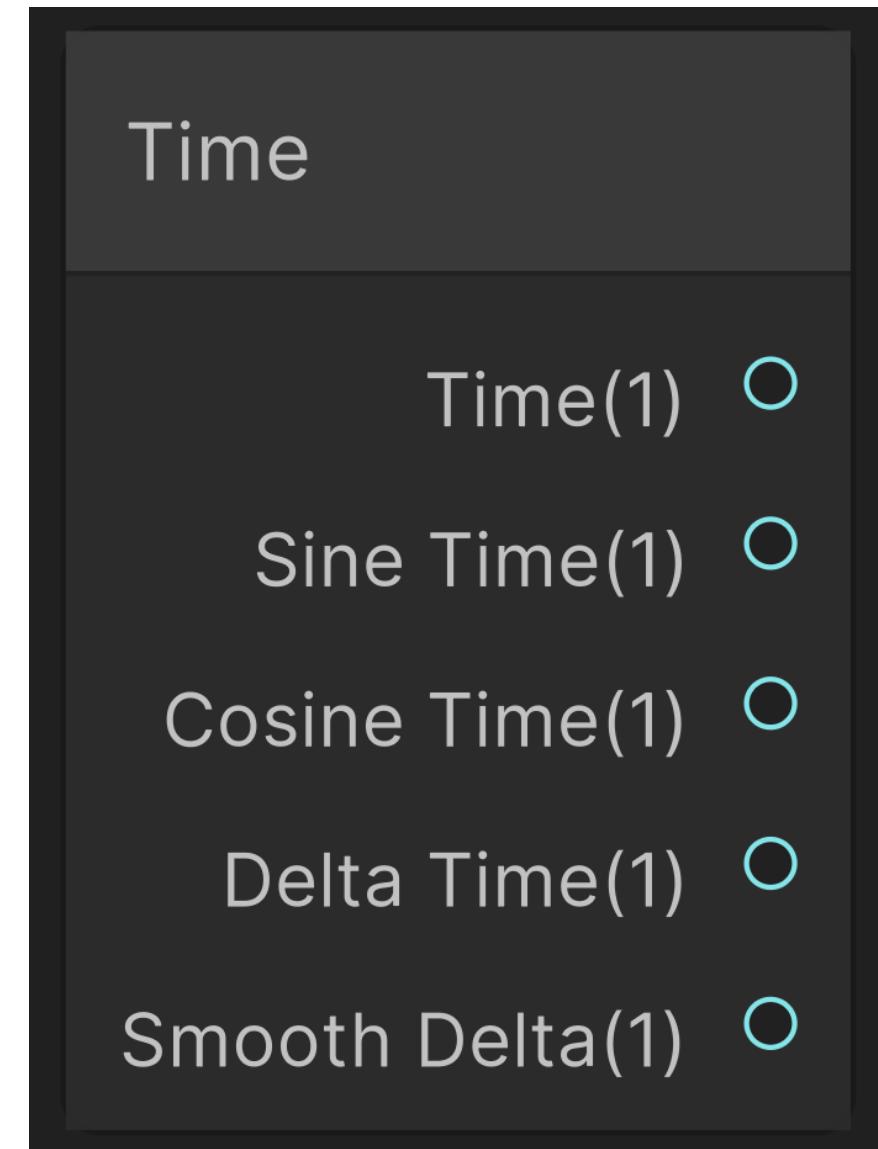
今日の話

- ・光を流してみよう



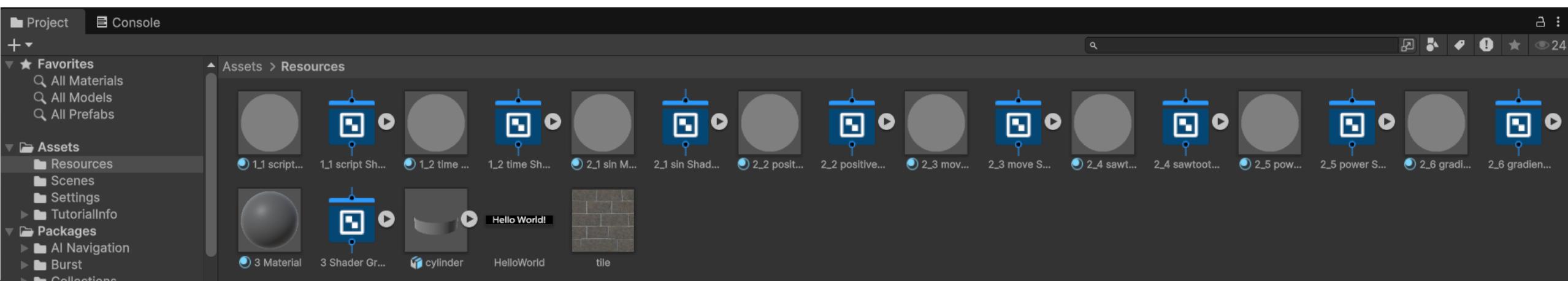
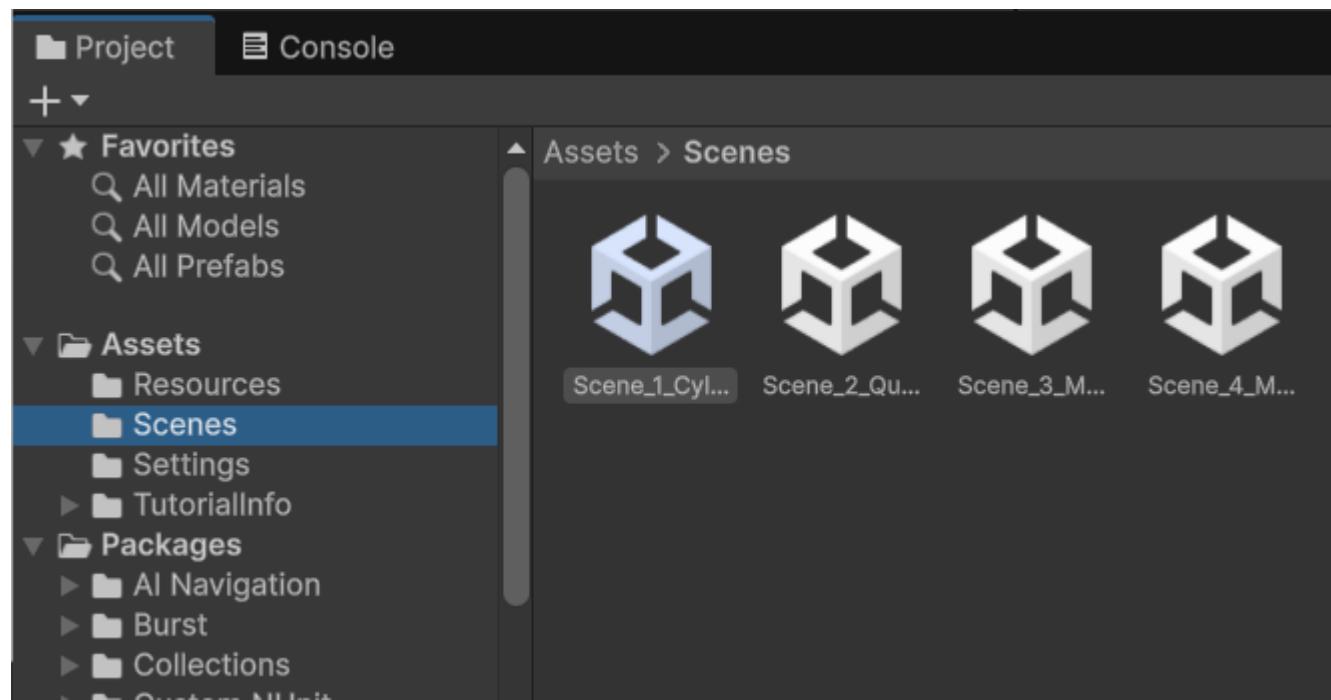
今日の主役: タイムノード

Name	Direction	タイプ	バインディング	説明
Time	出力	Vector 1	なし	Time の値
Sine Time	出力	Vector 1	なし	Time 値の正弦
Cosine Time	出力	Vector 1	なし	Time 値の余弦
Delta Time	出力	Vector 1	なし	現在のフレーム時間
Smooth Delta	出力	Vector 1	なし	平滑化された現在のフレーム時間



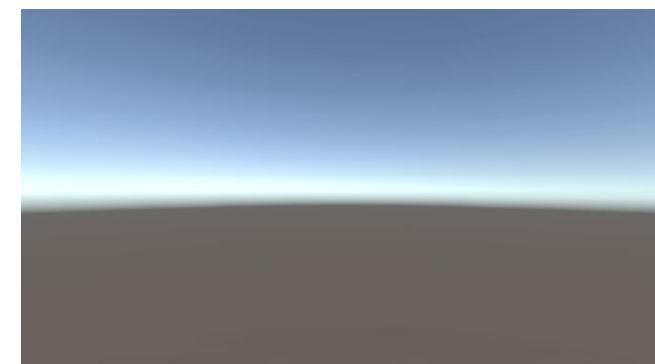
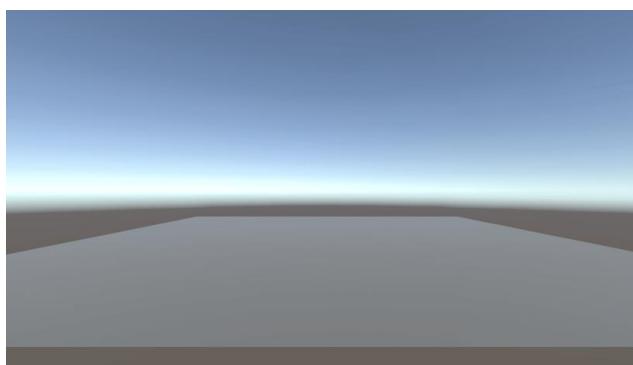
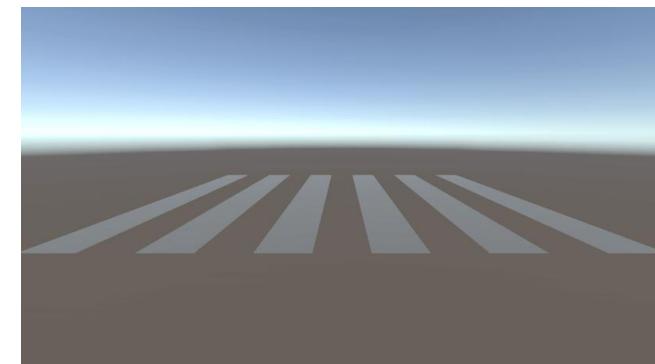
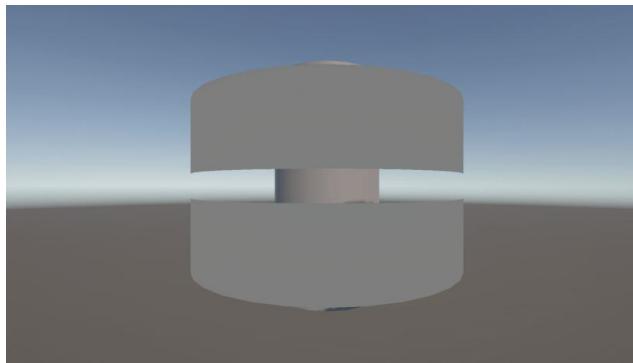
アセット

- 4シーン
- 1モデル(FBX)
- 2テクスチャ(透過PNG)
- 9マテリアル&Shader Graph



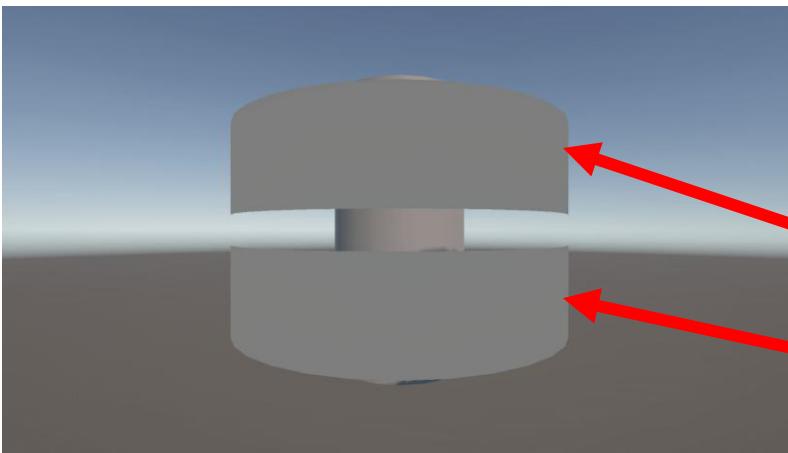
シーン

- Scene_1_Cylinder
 - 円柱の周りをスクリプトとシェーダでHello World!を回してください
- Scene_2_Quad
 - ステップを踏んで、最終的に光の筋を作ってください
- Scene_3_Mask
 - 部分的に光を走らせてください
- Scene_4_MyBest
 - 最高のシーンを作ってください

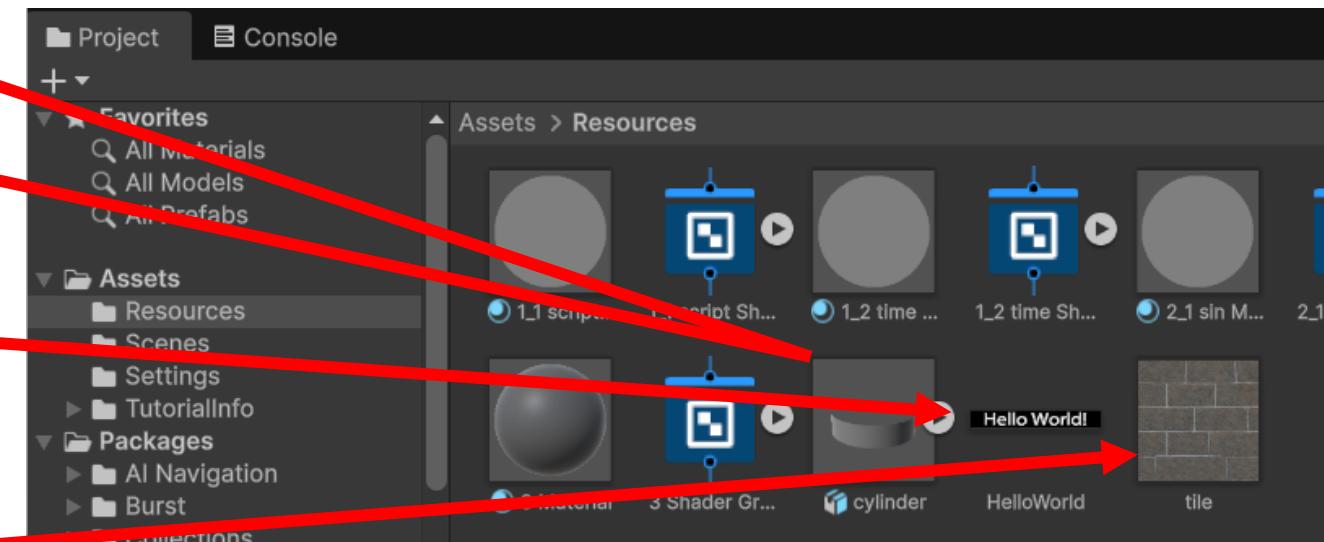
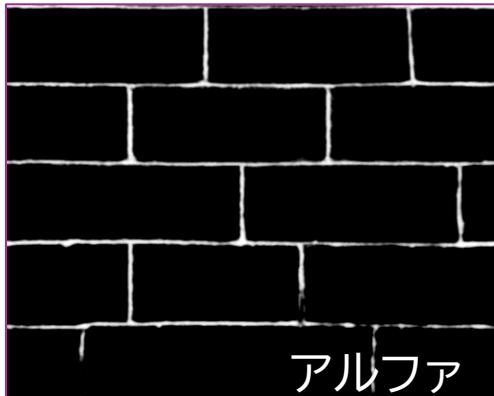


プログラムワークショップIV

モデル・テクスチャ

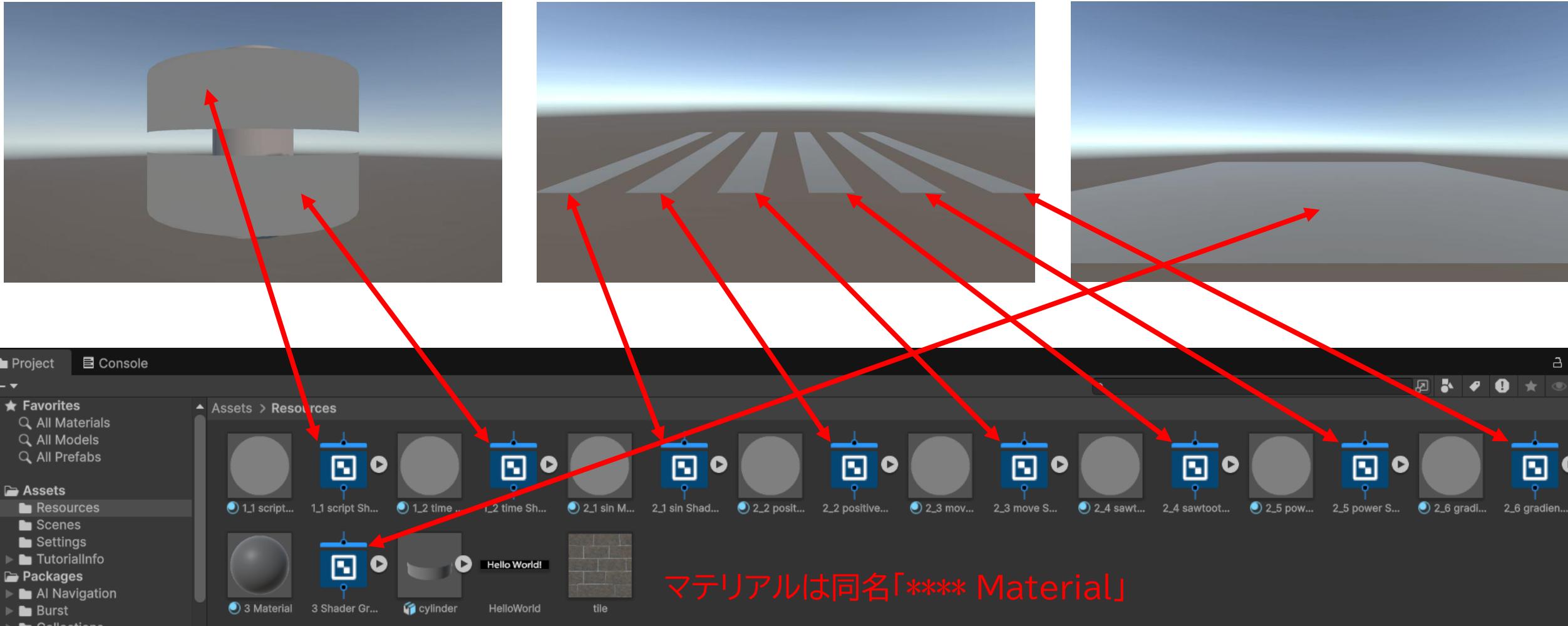


Hello World!



プログラムワークショップIV

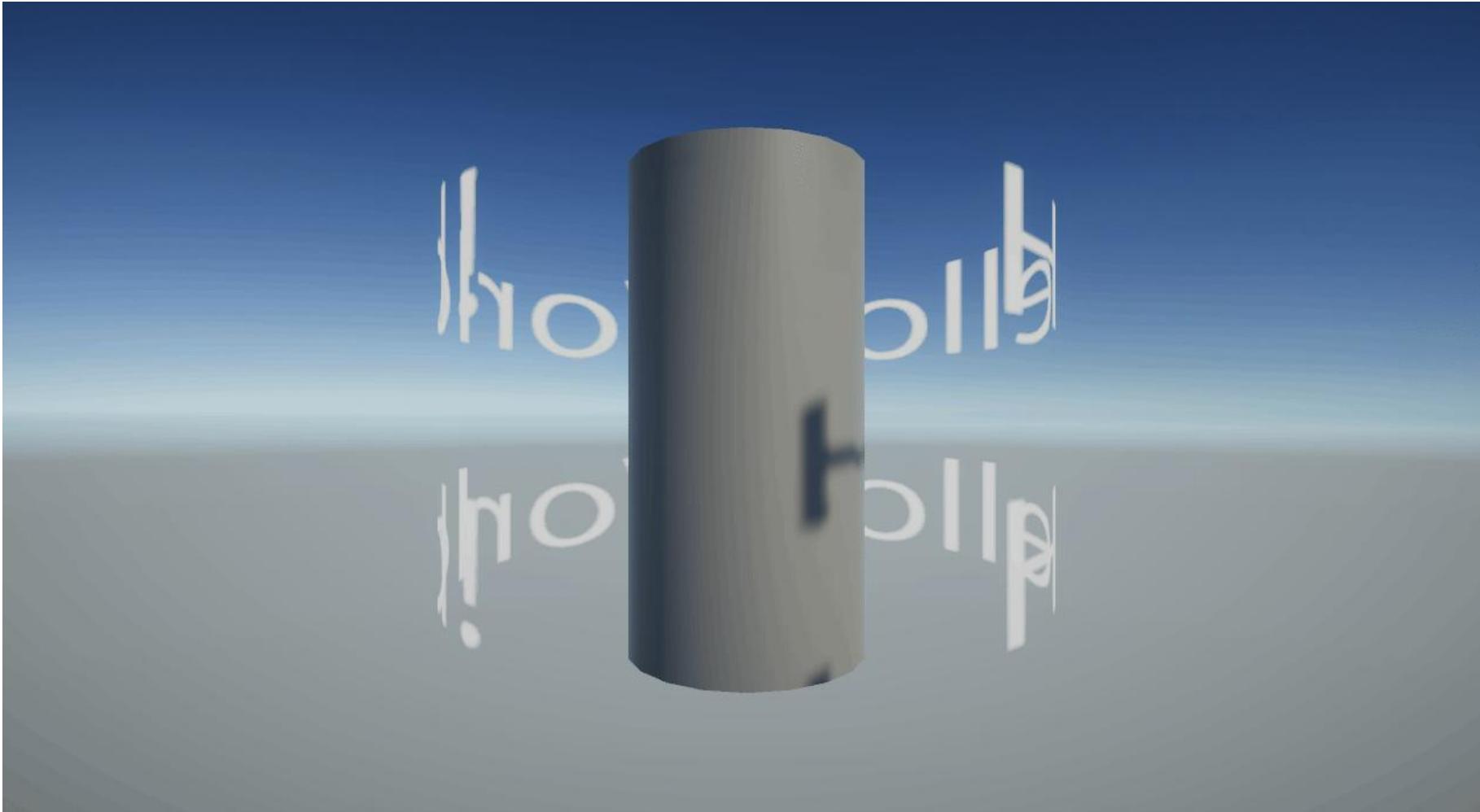
マテリアル&Shader Graph



本日の内容

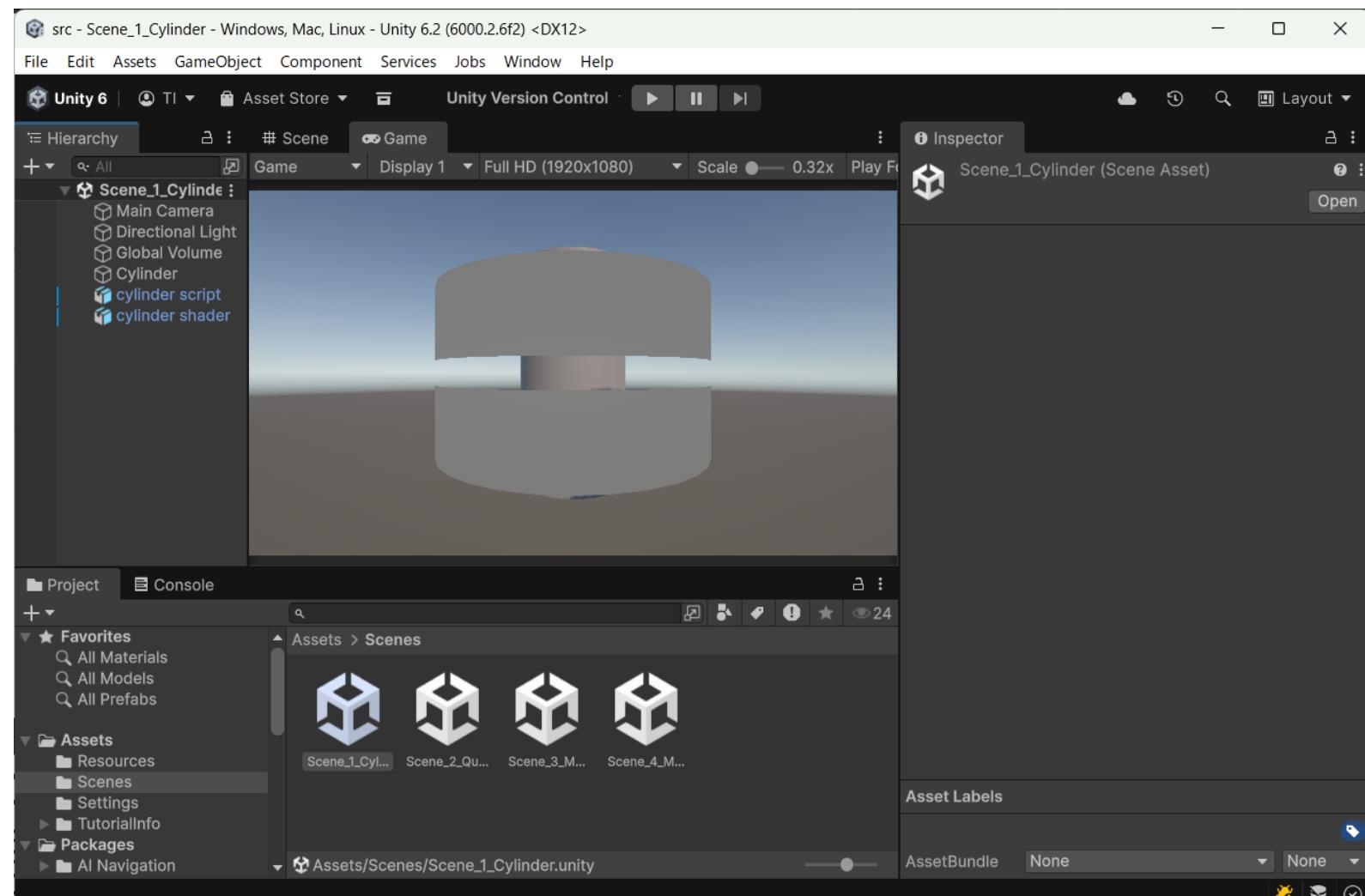
- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・**回してみよう**
 - ・光を走らせてみよう
 - ・思った場所に走らせよう

回してみよう



シーン

- Scene_1_Cylinder

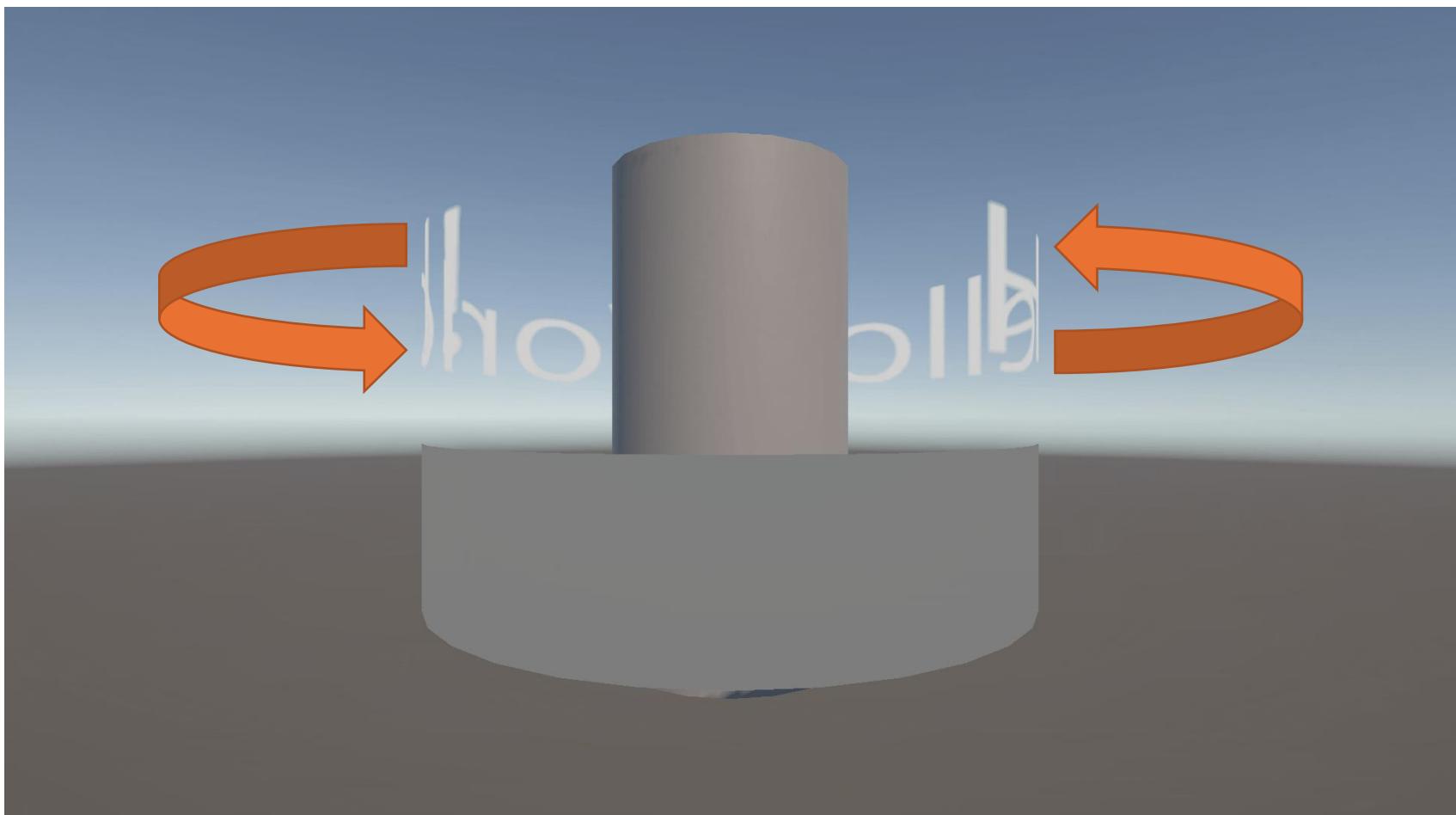


本日の内容

- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・オブジェクトを動かす
 - ・光を走らせてみよう
 - ・思った場所に走らせよう

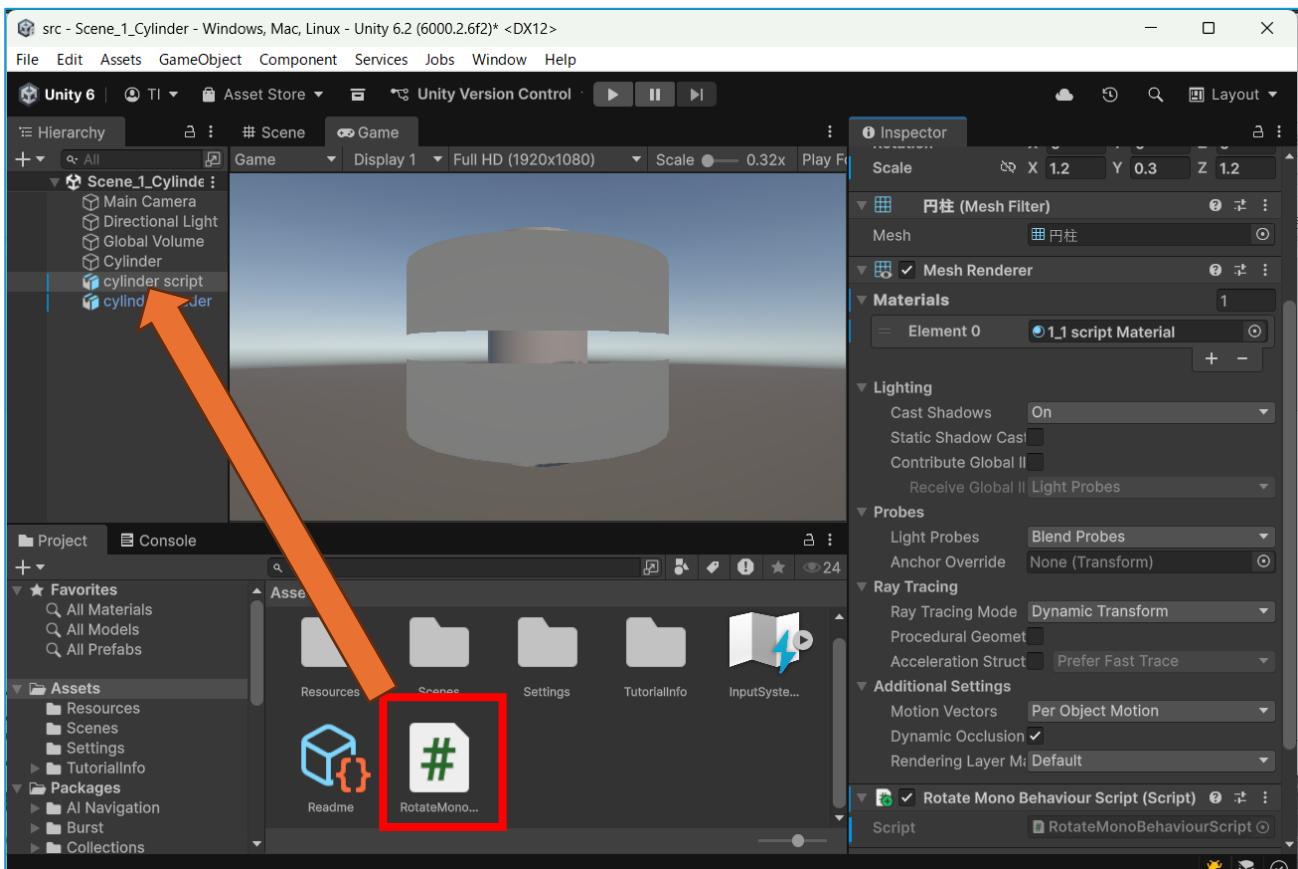
オブジェクトを動かす

- ・スクリプトで回転



スクリプトの設定

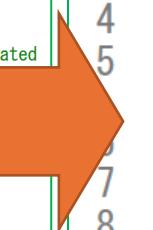
- Projectウィンドウで右クリック
 - 「Create」で「MonoBehavior Script」を生成
- イイ感じにRename
 - RotateMonoBehaviourScriptとか
- 動かしたいオブジェクトにD&D
 - 配置済みの物体「cylinder script」



スクリプト

- transformをRotateで回す
 - 一周 360.0f
 - 各フレームで回す角度を指定
 - 角度の直接指定ではない

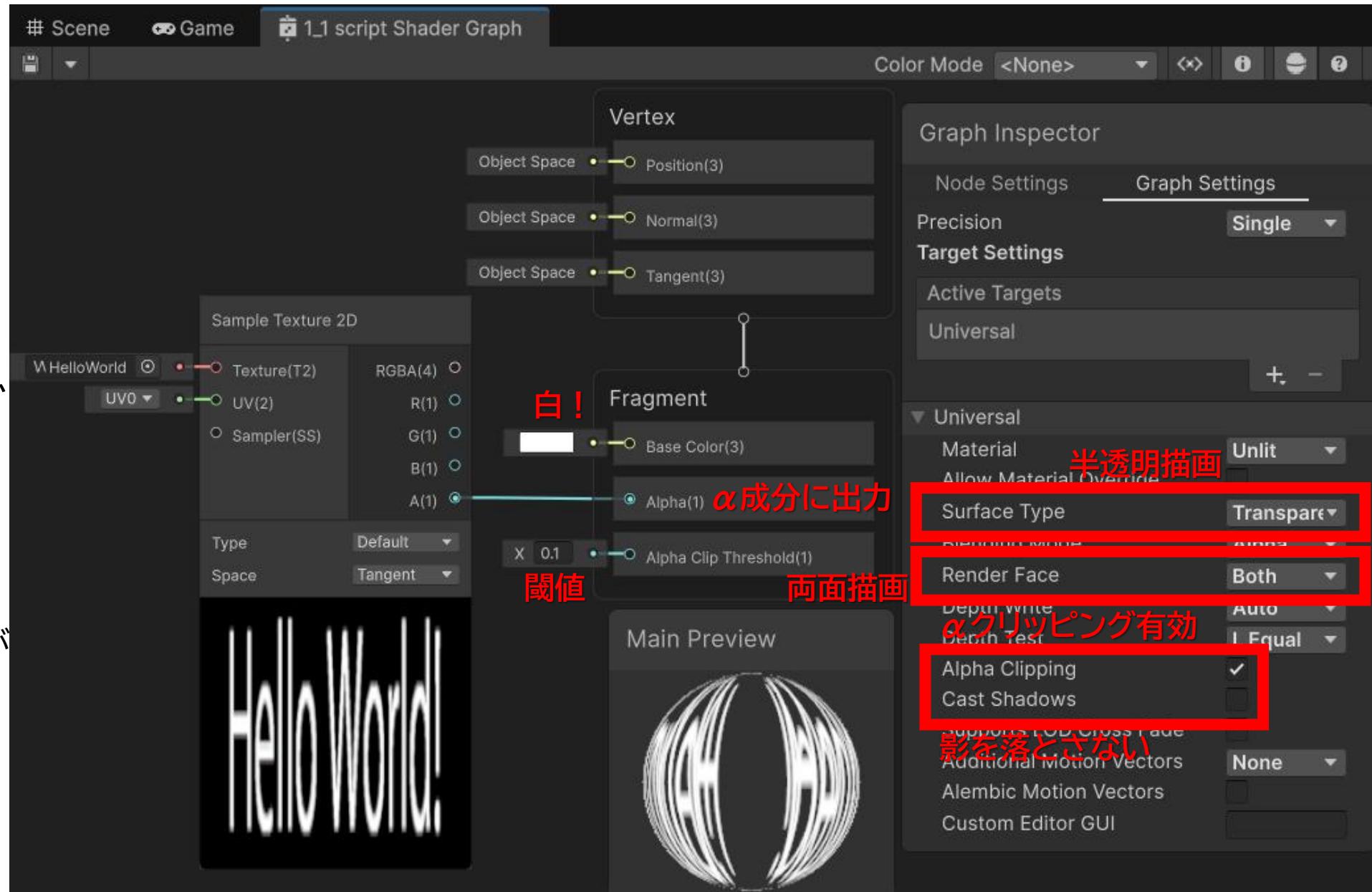
```
1  using UnityEngine;
2
3  public class RotateMonoBehaviourScript : MonoBehaviour
4  {
5      // Start is called once before the first execution of Update after the MonoBehaviour is created
6      void Start()
7      {
8      }
9
10     // Update is called once per frame
11     void Update()
12     {
13     }
14 }
```



```
1  using UnityEngine;
2
3  // Unity スクリプト10 個の参照
4  public class RotateMonoBehaviourScript : MonoBehaviour
5  {
6      // Update is called once per frame
7      // Unity メッセージ10 個の参照
8      void Update()
9      {
10         // 360で一周 1秒で1増える 1周の秒数
11         float rotationSpeed = 360.0f * Time.deltaTime / 10.0f;
12         this.transform.Rotate(0, rotationSpeed, 0);
13     }
14 }
```

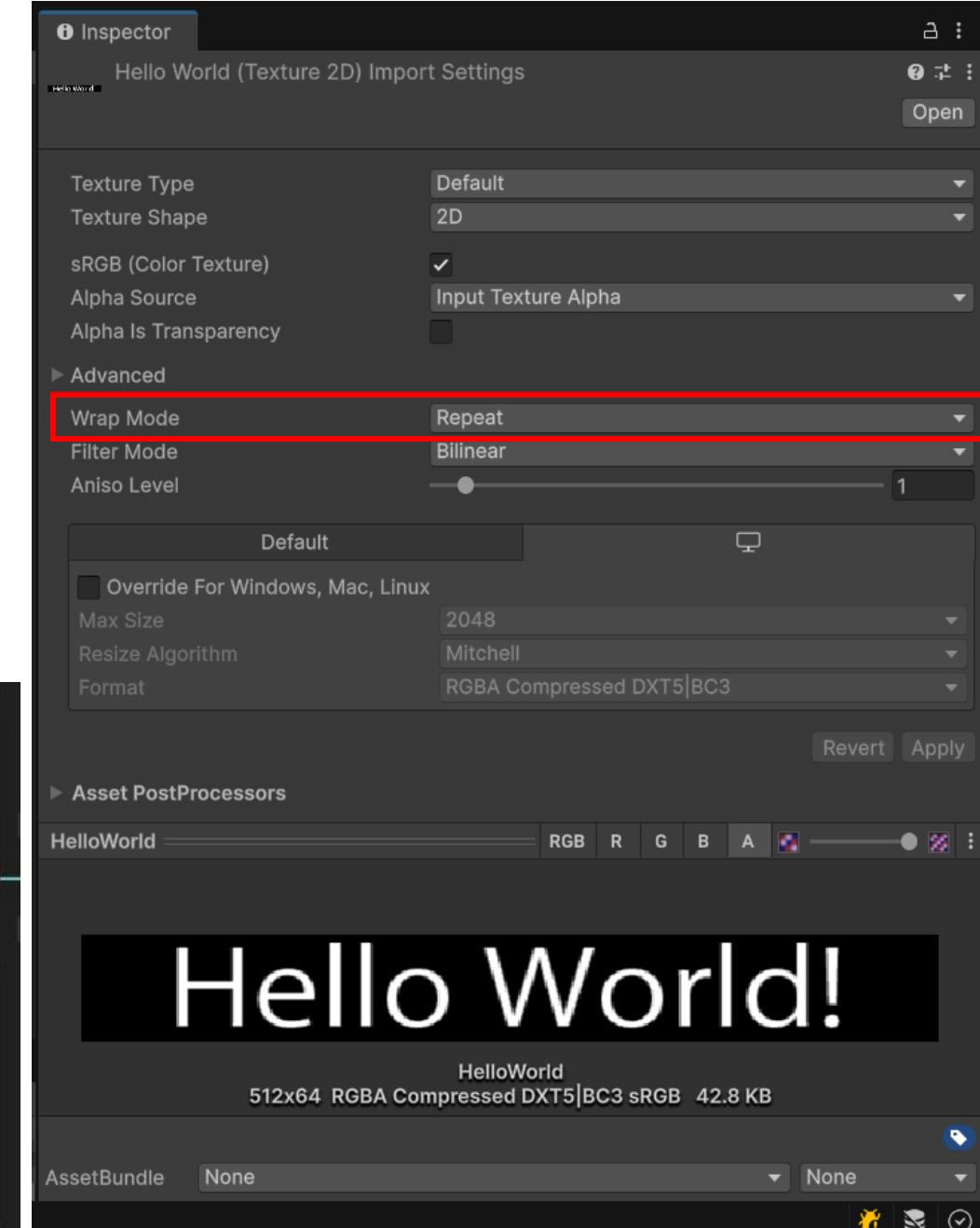
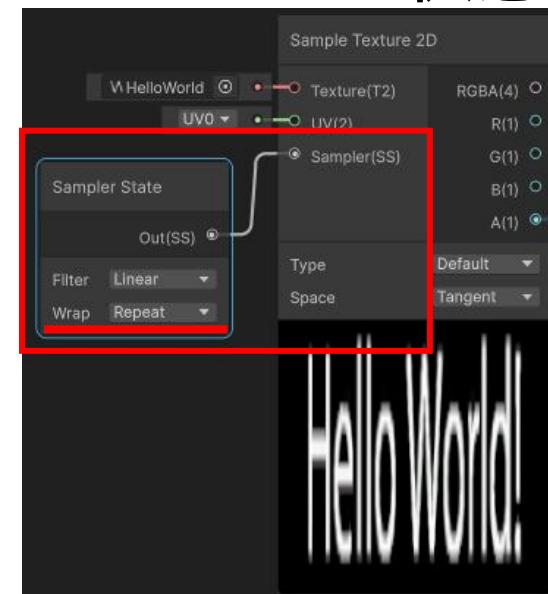
シェーダ

- 半透明描画
- α 成分に出力
- 両面描画
- α クリッピング
 - α 値が閾値よりも小さいと、描画されない
 - フレームバッファとの合成が減るので、ちょっと軽くなる
- 影を落とさない

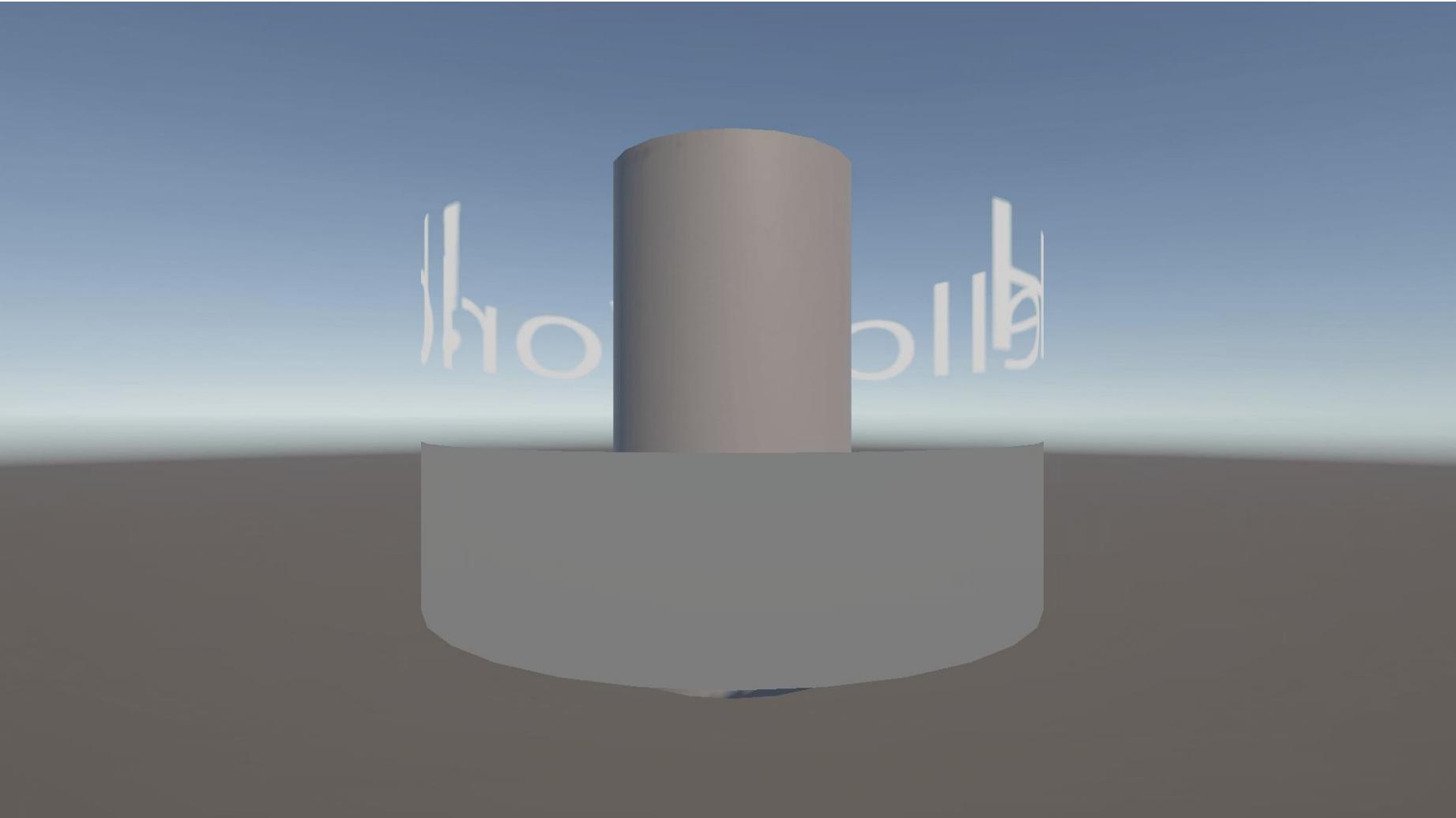


注意:サンプラー設定

- ・テクスチャの繰り返し(Wrap Mode)は、「Repeat」に設定
 - ・今回は設定済み
- ・強制的に設定するにはサンプラー状態のノードを追加する



やってみよう

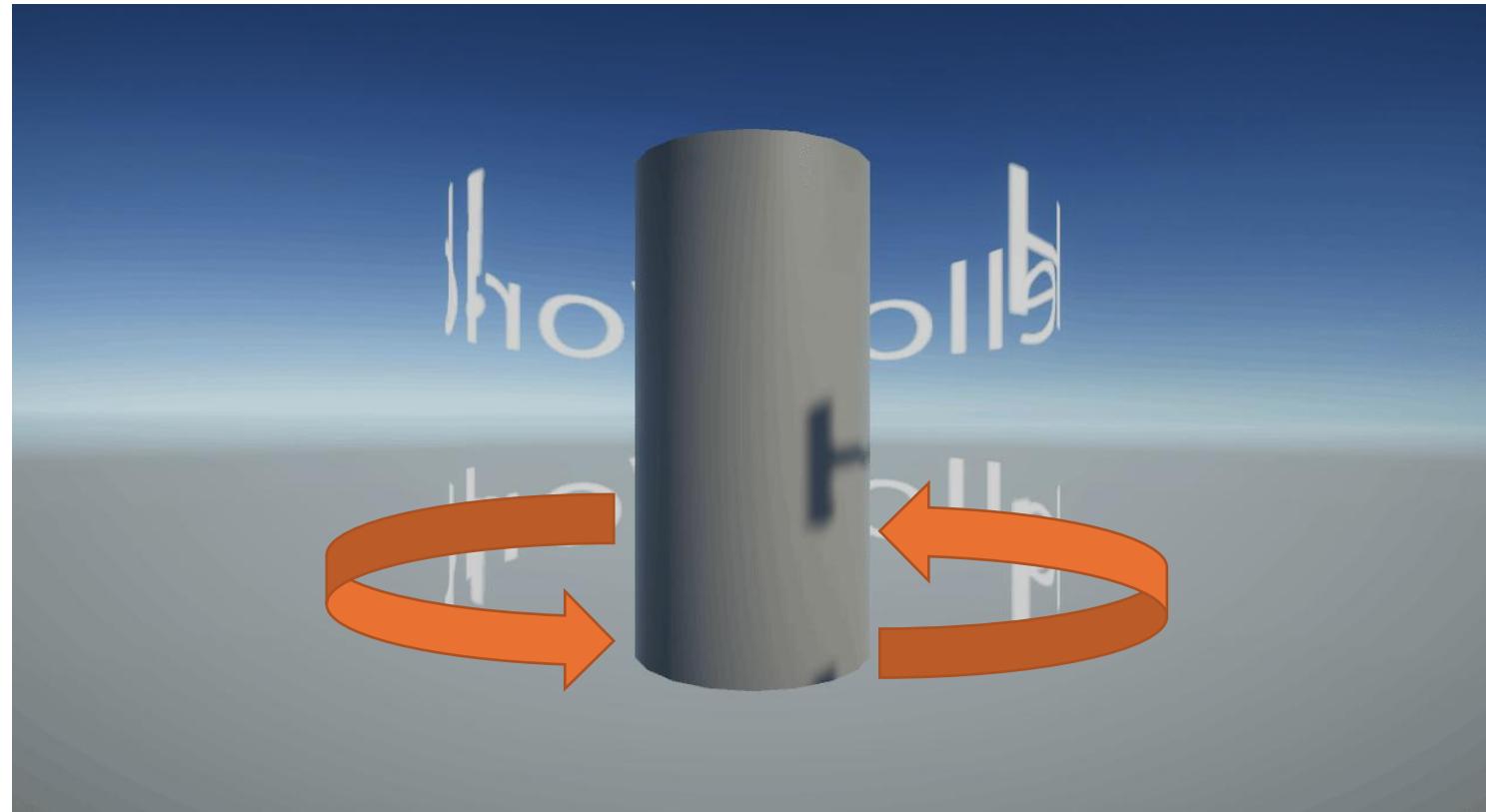


本日の内容

- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・オブジェクトを動かす
 - ・テクスチャをスクロールさせる
 - ・光を走らせてみよう
 - ・思った場所に走らせよう

どうやって回す？

- オブジェクトを動かす
 - スクリプトで回転
- この授業の狙いではない
- シェーダだと何がいいの?
 - CPU負荷が下がる
 - 描画と挙動の分業化
 - スクリプトはもっと難しい処理に専念できる
 - それぞれが独立して品質を突き詰められる
- どうすればシェーダで同じことを実現できるか？



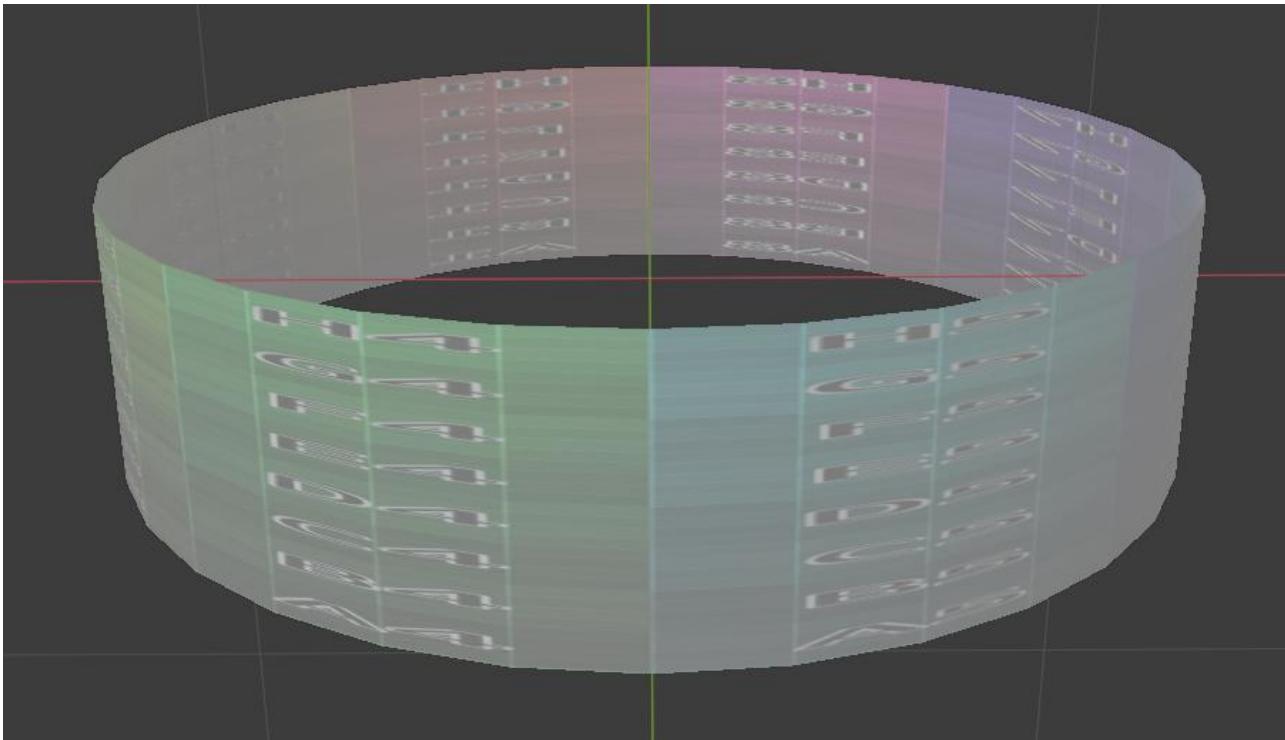
発想の逆転

- ・物体を回す
- ・テクスチャを読み込む位置を変える
 - ・物体は固定
 - ・「UVスクロール」といわれることが多い



用意したモデル

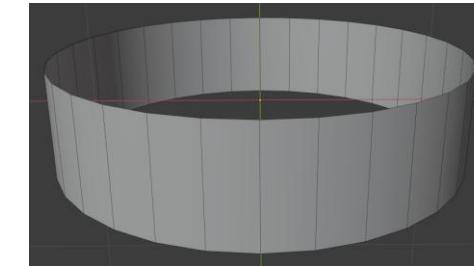
cylinder.fbx



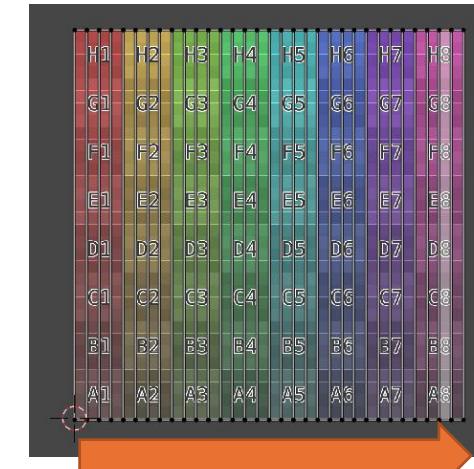
HelloWorld.png



RGBAですべて同じ値



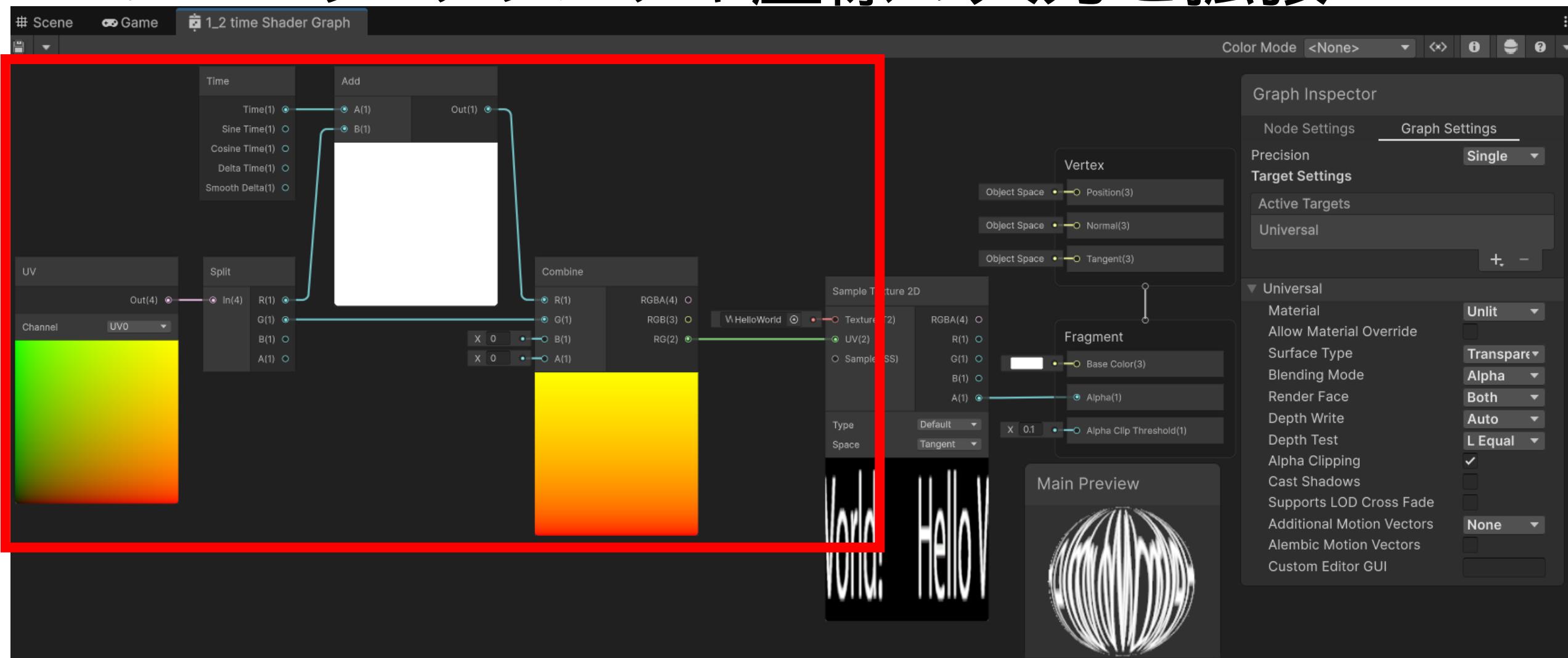
メッシュ



UV

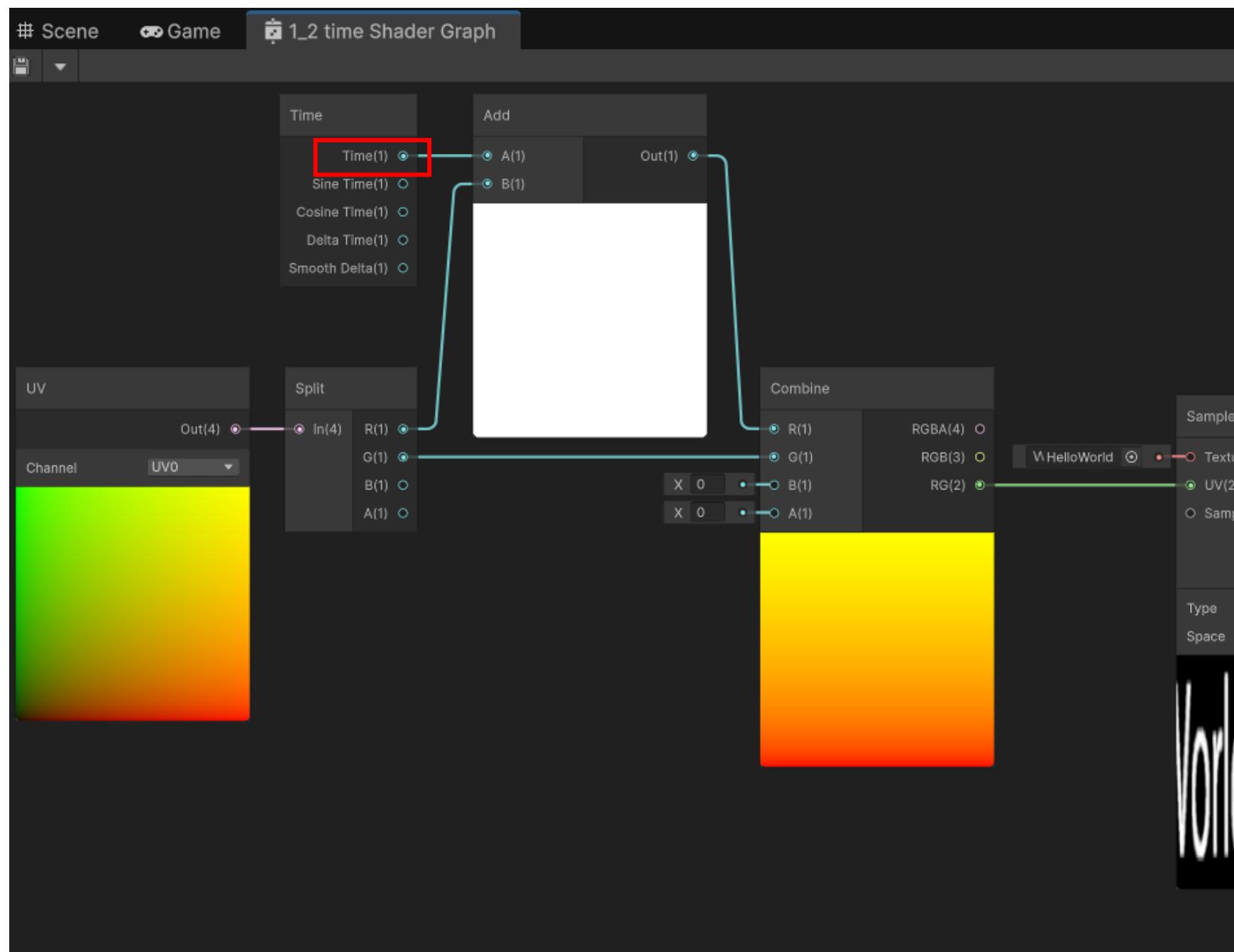
U方向にテクスチャを参照する位置を
変えると流れるように表示される

シェーダ: テクスチャ座標の入力を拡張



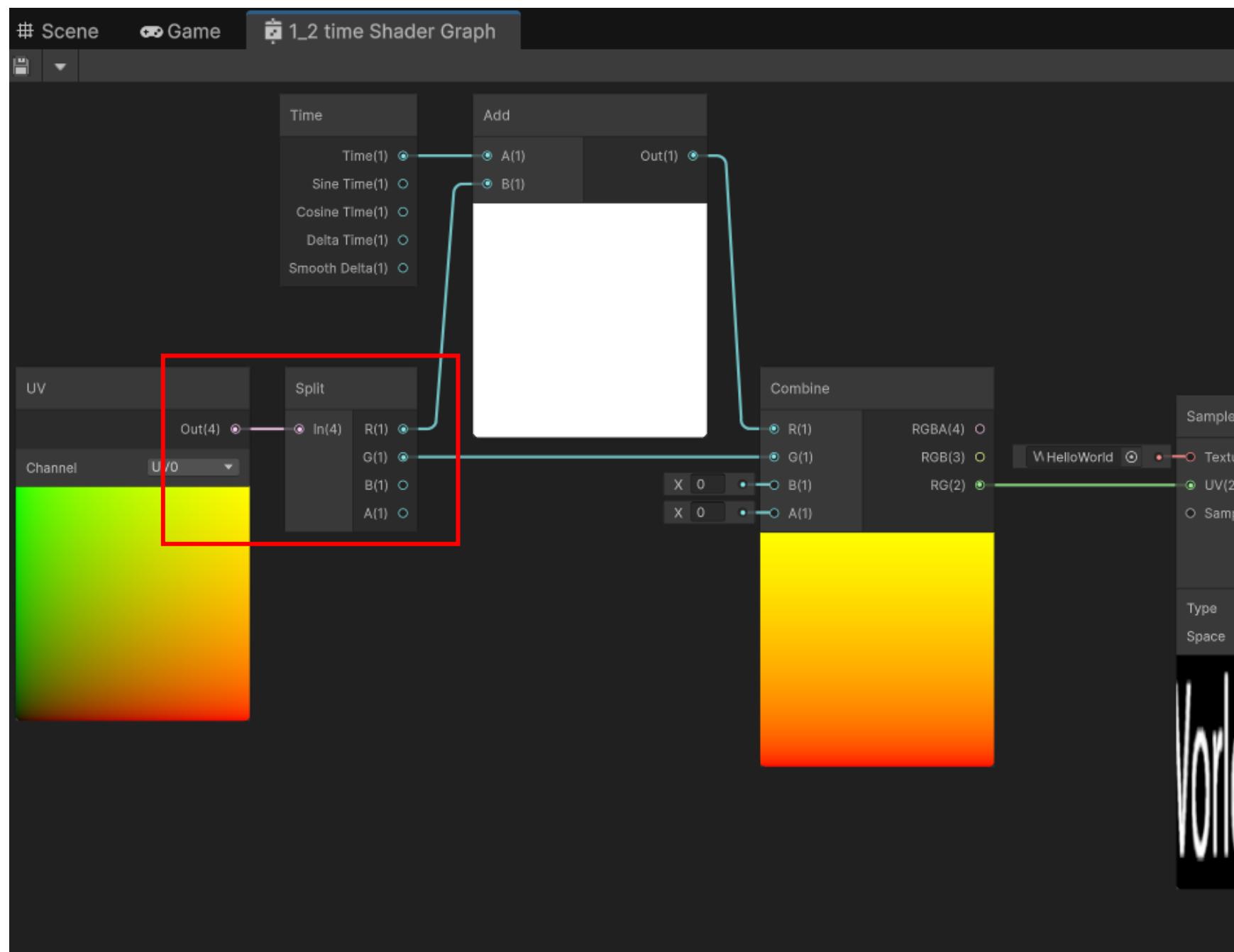
シェーダ
で回す

- 時間を取つくる
 - Timeノード
 - Time出力
 - 1秒で1.0増える



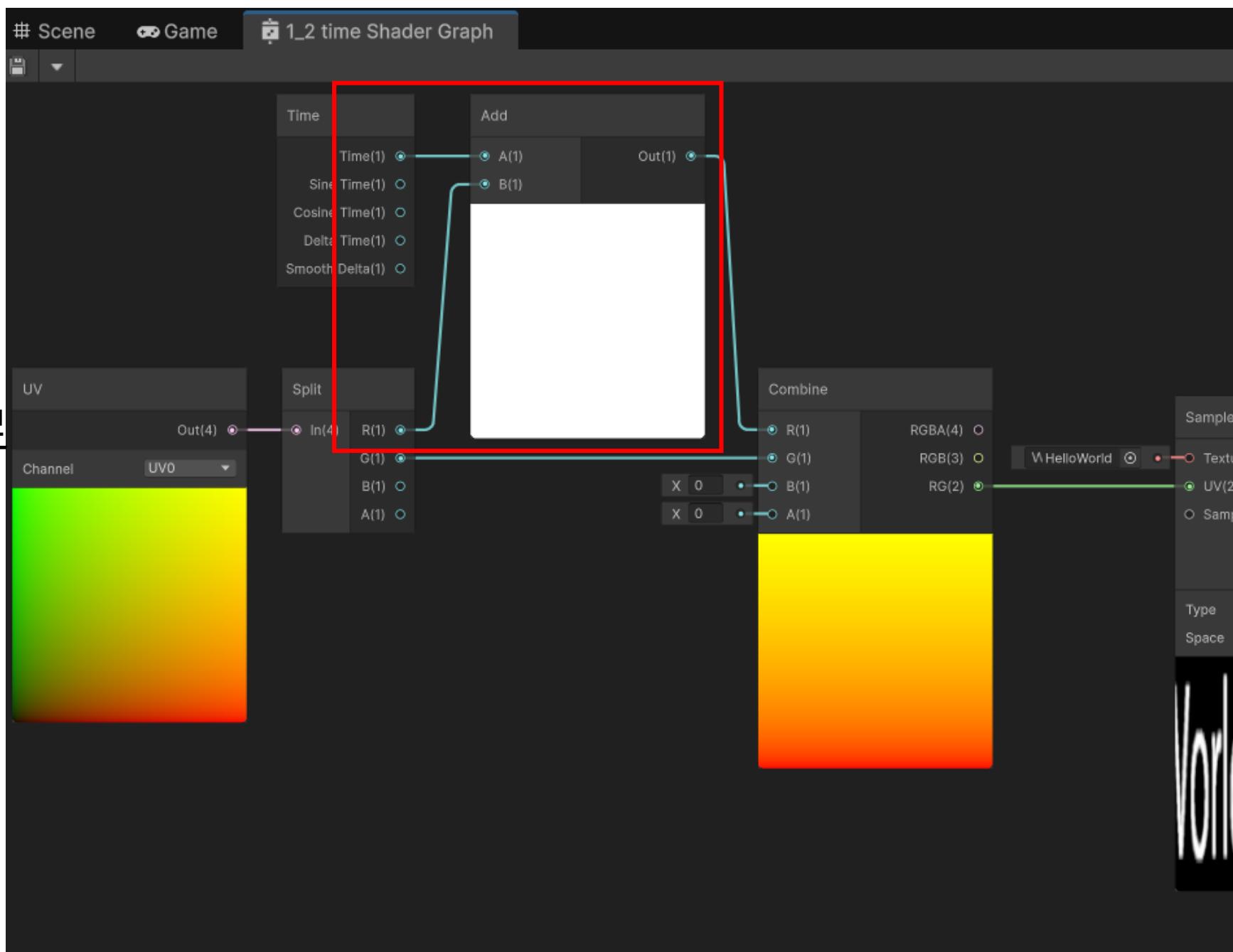
シェーダー で回す

- ・横方向のサンプリング位置を取得
 - UVのU成分
 - Splitノードで成分を分離



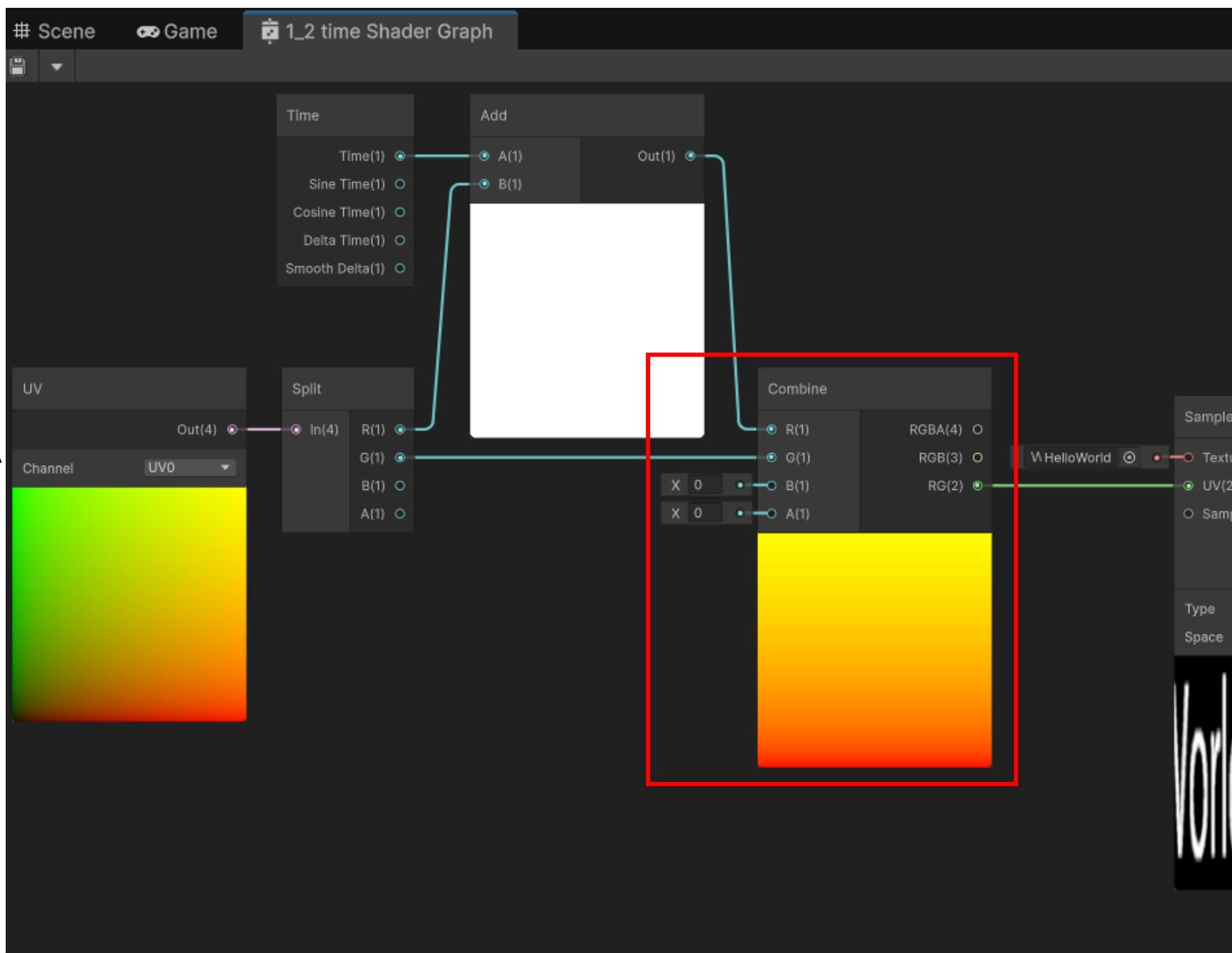
シェーダーで回す

- ・テクスチャ座標をずらす
 - ・U成分に時間を足して動かす



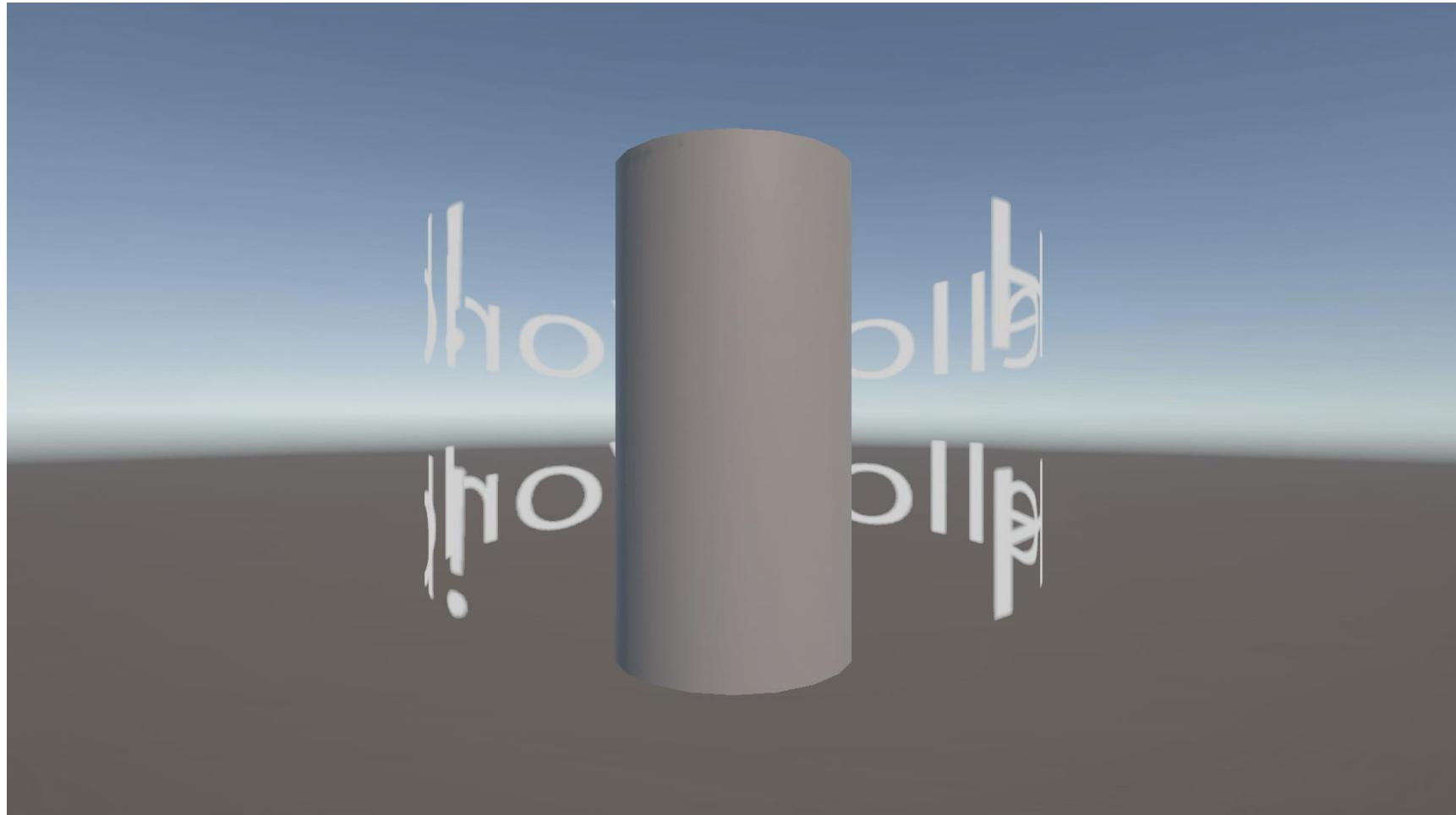
シェーダーで回す

- ・テクスチャ座標を再構築
 - ・テクスチャ座標は2次元でなければならぬので、動かさないV成分と合わせる



やってみよう

- ・ただしすごく速い

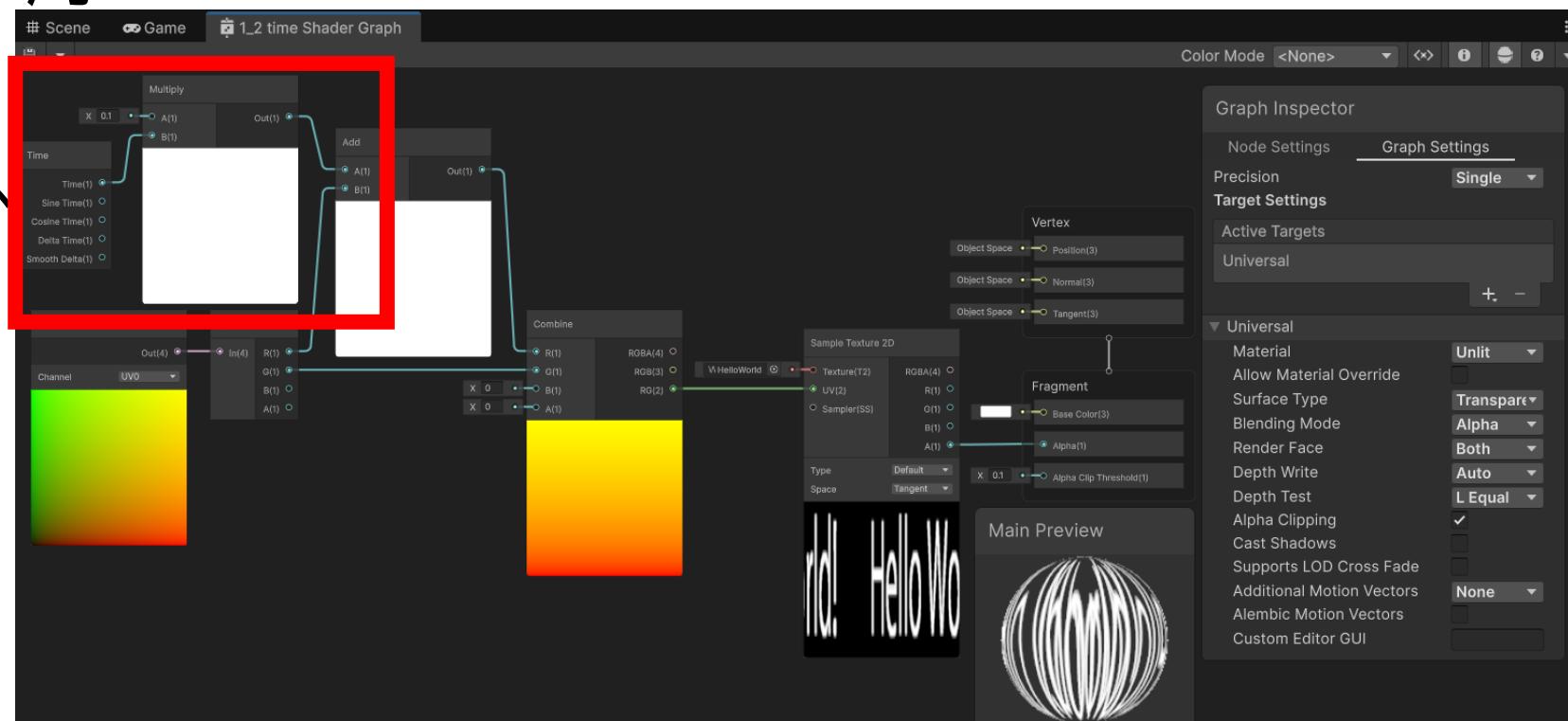


速度を合わせる

- Timeノードは1秒で1増える
- UVは1.0増えると一周

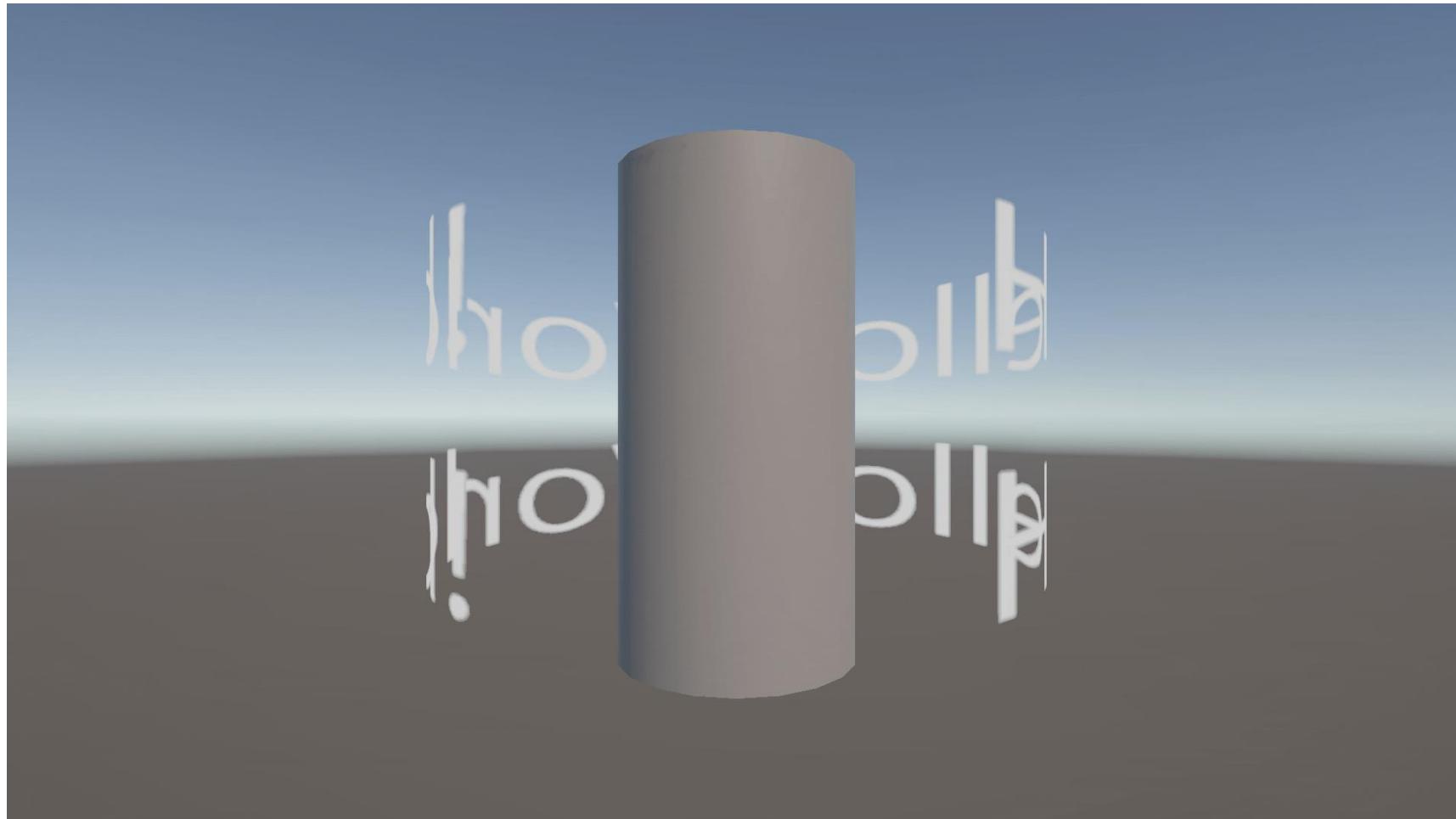
10秒で一周するには、
10で割る

- 0.1を掛ける



やってみよう

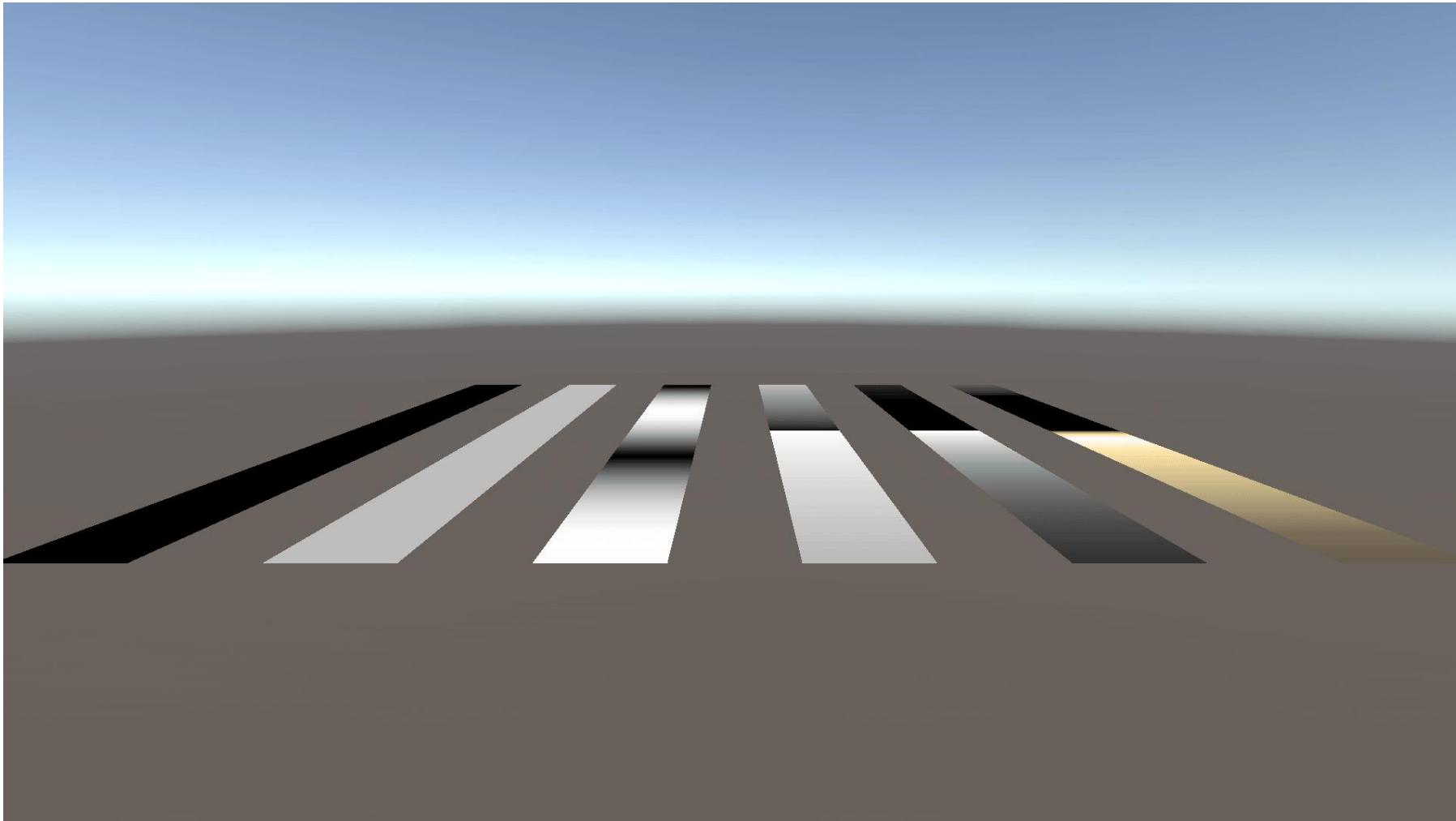
- スクリプトとシェーダで同じ回転が実現できました
- 注意: ゲーム中の deltaTime で動くので、ポーズ処理に注意
 - ポーズメニューがあるゲームでは CPU から時間を渡して止める



本日の内容

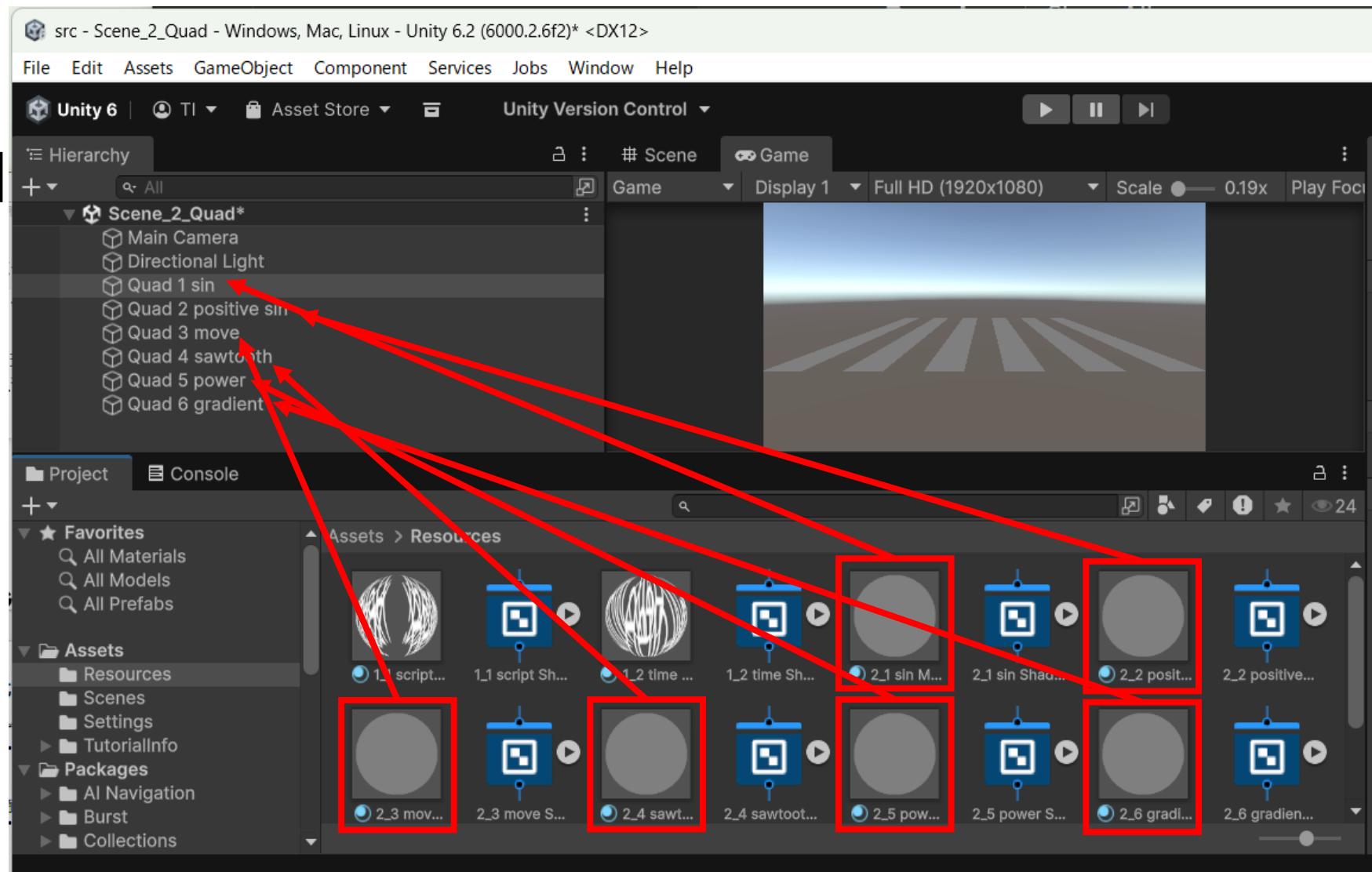
- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・光を走らせてみよう
 - ・思った場所に走らせよう

光を走らせてみよう



シーン

- Scene_2_Quad
- マテリアルを付け忘れていたので、設定してください



光を走らせたい

- ずっと走らせる
 - ある程度すると、同じ状態に戻って繰り返し
- 簡単な繰り返しは?
 - 三角関数!



本日の内容

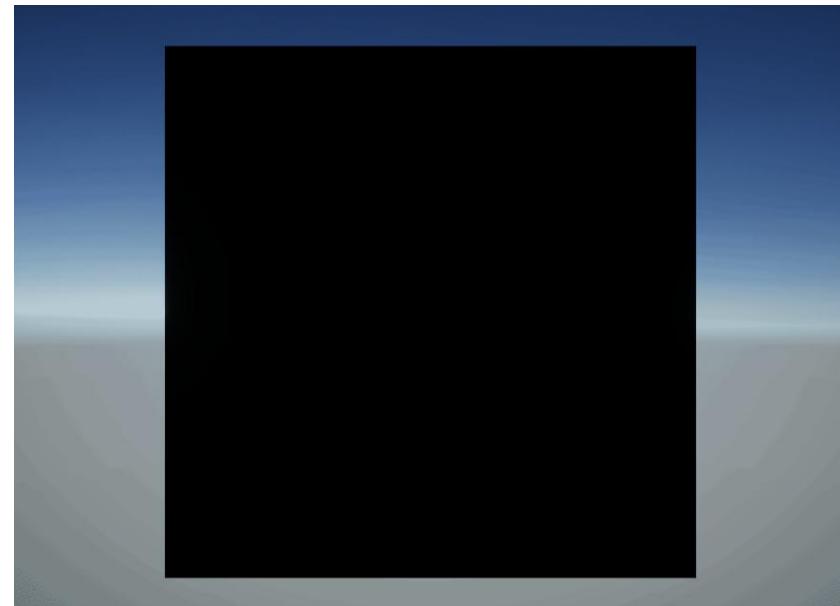
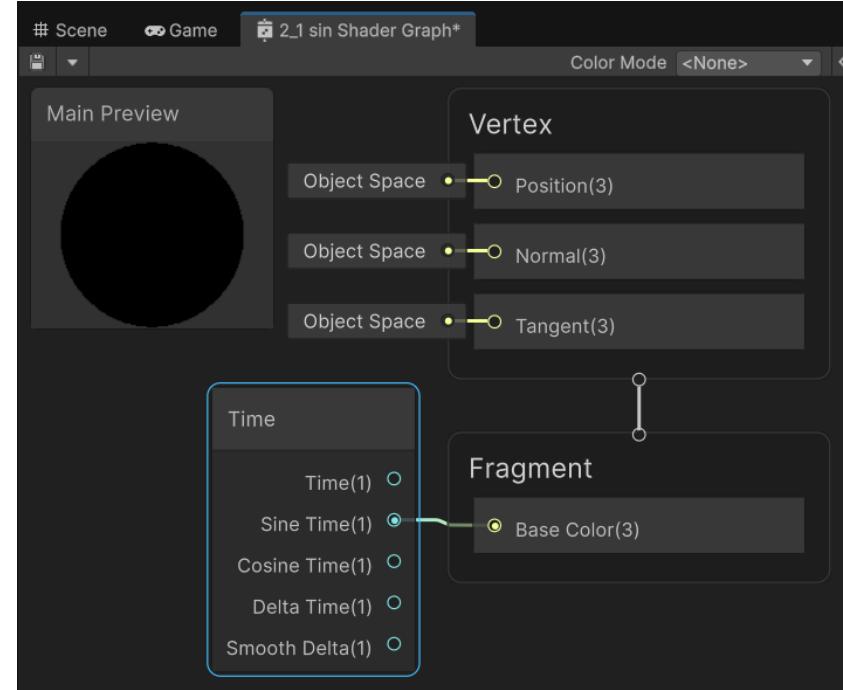
- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・光を走らせてみよう
 - Sin波
 - ・思った場所に走らせよう

Sine Time (Cosine Timeもほぼ同様)

- ・三角関数っぽいので付けてみる

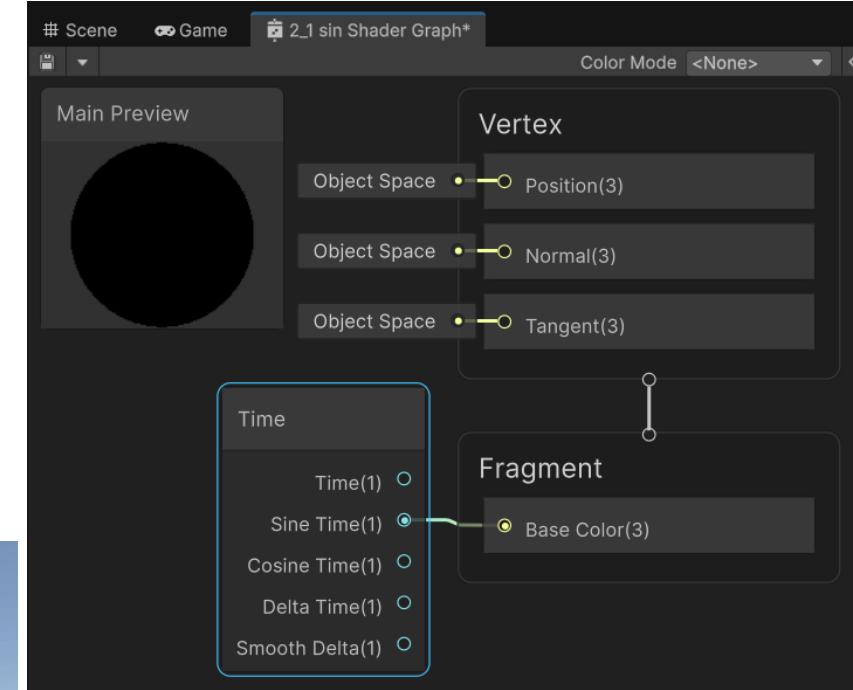
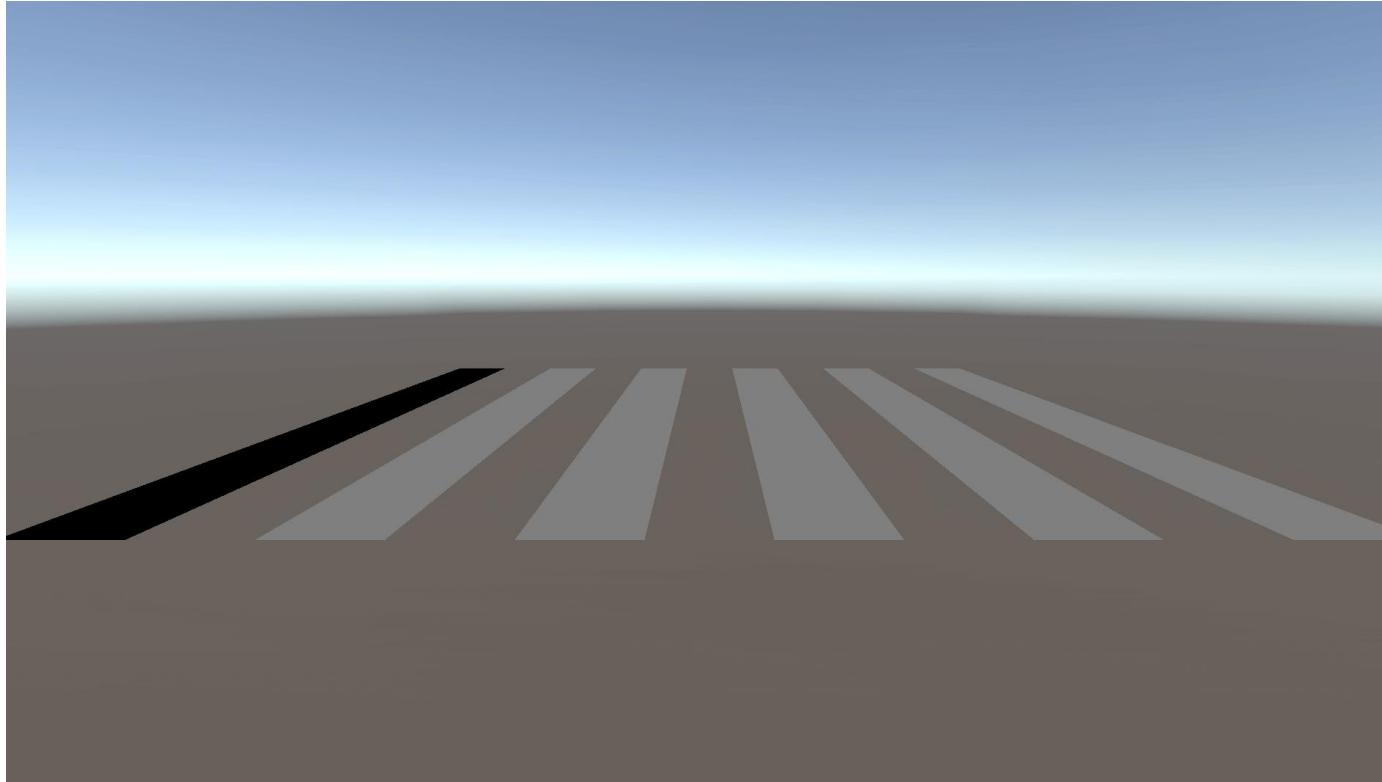
\sin (経過秒数)

- ・ 2π (≈ 6.28)秒で元に戻る
 - ・周期は変えられない



やってみよう

- ・「2_1 sin Shader Graph」をこの状態にしてください

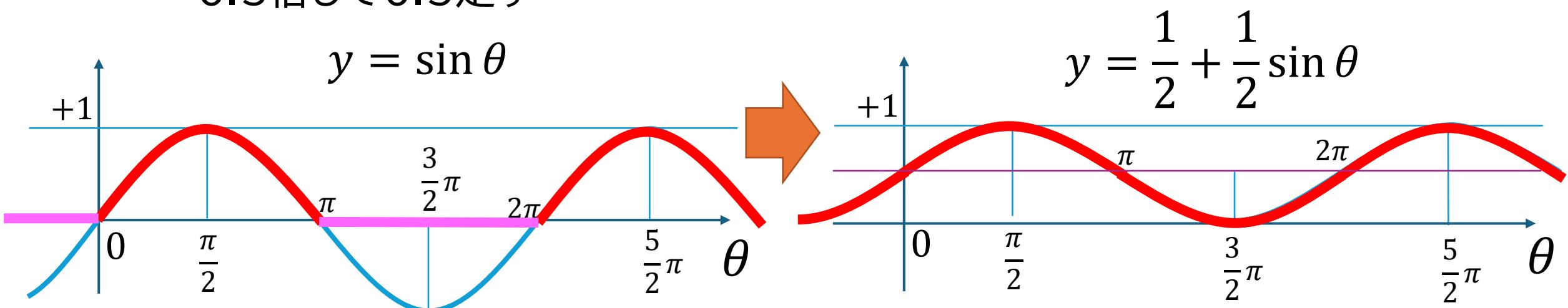


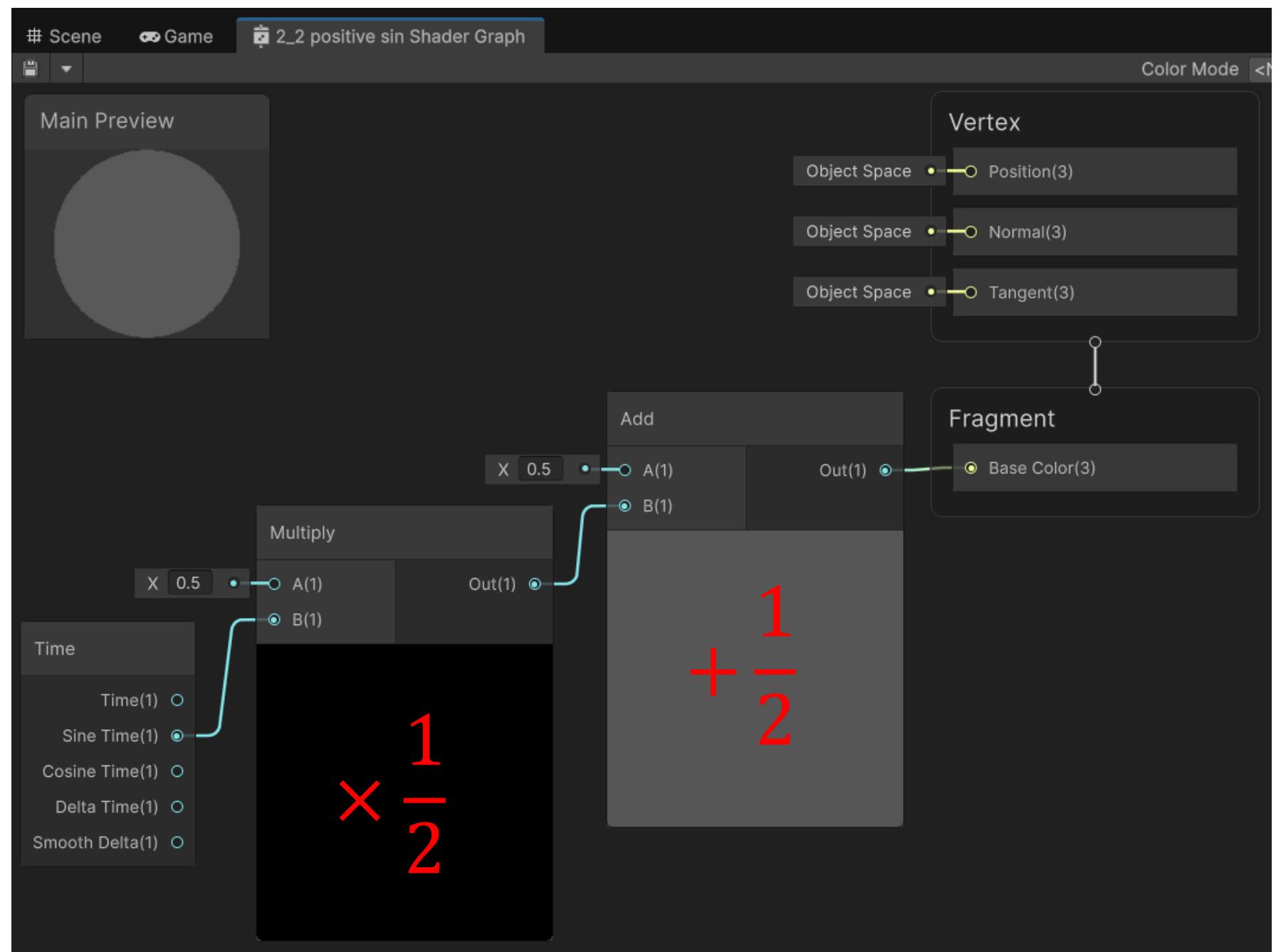
本日の内容

- 光を走らせる
 - 概要
 - 回してみよう
 - 光を走らせてみよう
 - Sin波
 - 滑らかなSin波
 - 思った場所に走らせよう

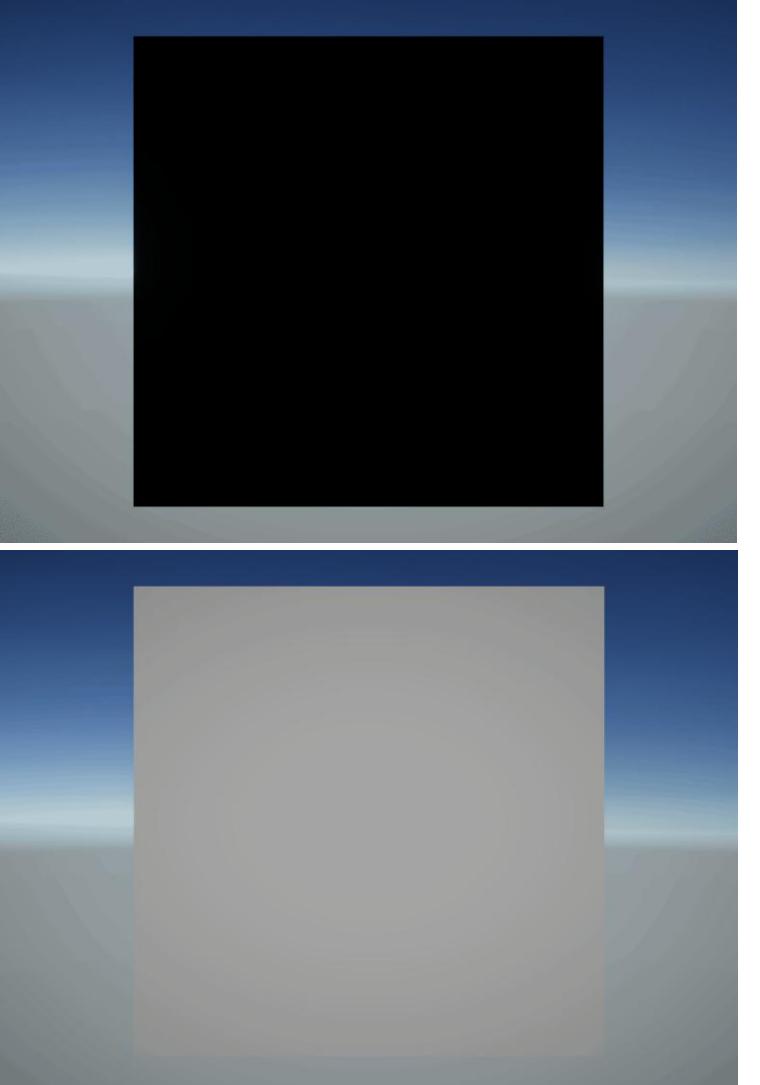
Sin関数を色に使う際の問題点

- ・表示されるのは正の値
 - ・半分の時間は黒
- ・負の値を消すには、 $[-1, +1]$ の範囲を $[0, +1]$ に縮めれば良い
 - ・0.5倍して0.5足す





$$y = \sin \theta$$

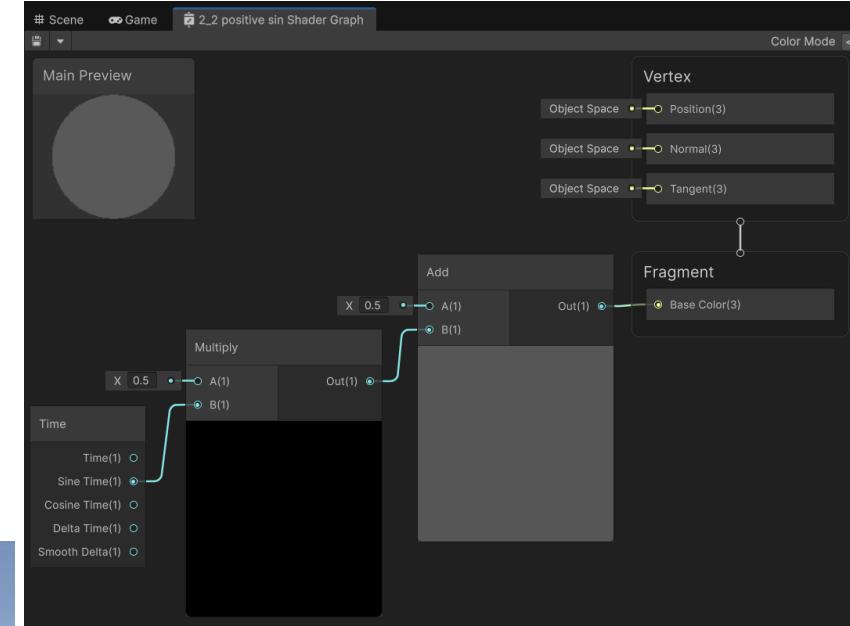
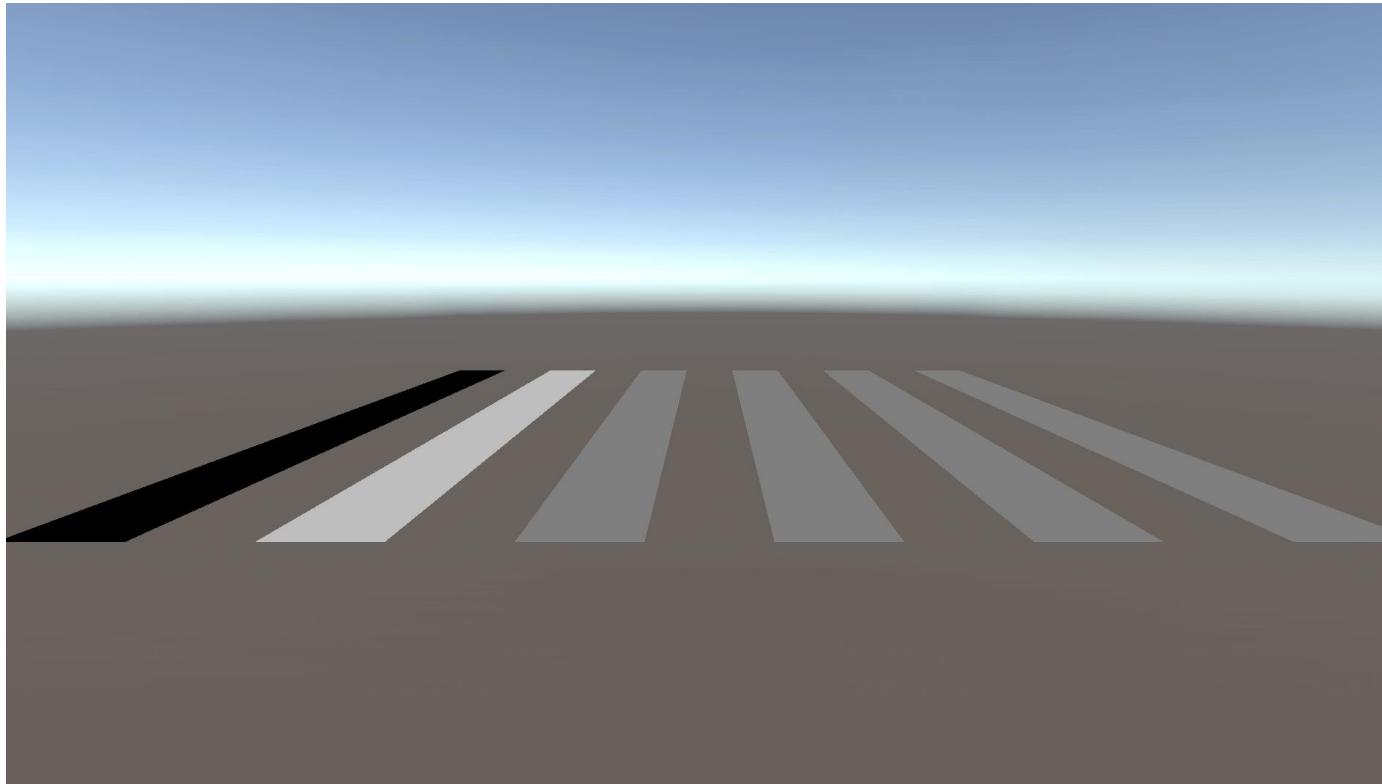


$$y = \frac{1}{2} + \frac{1}{2} \sin \theta$$

プログラムワークショップIV

やってみよう

- ・「2_2 positive sin Shader Graph」をこの状態にしてください



本日の内容

- 光を走らせる
 - 概要
 - 回してみよう
 - 光を走らせてみよう
 - Sin波
 - 滑らかなSin波
 - **進行波**
 - 思った場所に走らせよう

次の挑戦: 空間的に進ませたい

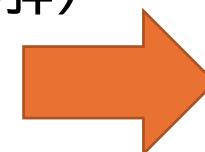
- 場所ごとに高さが変わる
 - 波動現象
- 波動は波動方程式で記述される

$$\frac{1}{c^2} \frac{\partial^2 u}{\partial t^2} = \frac{\partial^2 u}{\partial x^2} + \frac{\partial^2 u}{\partial y^2} + \frac{\partial^2 u}{\partial z^2}$$

- 波動方程式の解(ダランベールの解)

$$u = u_f(\vec{k} \cdot \vec{x} - \omega t) + u_b(\vec{k} \cdot \vec{x} + \omega t)$$

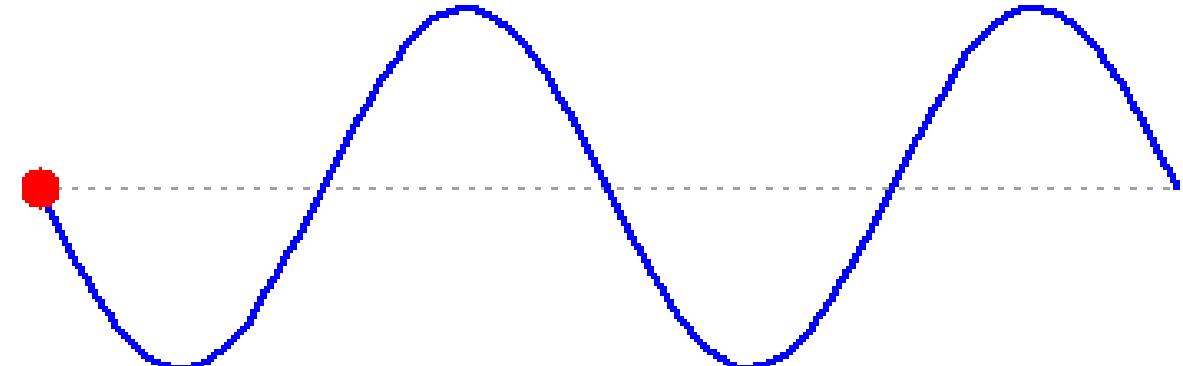
前進波 後退波

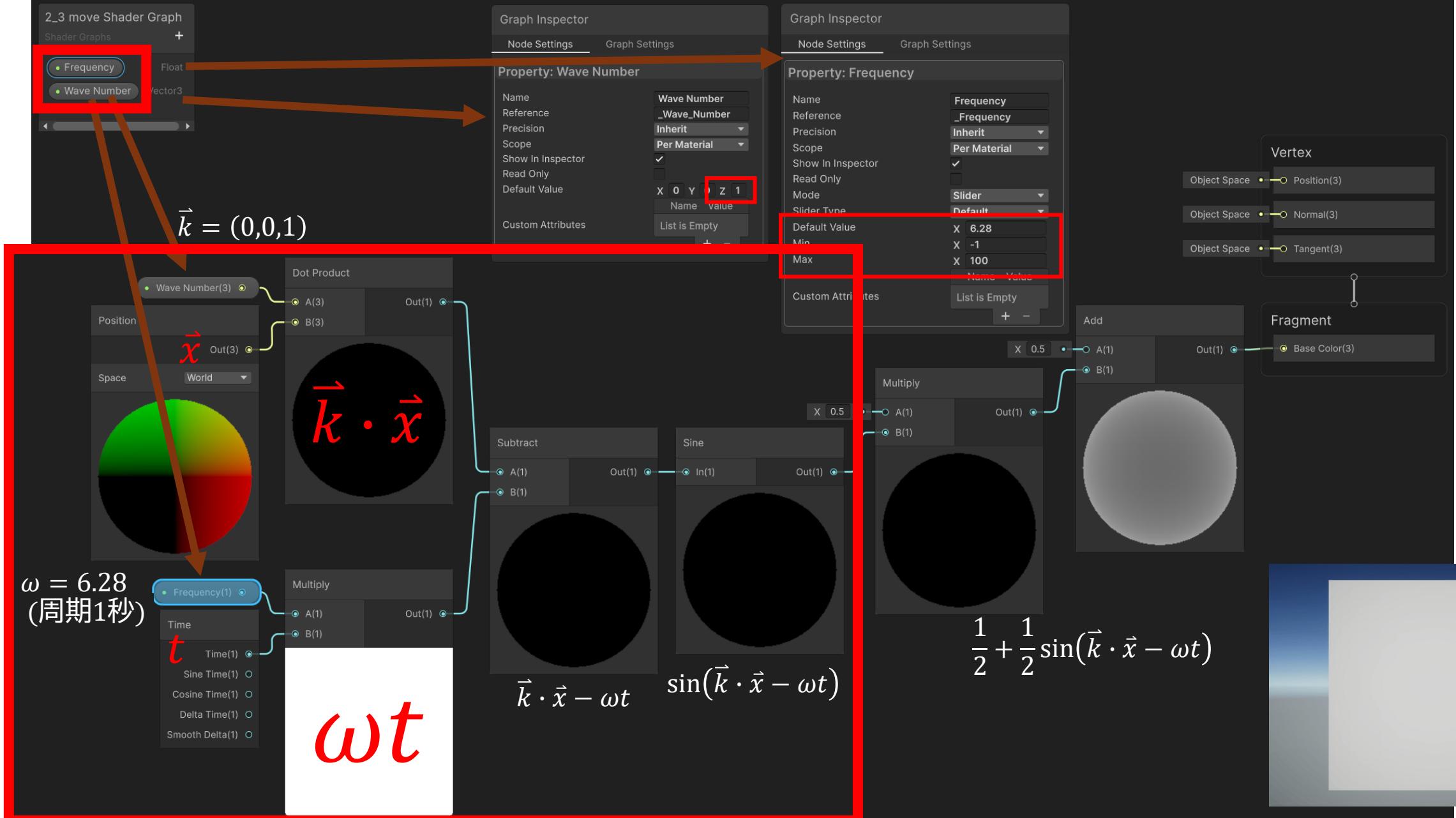


$$\sin(t)$$

から

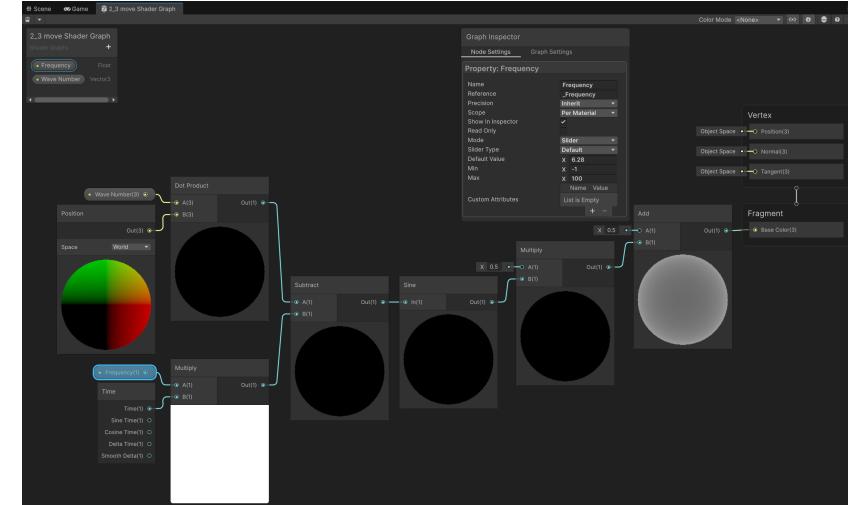
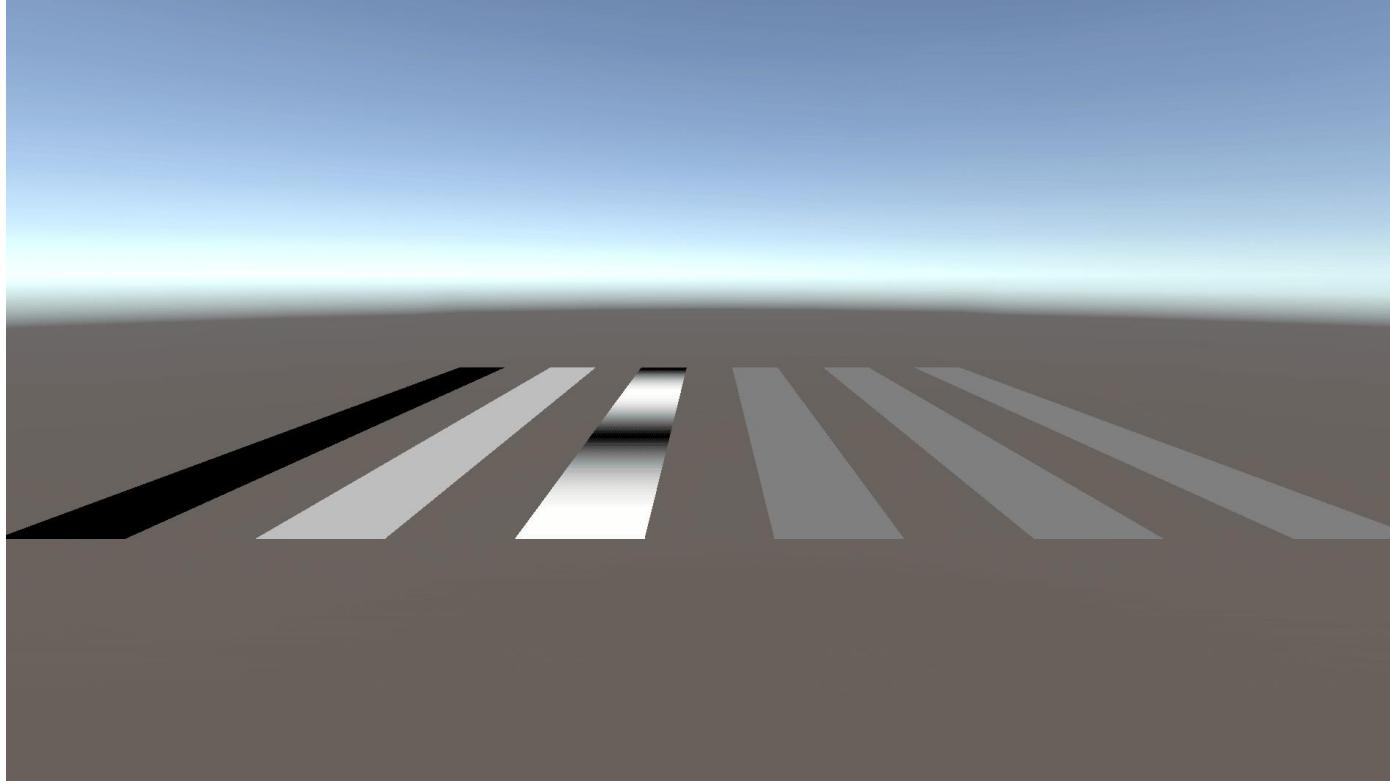
$\sin(\vec{k} \cdot \vec{x} - \omega t)$ に変えれば良い





やってみよう

- ・「2_3 move Shader Graph」をこの状態にしてください



パラメータ: $\frac{1}{2} + \frac{1}{2} \cos(\vec{k} \cdot \vec{x} - \omega t)$

1. $\vec{k} = (0,0,1), \omega = 6.28 (\sim 2\pi)$

2. $\vec{k} = (0,0,10), \omega = 6.28 (\sim 2\pi)$

- 波数 \vec{k} が大きくなると空間的な間隔が狭くなる
 - 波数 \vec{k} : 単位長さ当たりの波の個数を 2π 倍したもの

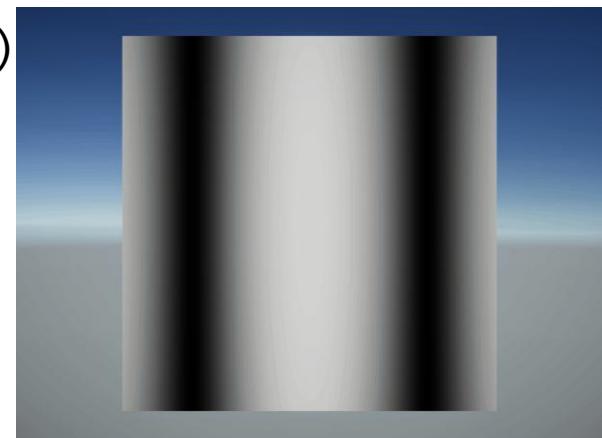
3. $\vec{k} = (0,0,1), \omega = 15.70 (\sim 5\pi)$

- 角振動数 ω が大きくなると時間的な間隔が短くなる
 - 速く動く

(1)



(2)



(3)



本日の内容

- 光を走らせる
 - 概要
 - 回してみよう
 - 光を走らせてみよう
 - Sin波
 - 滑らかなSin波
 - 進行波
 - のこぎり波
 - 思った場所に走らせよう

挑戦: 別の形の波を作りたい

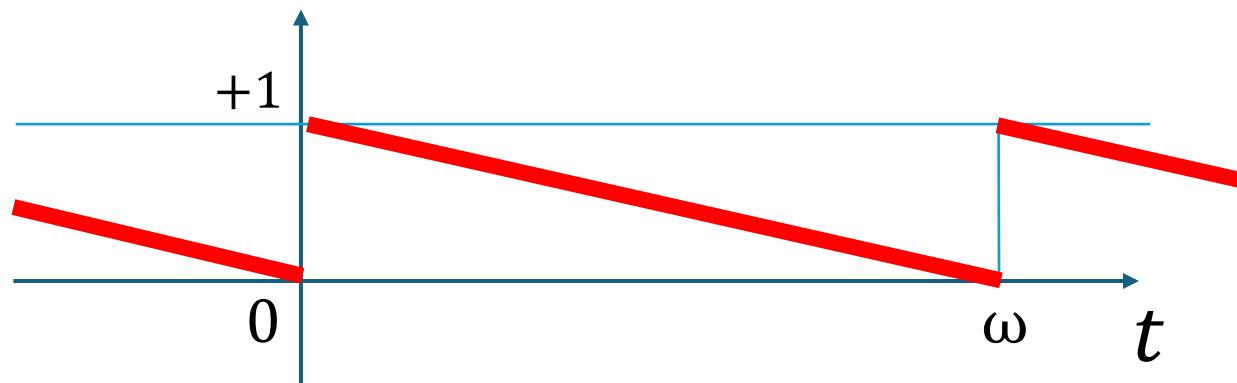
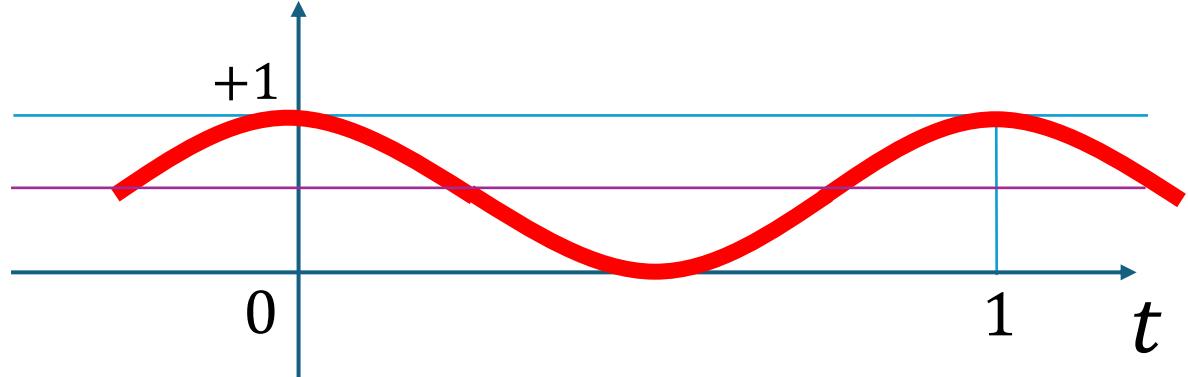
- 余弦関数: なだらか

$$y = \frac{1}{2} + \frac{1}{2} \cos 2\pi t$$

- のこぎり波

$$y = (-\omega t) \bmod 1$$

- $y = (\omega t) \bmod 1$ の反対に進む



Property: Frequency

Name: Frequency

Reference: _Frequency

Precision: Inherit

Scope: Per Material

Show In Inspector:

Read Only:

Mode: Slider

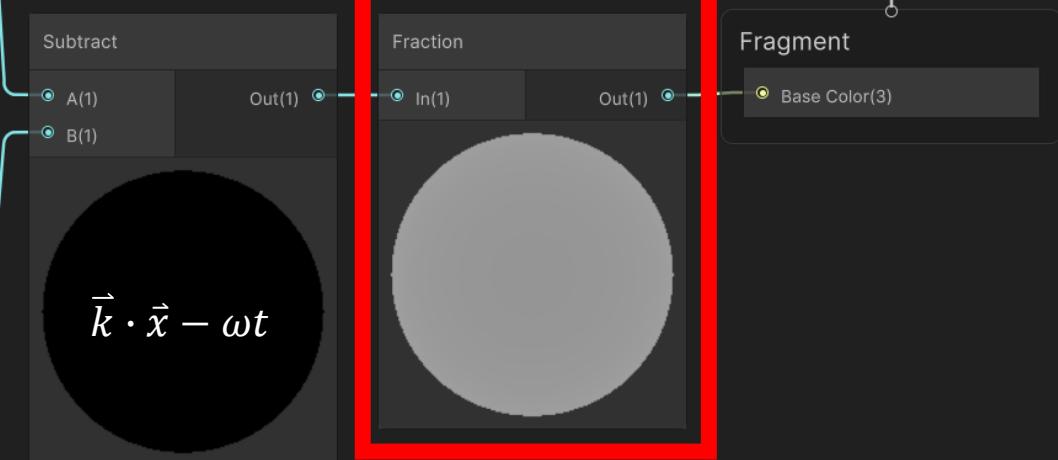
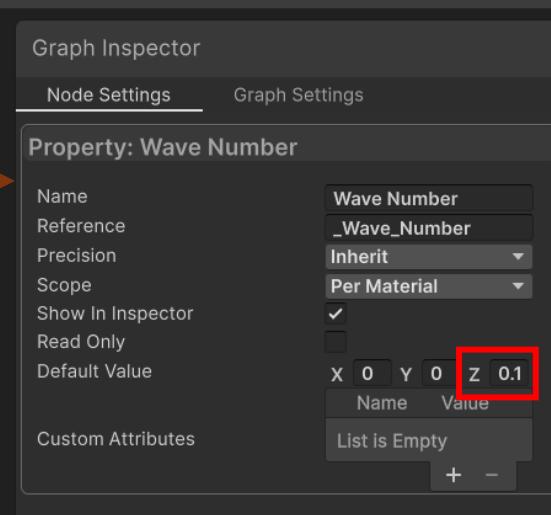
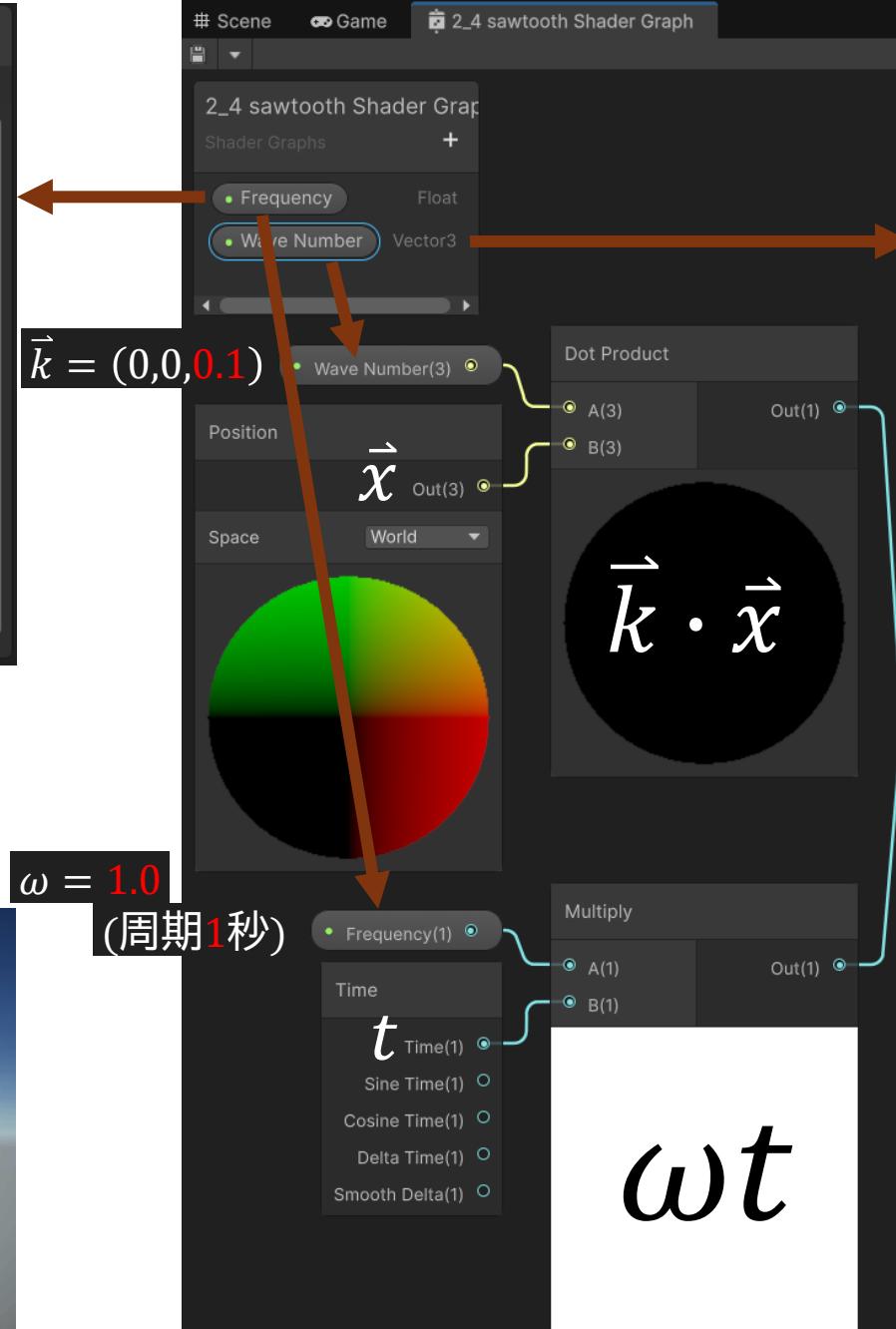
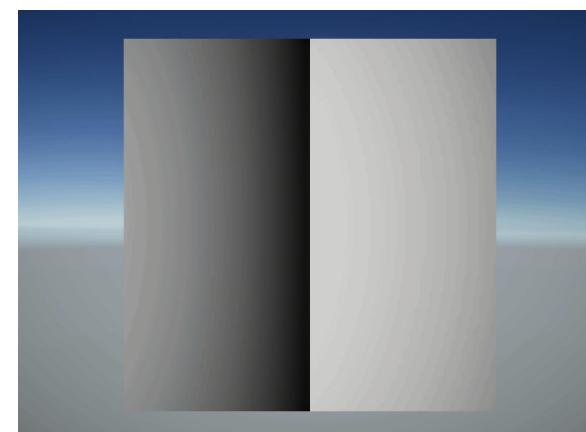
Slider Type: Default

Default Value: X 1

Min: X -1

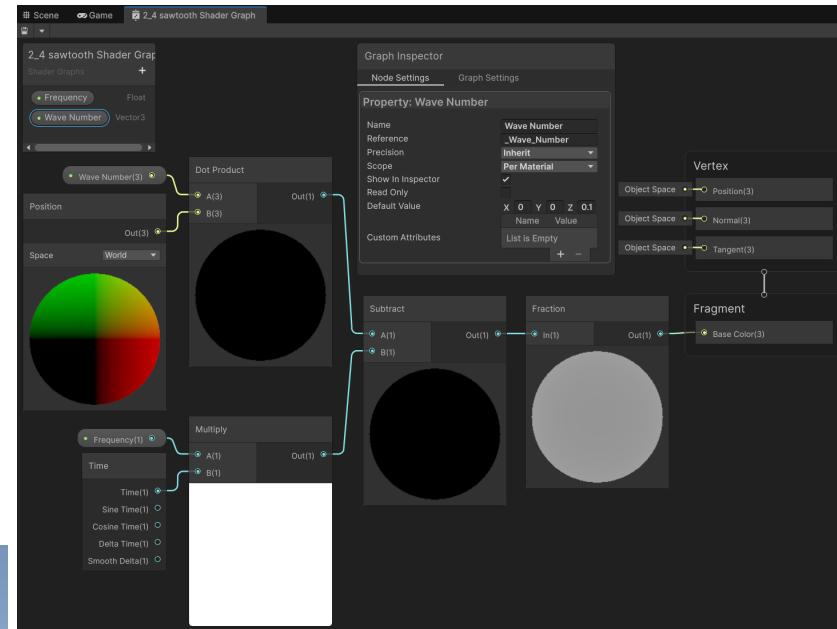
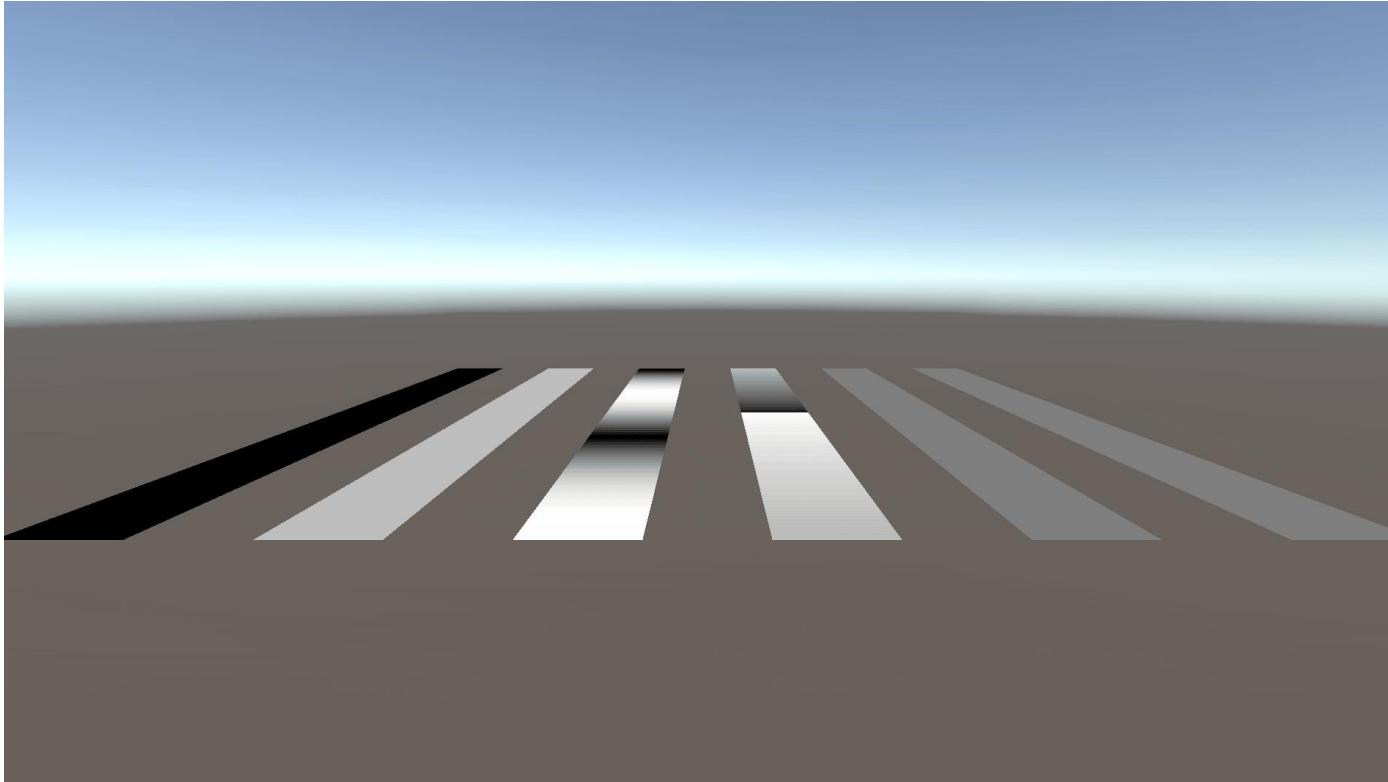
Max: X 100

Custom Attributes: List is Empty



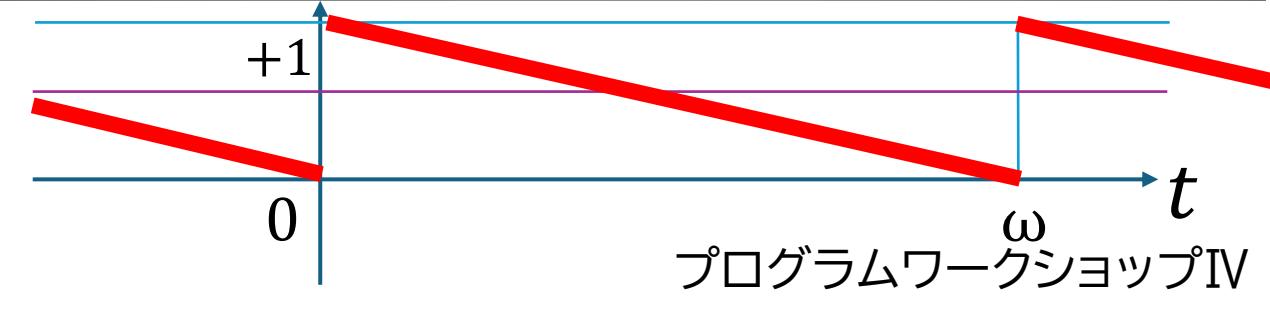
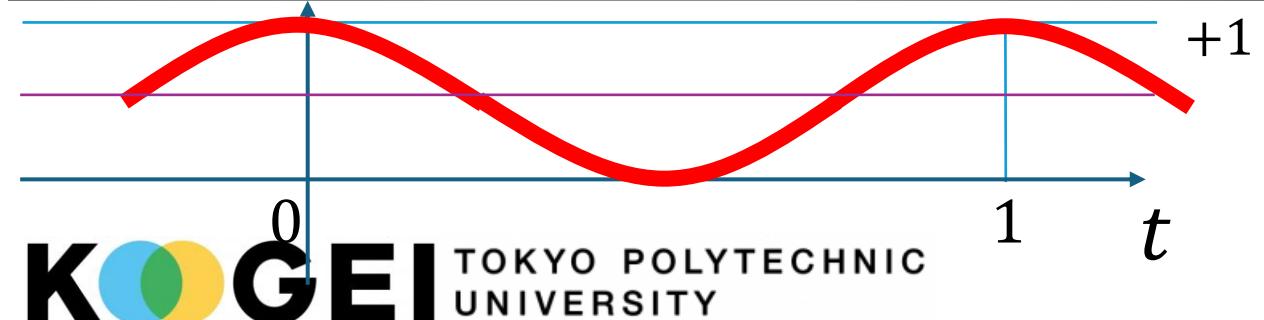
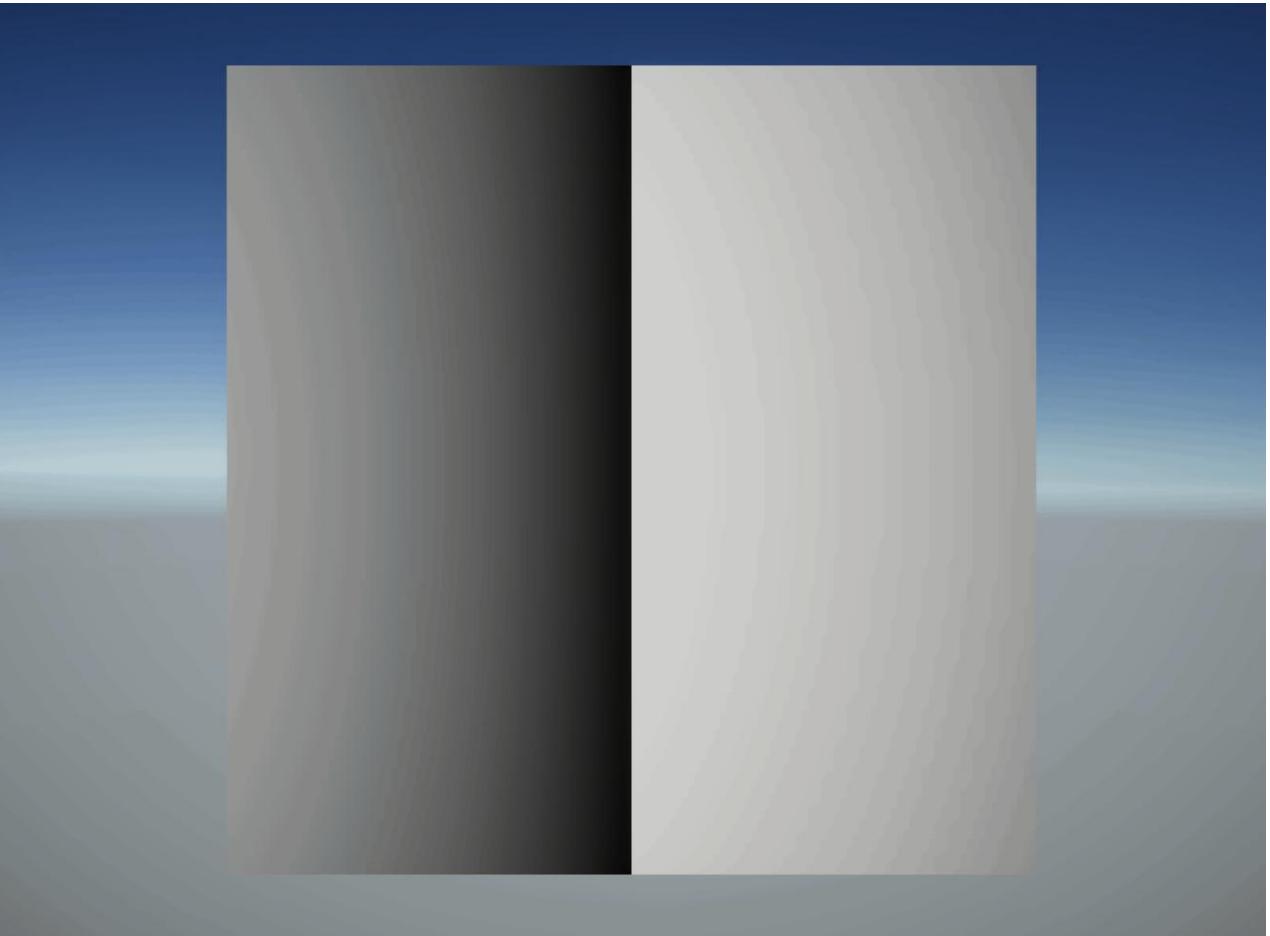
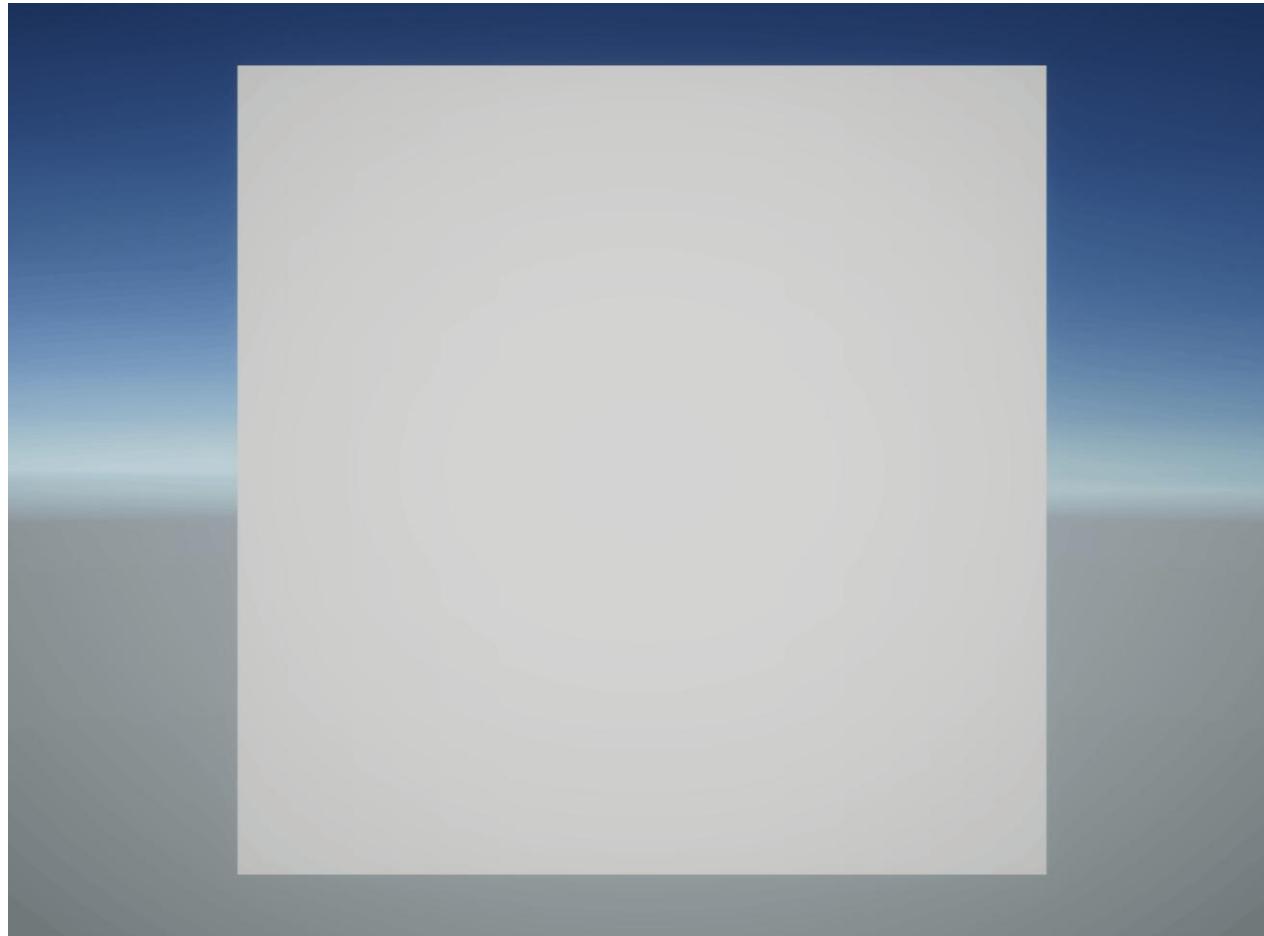
やってみよう

- ・「2_4 sawtooth Shader Graph」をこの状態にしてください



$$y = \frac{1}{2} + \frac{1}{2} \cos 2\pi t$$

$$y = (-\omega t) \bmod 1$$



本日の内容

- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・光を走らせてみよう
 - ・Sin波
 - ・滑らかなSin波
 - ・進行波
 - ・のこぎり波
 - ・光のデザイン
 - ・思った場所に走らせよう

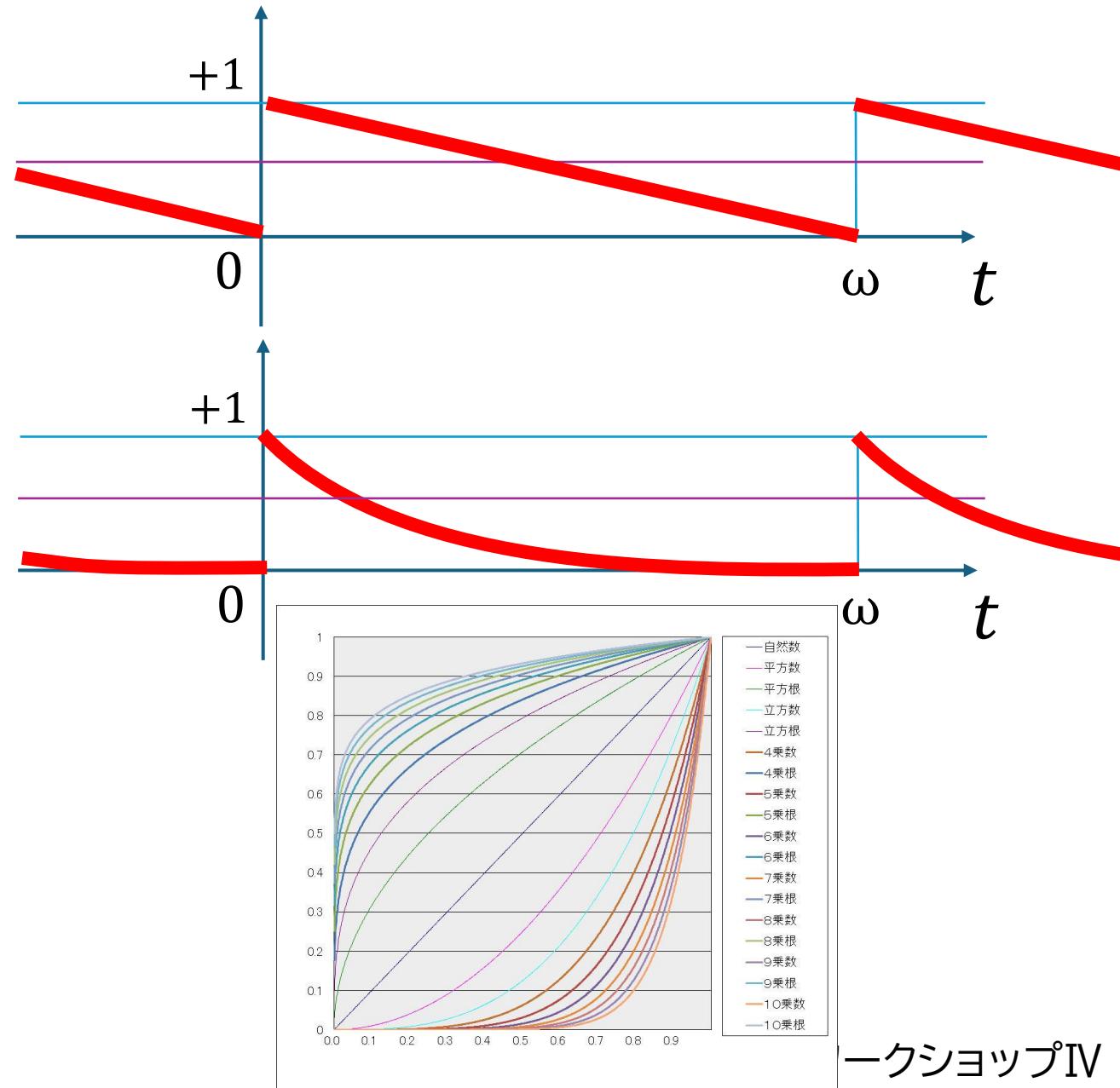
挑戦:もっとデザイン したい

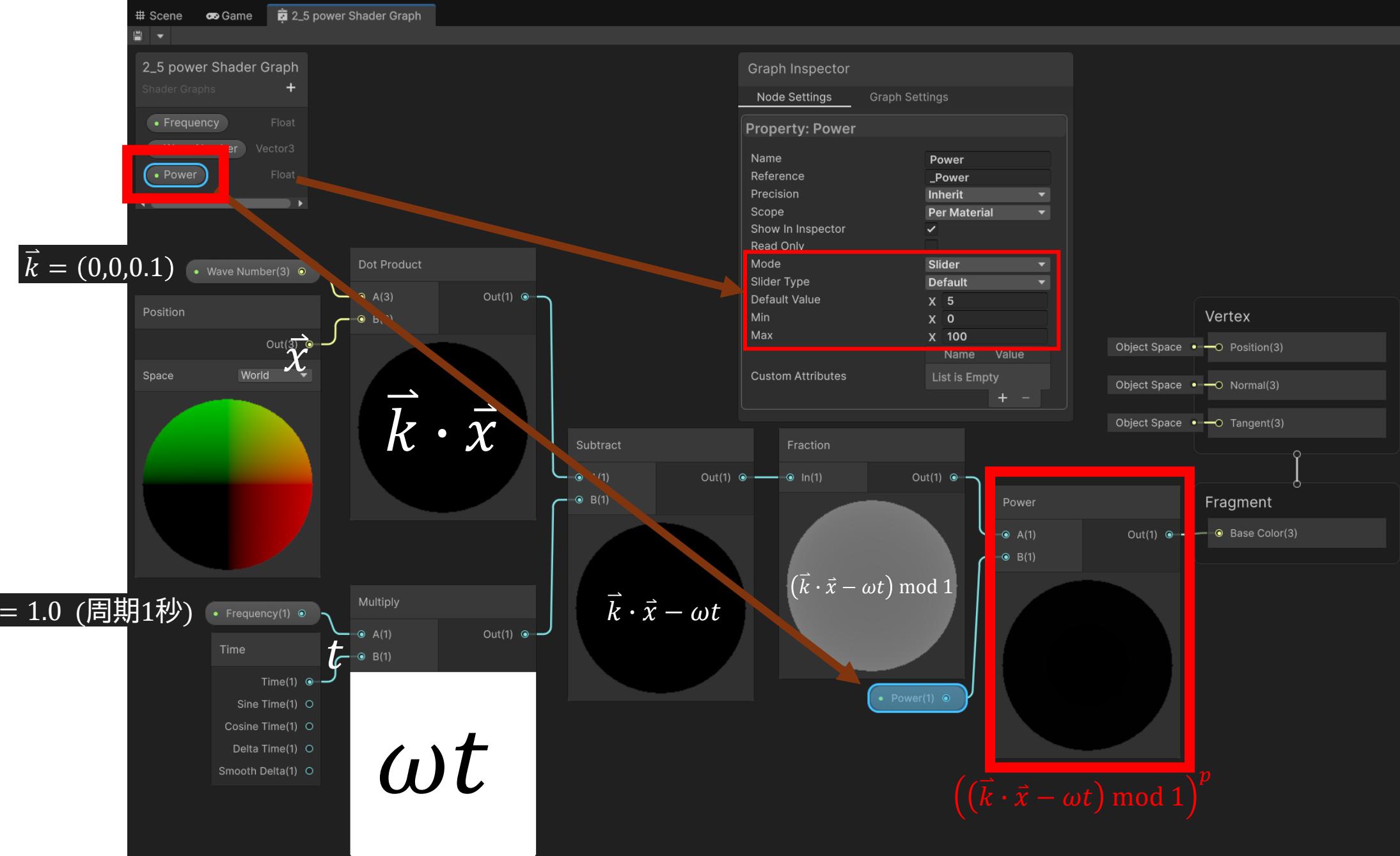
- ・のこぎり波:突然明るくなる

$$y = (-\omega t) \bmod 1$$

- ・さらにべき乗:すっと消せる

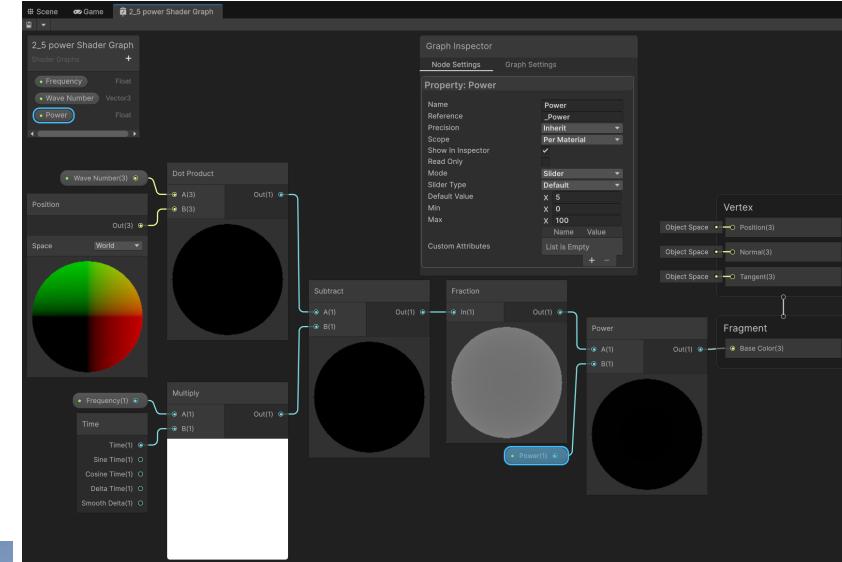
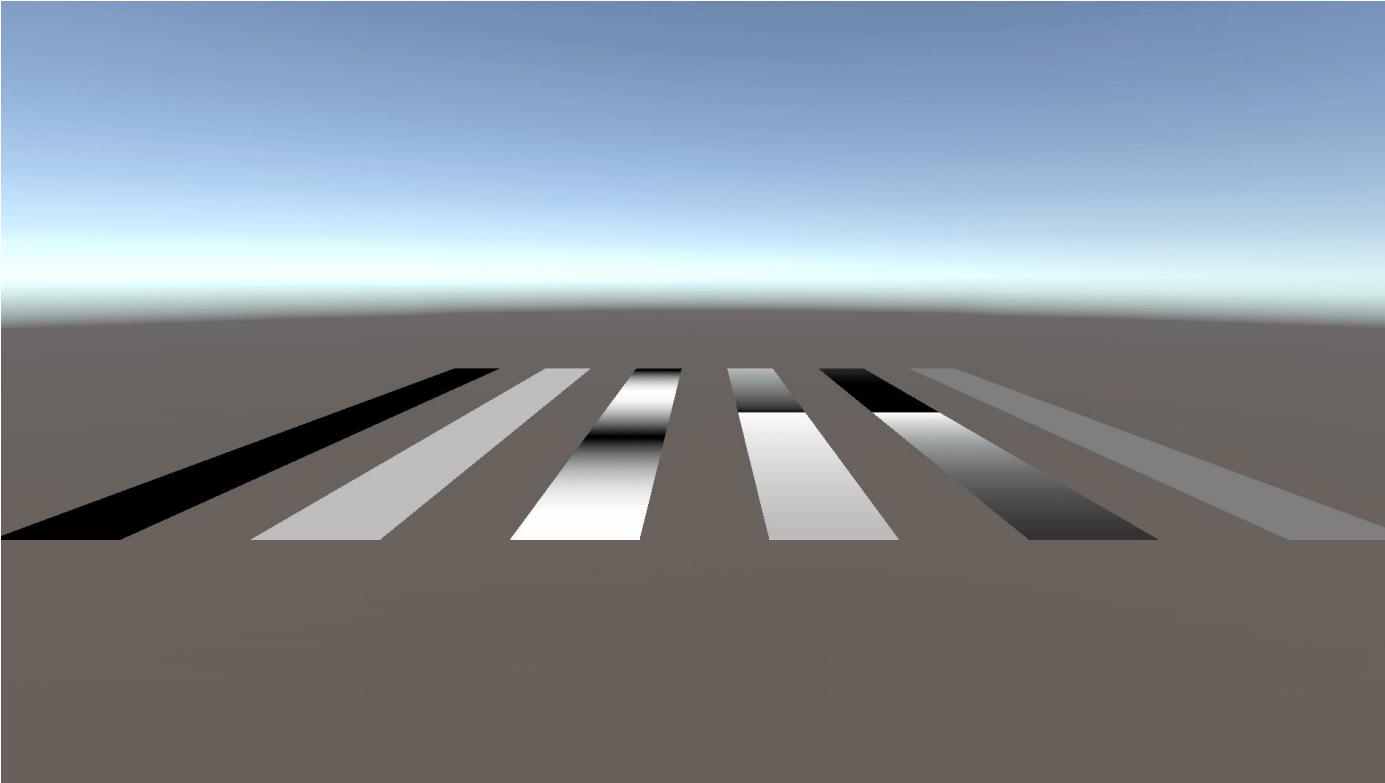
$$y = ((-\omega t) \bmod 1)^p$$





やってみよう

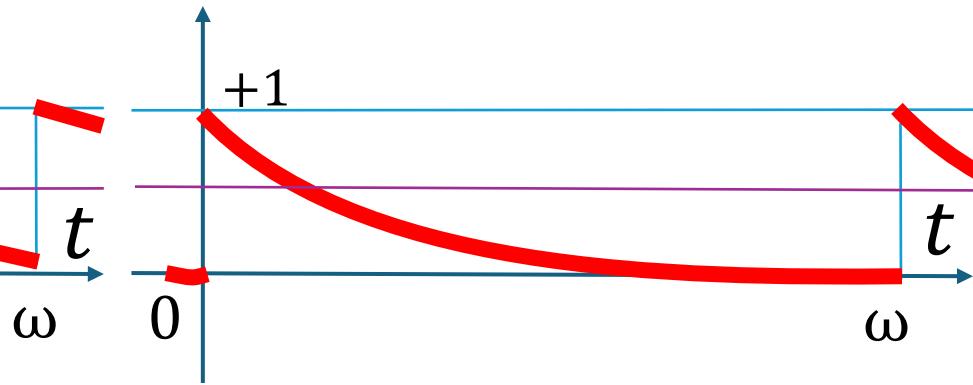
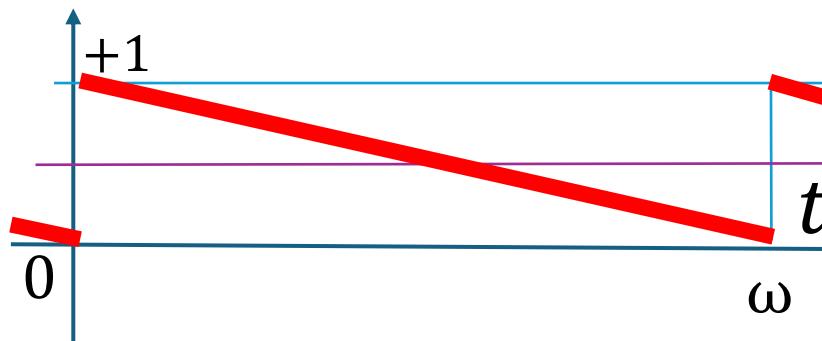
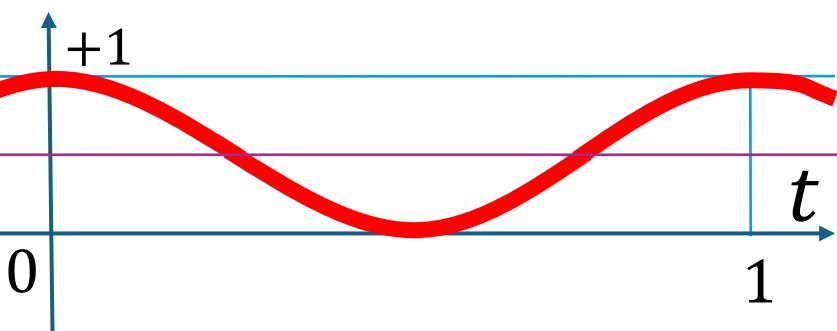
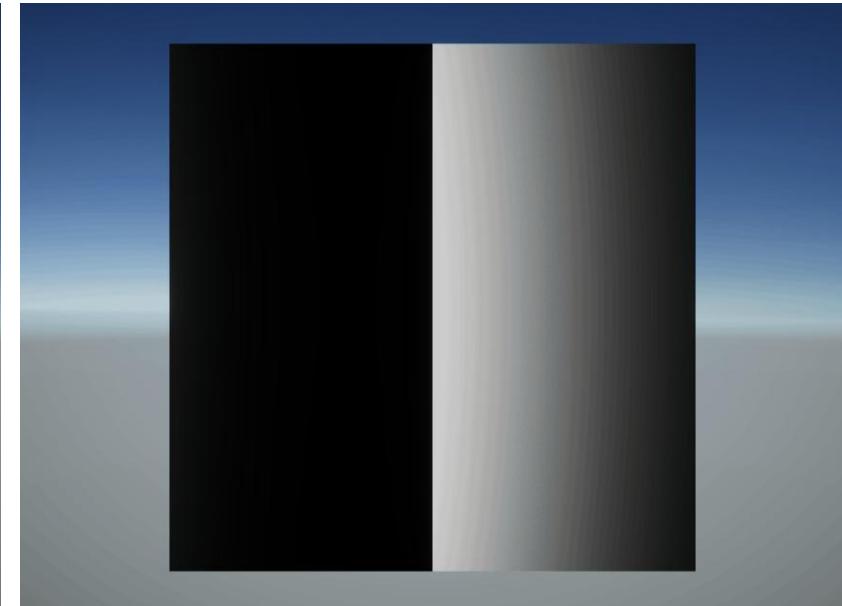
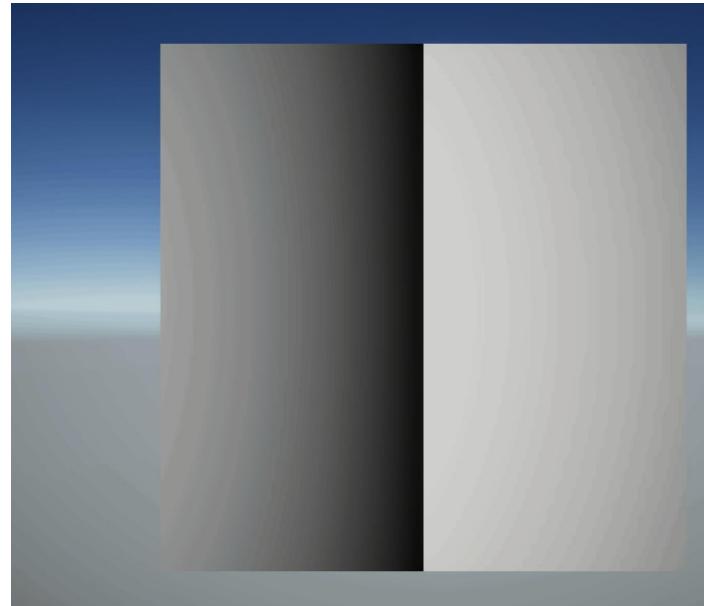
- ・「2_5 power Shader Graph」をこの状態にしてください



$$y = \frac{1}{2} + \frac{1}{2} \cos 2\pi t$$

$$y = (-\omega t) \bmod 1$$

$$y = ((-\omega t) \bmod 1)^5$$

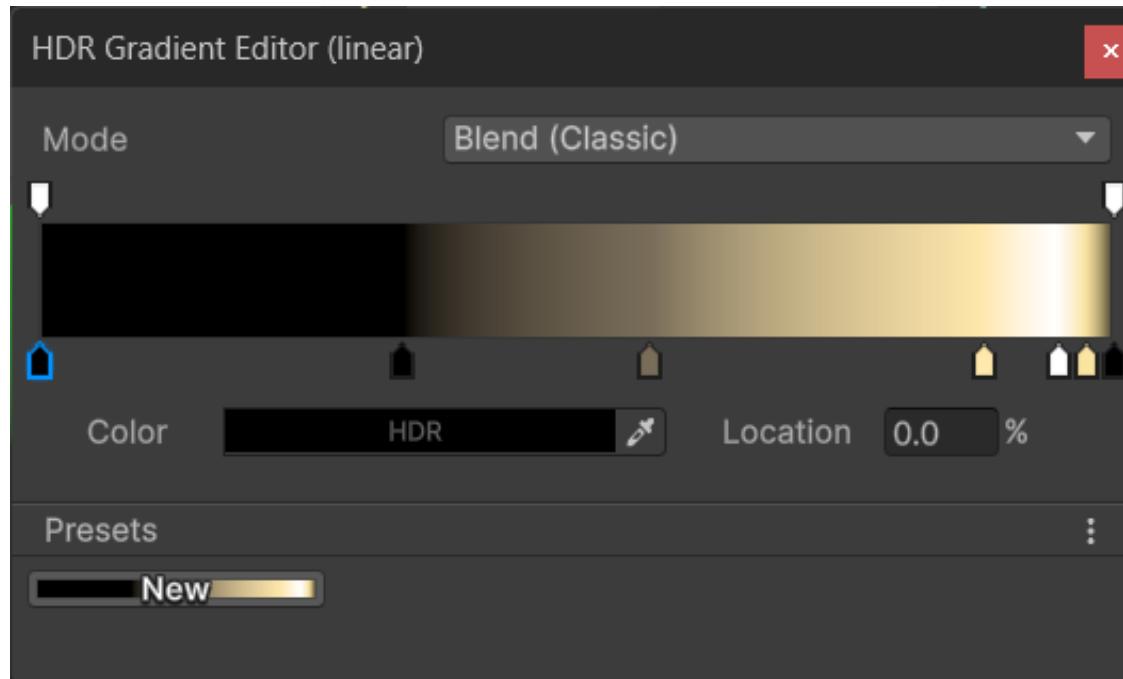


本日の内容

- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・光を走らせてみよう
 - ・Sin波
 - ・滑らかなSin波
 - ・進行波
 - ・のこぎり波
 - ・光のデザイン
 - ・グラデーションの光
 - ・思った場所に走らせよう

もっとデザインする

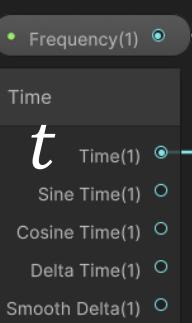
- ・光るパターンを用意する
 1. Gradient Nodeを使う
 2. アーティストに光り方を制御してもらう画像を作ってもらう



$$\vec{k} = (0,0,0.1)$$



$$\omega = 1.0 \text{ (周期1秒)}$$



$$\omega t$$

Dot Product

A(3)

B(3)

Out(1)

$$\vec{k} \cdot \vec{x}$$

Multiply

A(1)

B(1)

Out(1)

$$\vec{k} \cdot \vec{x} - \omega t$$

Subtract

A(1)

B(1)

Out(1)

$$(\vec{k} \cdot \vec{x} - \omega t) \bmod 1$$

Gradient

Out(G)

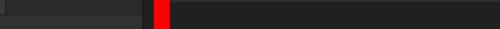
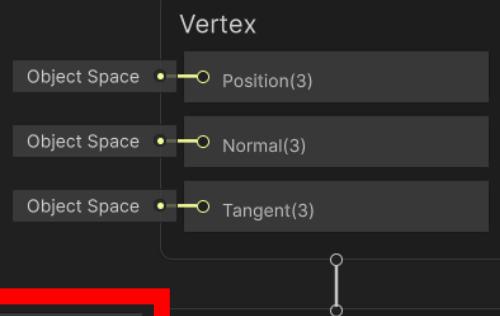
Fraction

In(1)

Out(1)

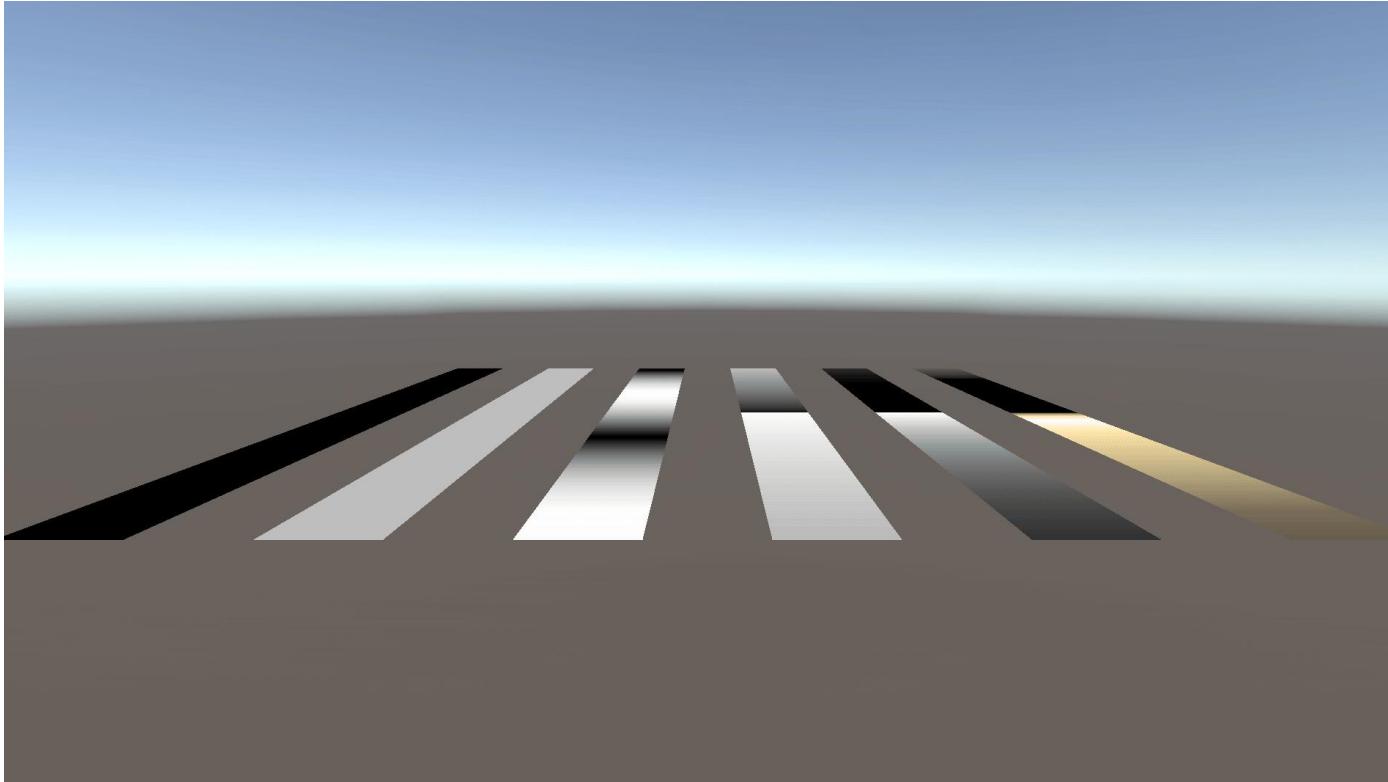
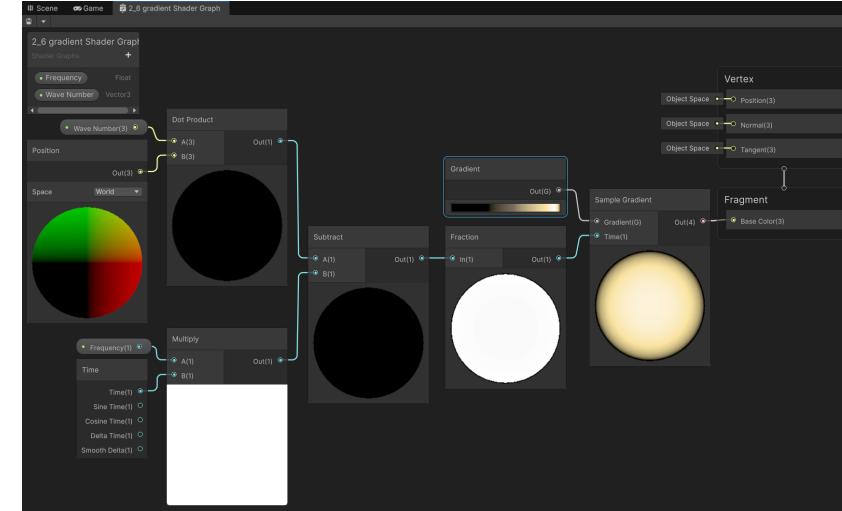


グラデーション読み込み

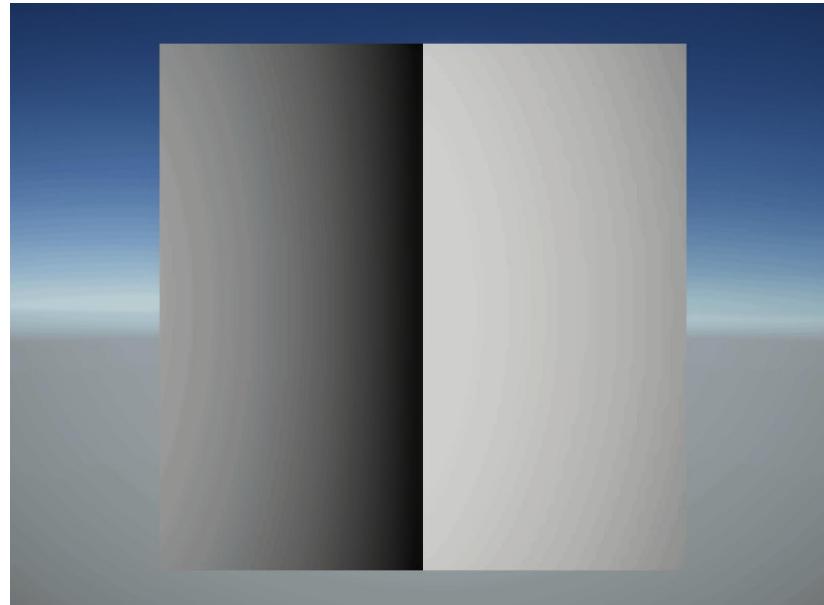


やってみよう

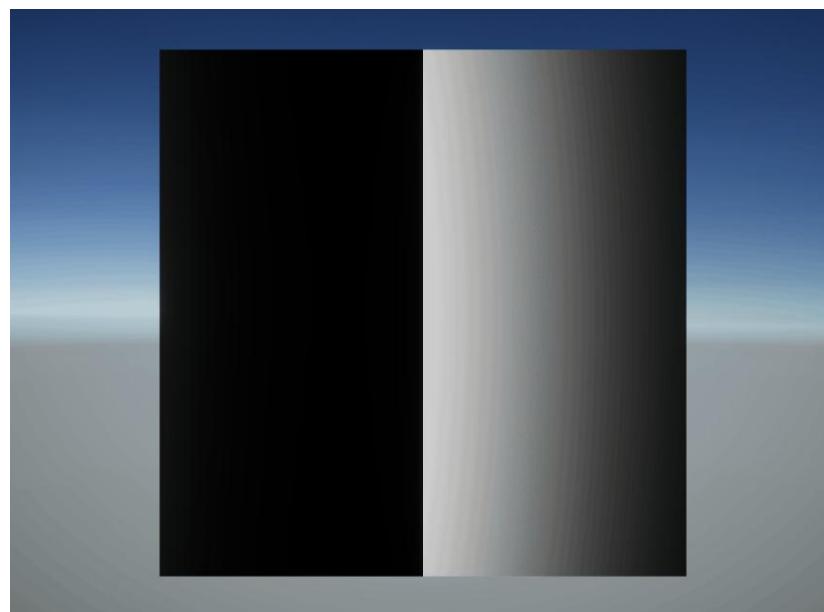
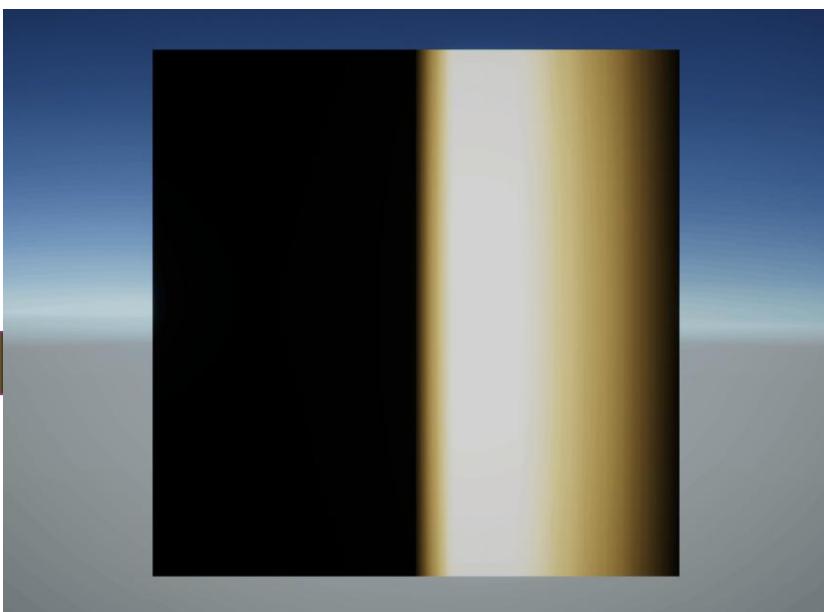
- ・「2_6 gradient Shader Graph」をこの状態にしてください



$$y = \frac{1}{2} + \frac{1}{2} \cos 2\pi t$$



$$y = (-\omega t) \bmod 1$$

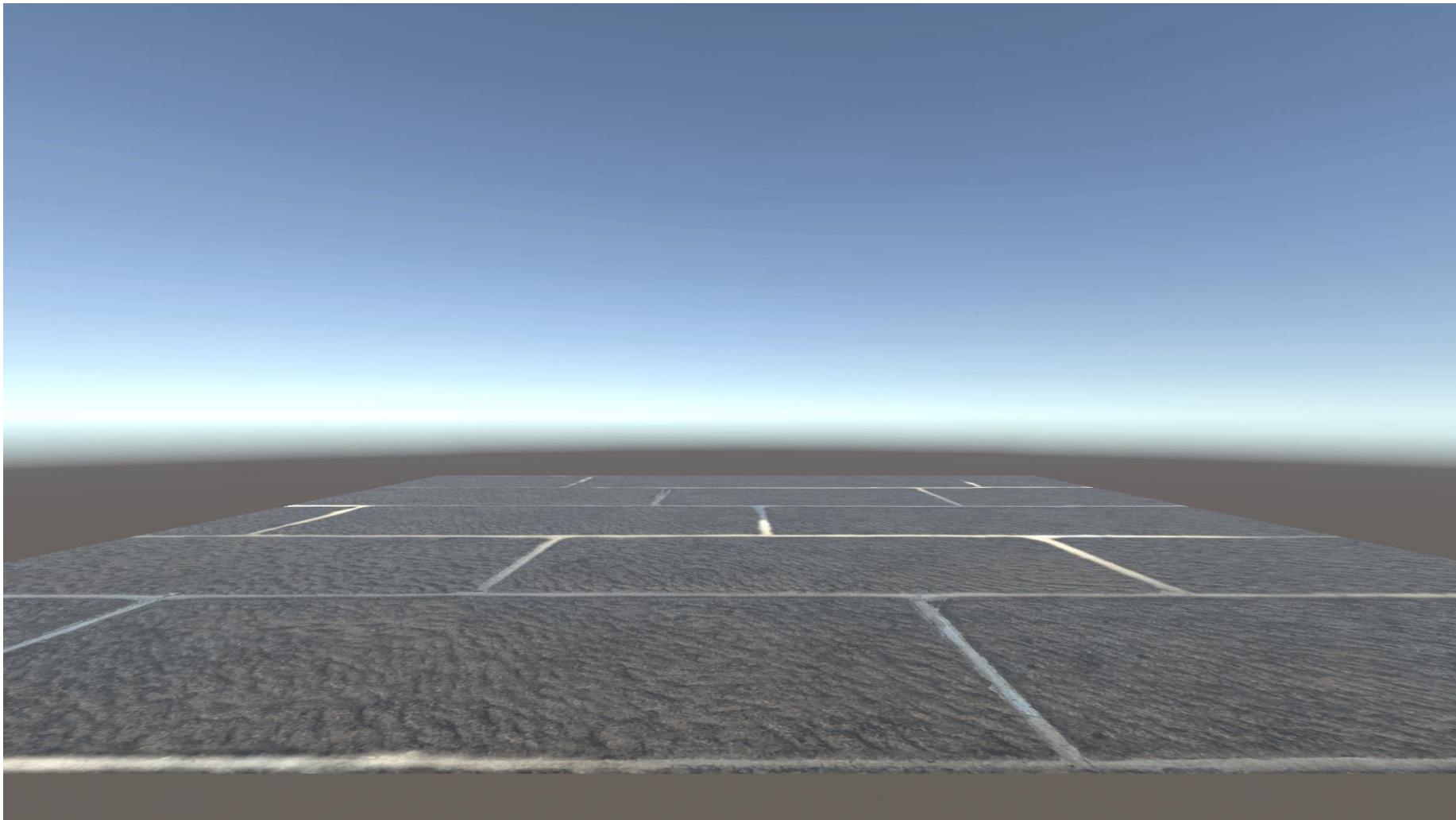


$$y = ((-\omega t) \bmod 1)^5$$

本日の内容

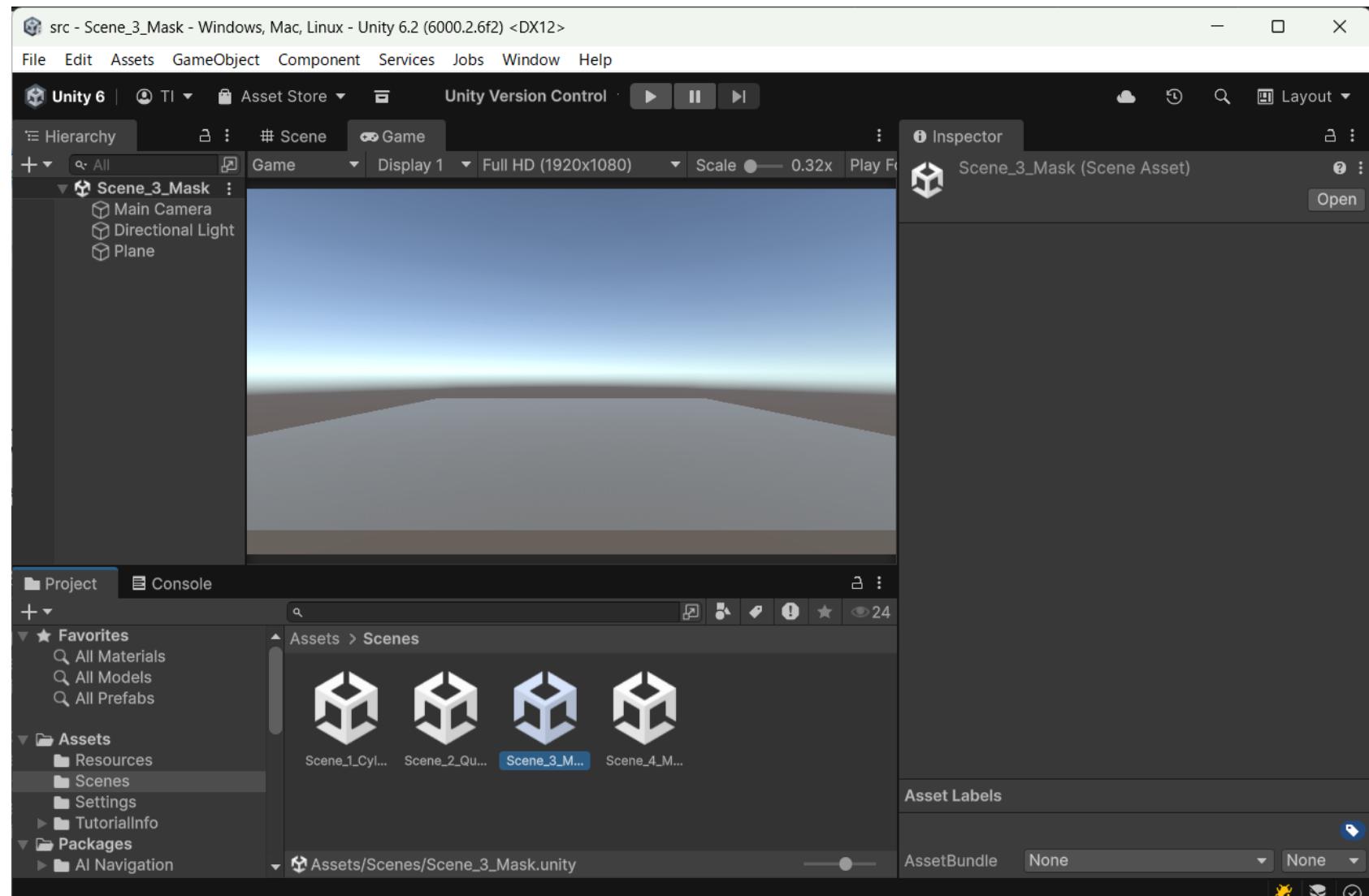
- 光を走らせる
 - 概要
 - 回してみよう
 - 光を走らせてみよう
 - Sin波
 - 滑らかなSin波
 - 進行波
 - のこぎり波
 - 光のデザイン
 - 思った場所に走らせよう

一部だけ光らせたい



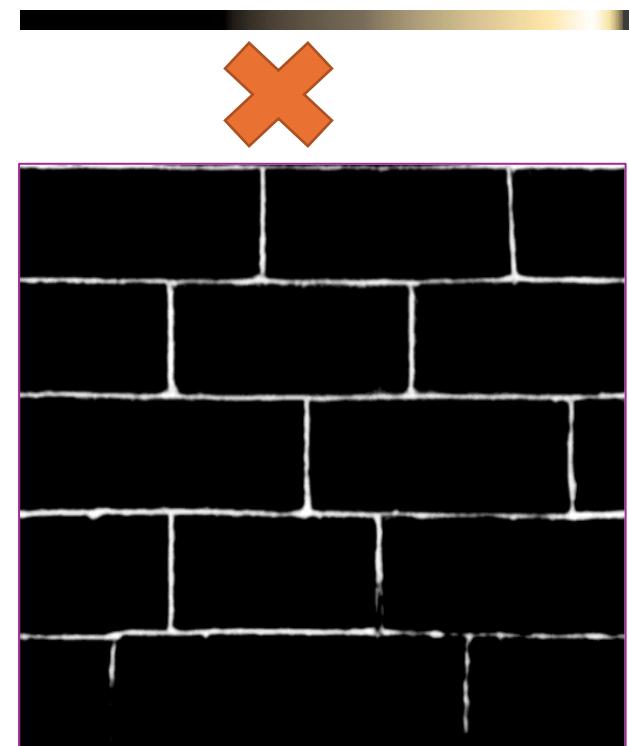
シーン

- Scene_3_Mask



考え方

- ・光らせたい部分だけ光跡を載せる
 - ・光らせない部分は強さを0にする



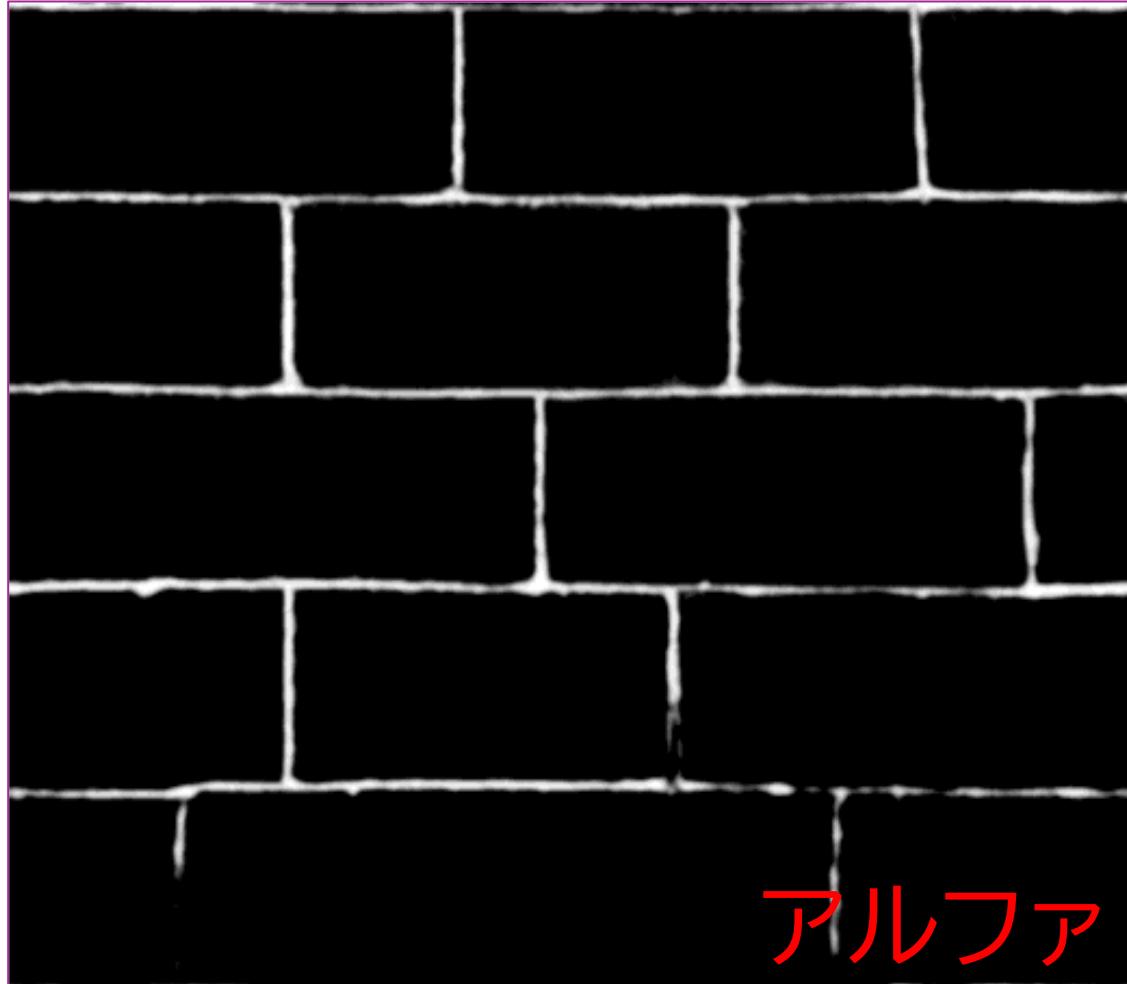
プログラムワークショップIV

画像を用意しました

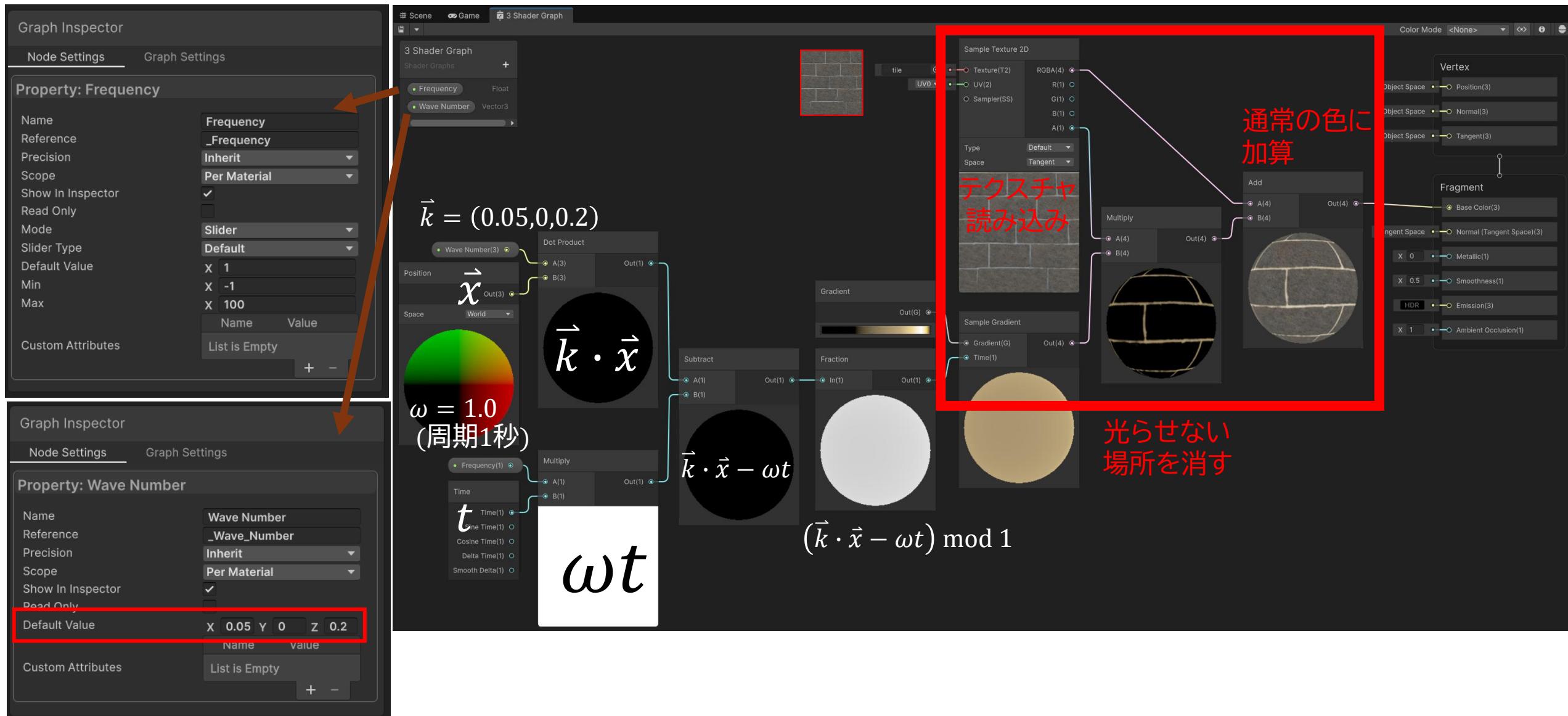
tile.png



RGB

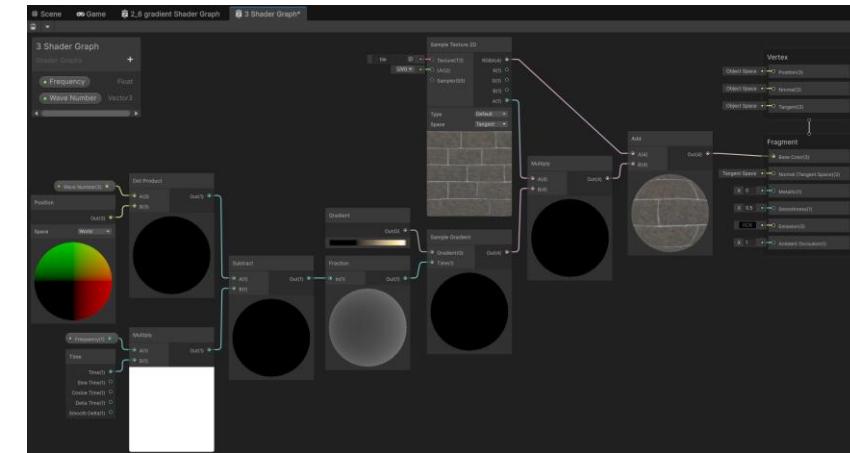
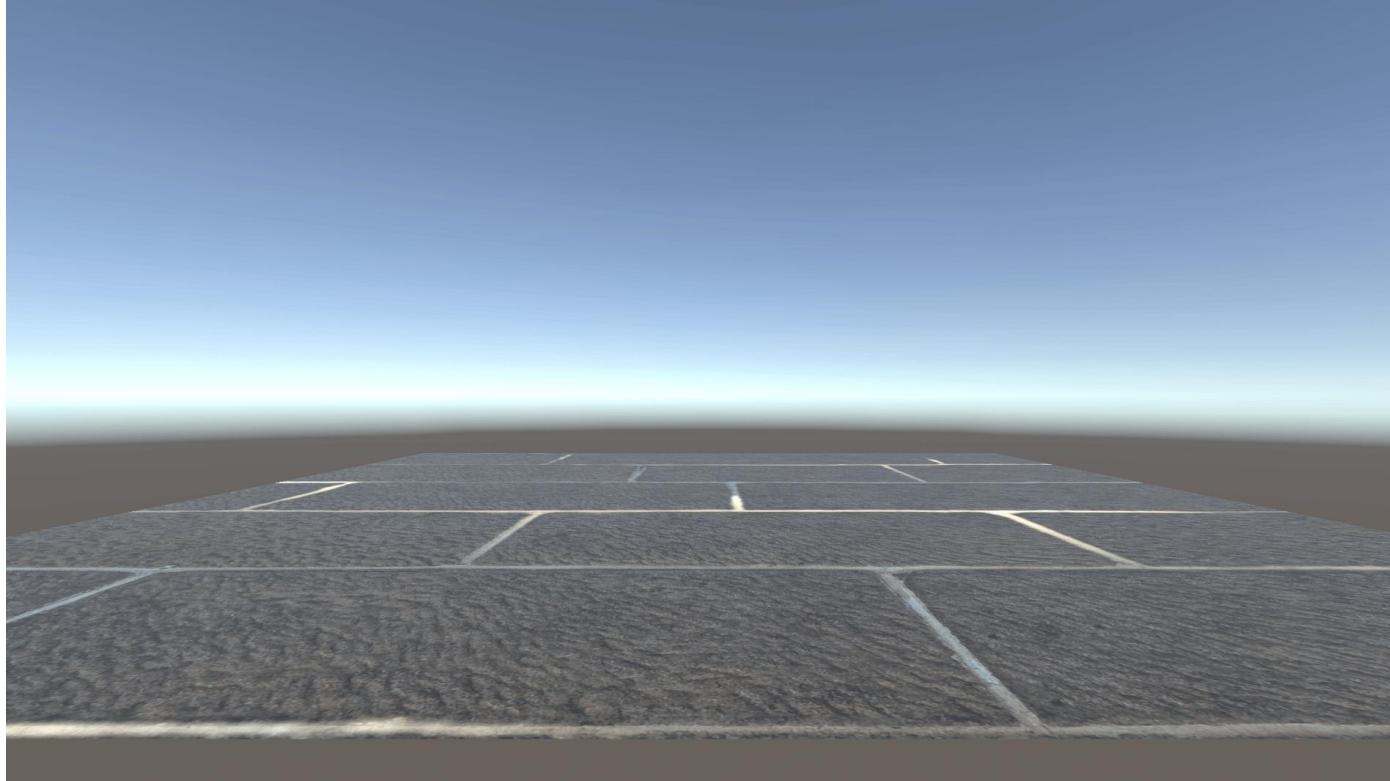


アルファ



やってみよう

- ・「3 Shader Graph」をこの状態にしてください



Tips

- 波数ベクトルを斜めに設定しているので、ブロックの目にそわない、単調でない光の動きを実現



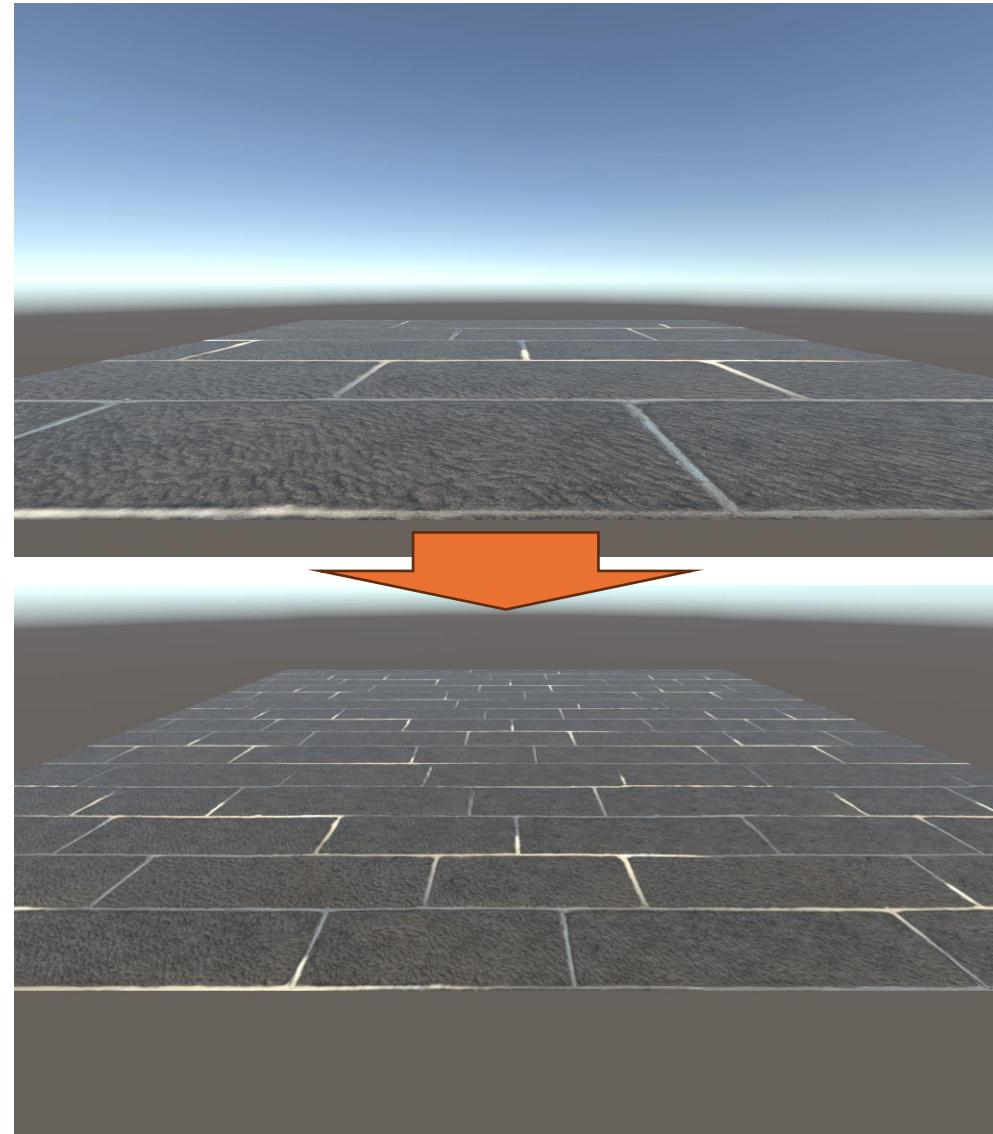
今回やっていないこと

- 光をあみだくじのように
経路にそって
(一定の速度で)流すには?
 - UV情報が欲しい
 - 光が通るパターンにそって
テクスチャ座標を並べる



補足

- ・テクスチャをシームレスにすると
繋げても連続的に流せる
 - ・モデルの作り方や
UVの貼り方によって、
きれいに流すには
パラメータを調整
する必要がある
 - ・今回はワールド空間
の位置座標を使って
いるので、必ず連続



プログラムワークショップIV

本日の内容

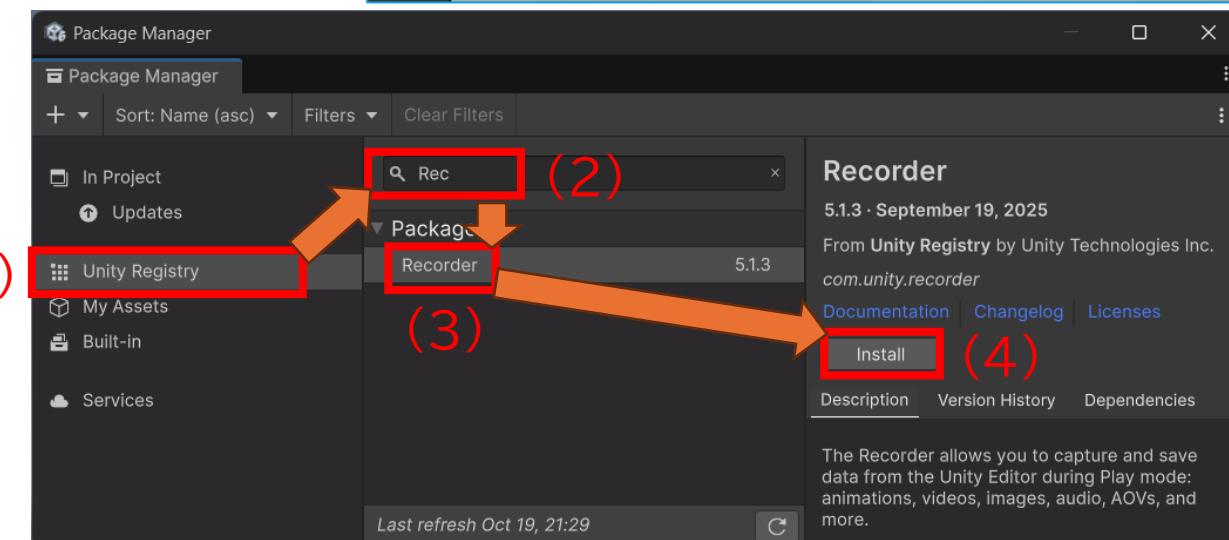
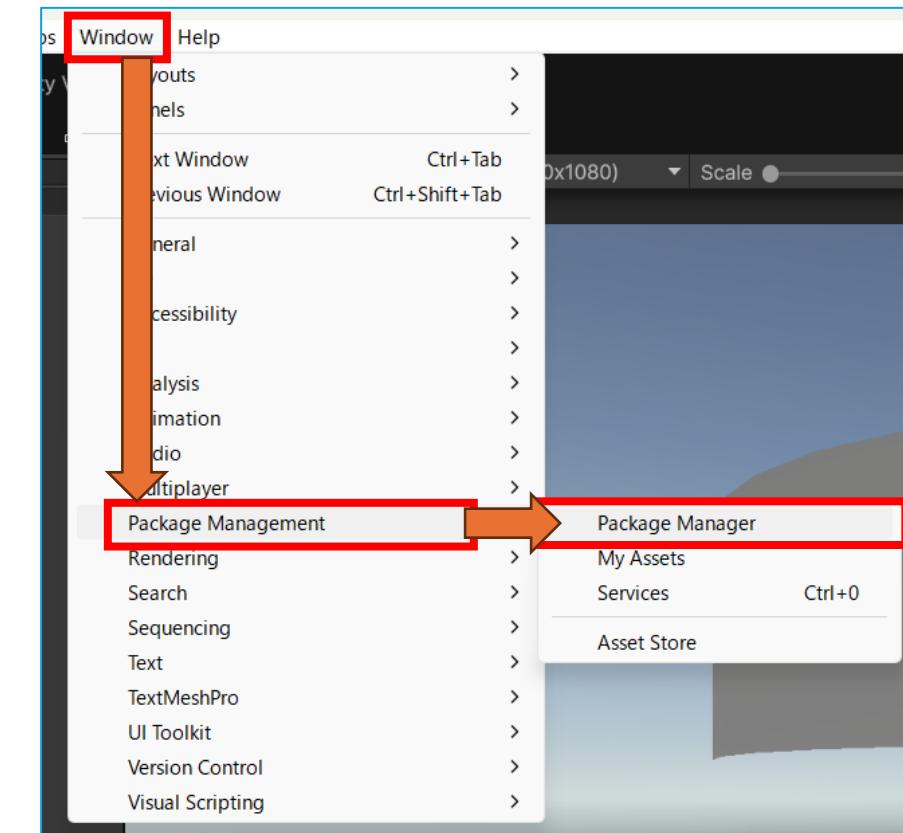
- ・光を走らせる
 - ・概要
 - ・回してみよう
 - ・光を走らせてみよう
 - ・思った場所に走らせよう
- ・おまけ

おまけ: Unity Recorder

ゲームの動画撮影

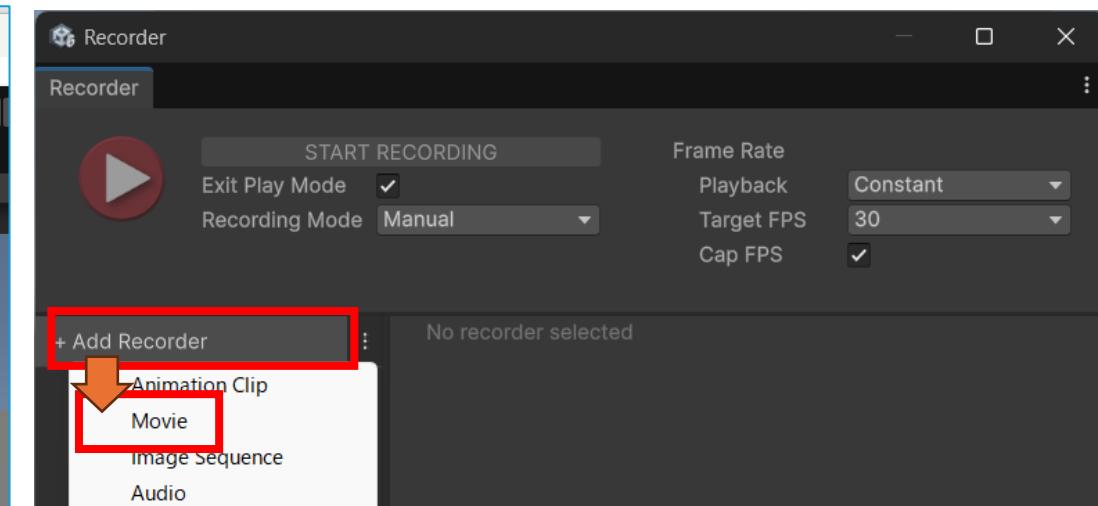
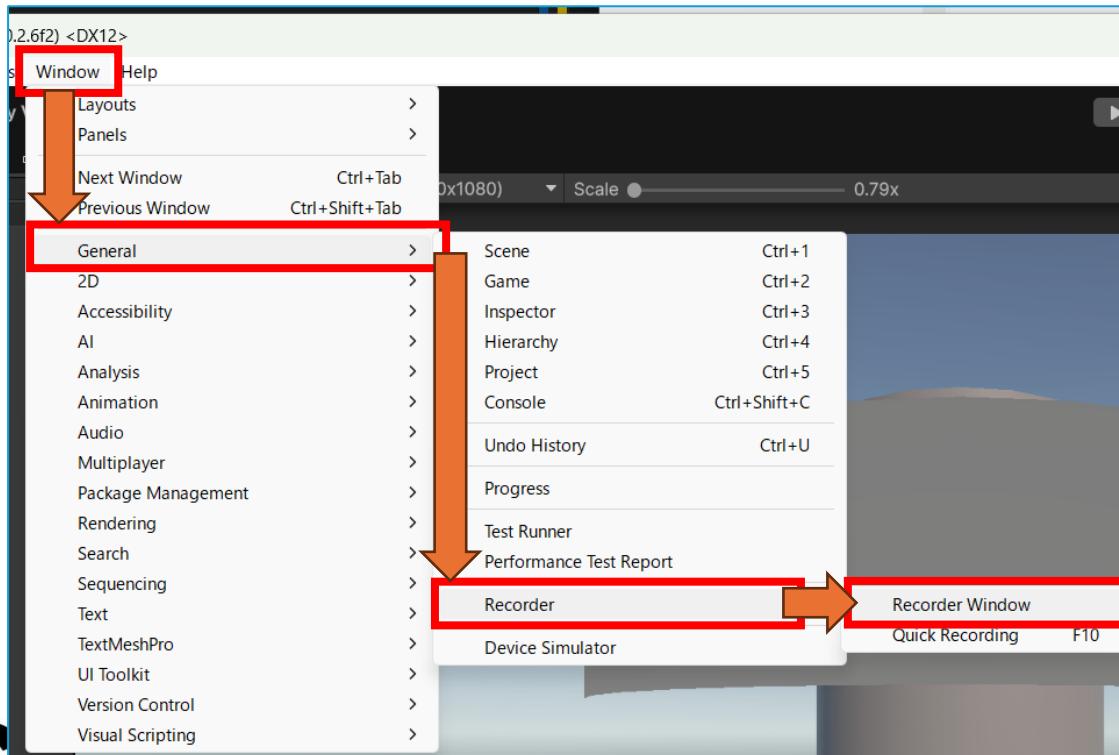
- ・インストール: Package Manager

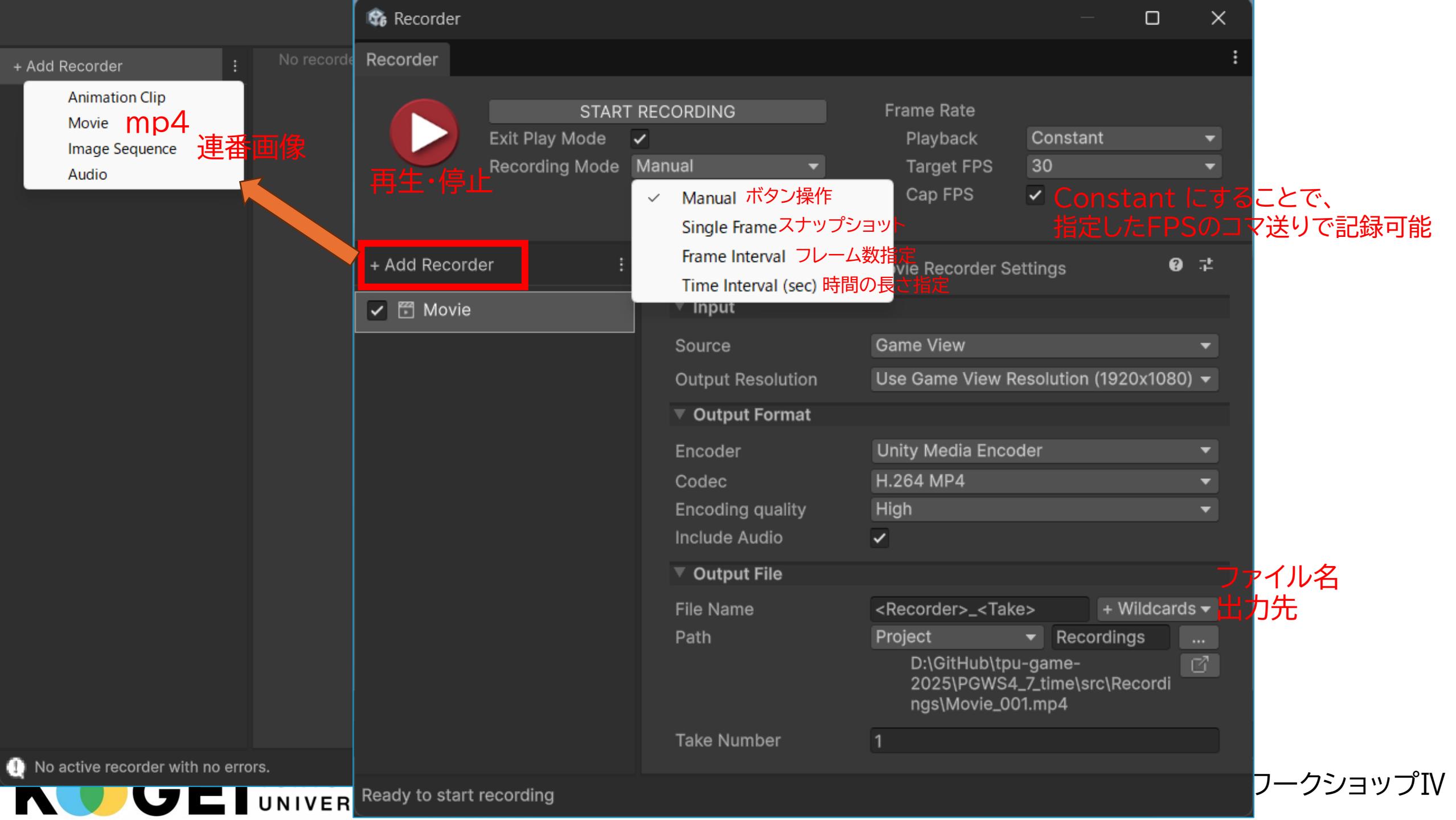
1. 「Packages」を「Unity Registry」に変更
2. 「Rec」で検索すると、左のメニューでUnity Recorderが残る
3. Unity Recorderを選択
4. インストール



Unity Recorder の使い方

- 起動
 - Window メニュー
 - General → Recorder → Recorder Window







START RECORDING

Exit Play Mode Recording Mode

Start 0 End 30

30フレ(target FPSが30なので1秒)で終了

+ Add Recorder

 Movie

Recorder Type

Movie Recorder Settings

Input

Source

Game View

Output Resolution

Use Game View Resolution (1920x1080)

Output Format

Encoder

GIF Encoder

Quality

90

Loop

GIFアニメーションの出力も可能

File Name

<Recorder>_<Take>

+ Wildcards

Path

Project

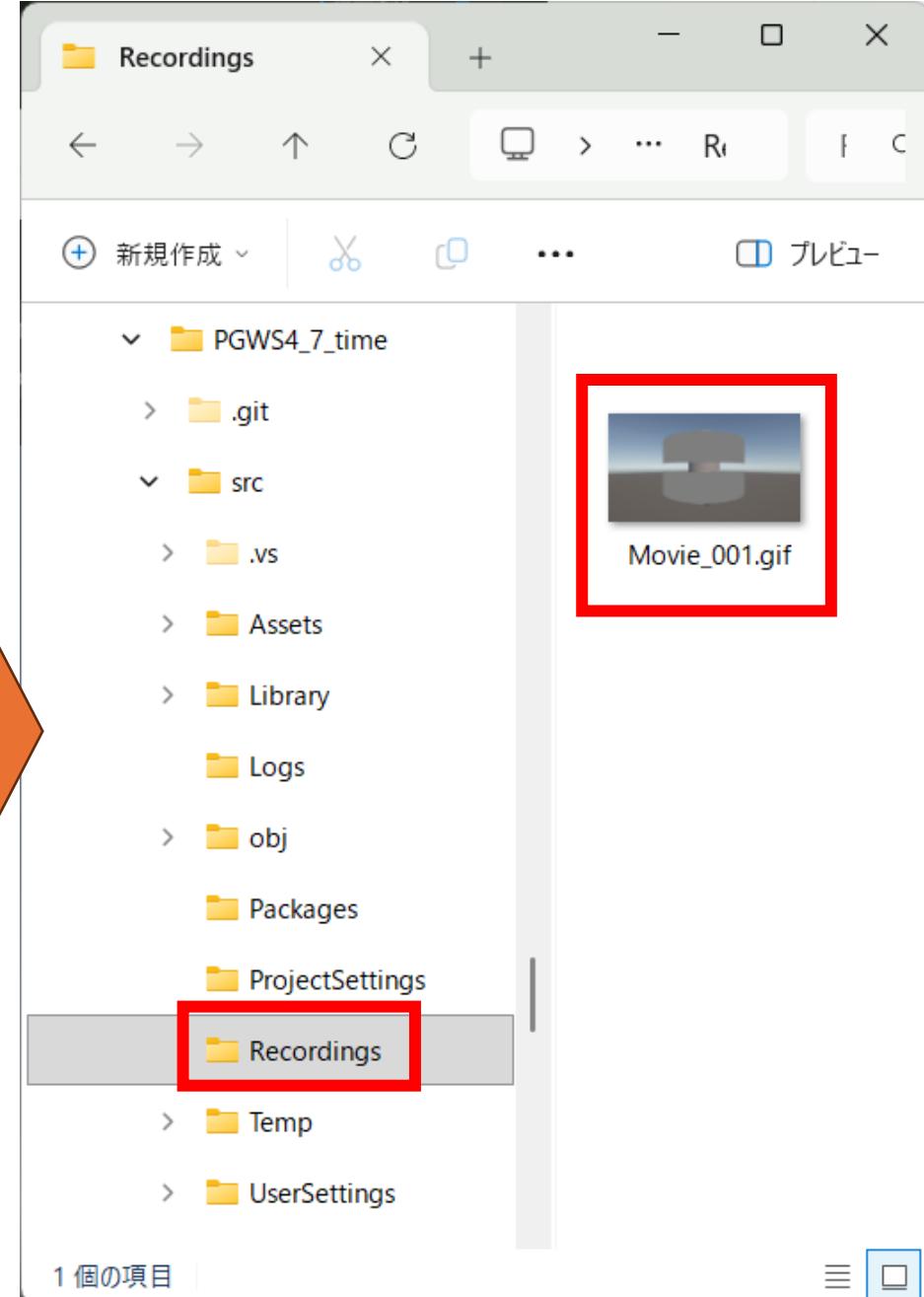
Recordings

D:\GitHub\tpu-game-2025\PGWS4_7_time\src\Recordings\Movie_003.gif

Take Number

3

Ready to start recording



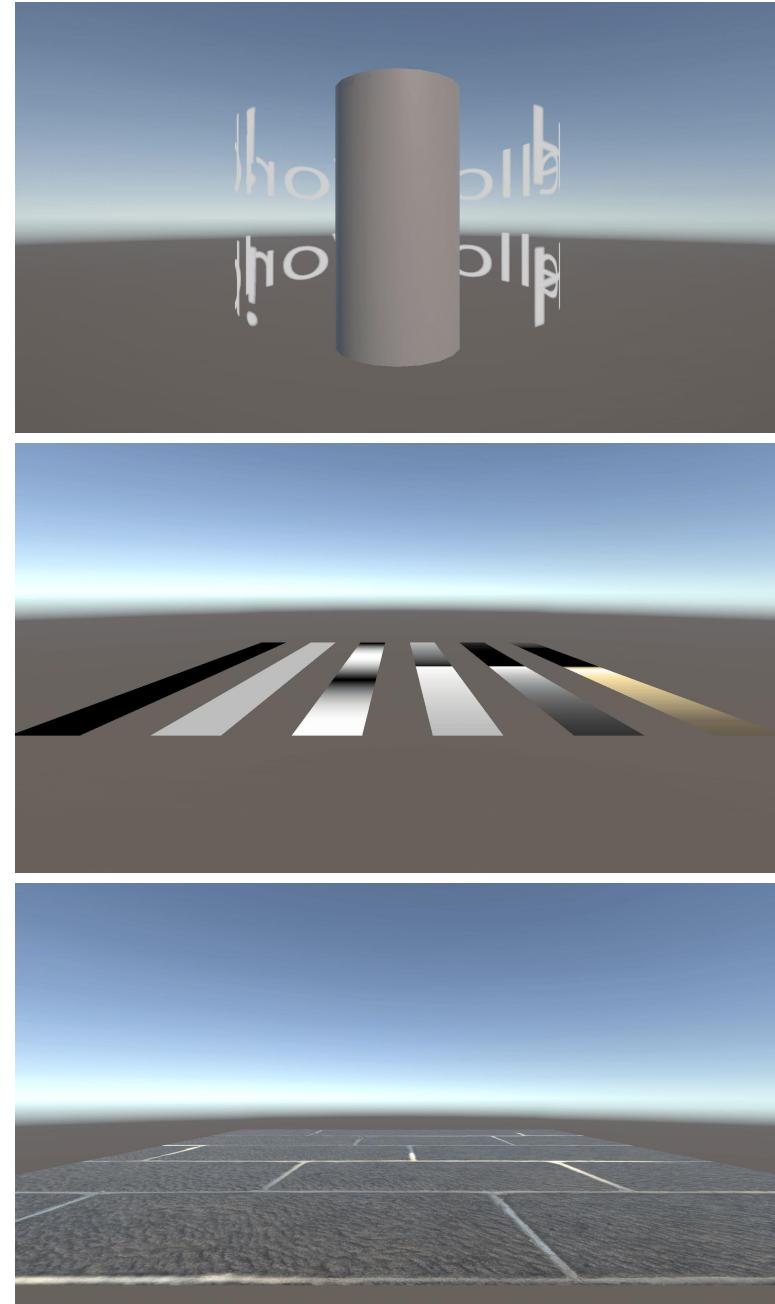
.gitignoreにディレクトリを追加しよう

- 最新の
.gitignoreでは
追加されている

```
src > ◆ .gitignore
1  # This .gitignore file should be placed at the root of your Un
2  #
3  # Get latest from https://github.com/github/gitignore/blob/main/DEFAULT
4  #
5  .utmp/
6  /[Ll]ibrary/
7  /[Tt]emp/
8  /[Oo]bj/
9  /[Bb]uild/
10 /[Bb]uilds/
11 /[Ll]ogs/
12 /[Uu]ser[Ss]ettings/
13 /[Rr]ecordings/
14 *.log
15
```

まとめ

- Timeノードを使うとシェーダだけで動かせる
 - Unityの実行時間で動く
 - 「Time」出力は1秒ごとに1.0増える
 - 長時間実行すると、精度が下がるので注意
 - 「Sine Time」,「Cosine Time」出力は 2π (≈ 6.28)秒で元に戻る
 - 周期を変えることはできない
- マスクを用いたシェーダの切り分け
 - アルファ成分などを適用する重みに使う



プログラムワークショップIV